

令和4年度

新たな中期計画の基本的方向に関する市民アンケート

報告書

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査仕様	2
3. 報告書の見方	2
4. 回収結果	3
II. 18 歳以上調査の結果	5
1. 横浜市の持つ資源や価値について	6
2. 共にめざす都市像「明日をひらく都市」について	18
3. めざす未来の具体像について	37
4. 戦略について	50
5. 38 の政策について	70
III. 中学生・高校生調査の結果	84
1. 共にめざす都市像「明日をひらく都市」について	85
2. めざす未来の具体像について	94
IV. 調査票・単純集計結果	101

I 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

横浜市の目指すべき方向性について検討するため、横浜市民の抱える課題やニーズ等を把握し、今後の市政運営や政策立案の基礎資料として活用する。

2. 調査仕様

- | | |
|--------------|--|
| (1) 調査地域 | 横浜市全域 |
| (2) 調査対象 | ①18歳以上調査：横浜市内に居住する満18歳以上の男女個人
②中学生・高校生調査：横浜市内に居住する中学生・高校生の年齢の男女個人 |
| (3) 標本数 | ①18歳以上調査：10,000標本（うち、外国籍市民200標本）
②中学生・高校生調査：3,000標本（うち、外国籍市民60標本） |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの層化一段無作為抽出（ただし、外国籍市民は無作為抽出） |
| (5) 調査方法 | 郵送法（Web回答併用） |
| (6) 調査時期 | 令和4年6月10日～7月8日
※なお、集計は7月15日到着分までを集計対象とした |
| (7) 実査、集計、分析 | 一般社団法人輿論科学協会 |

3. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 質問には、全員が1つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問がある。2つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数（n）で割った比率であり、通常その値は、100%を超える。
- (3) 結果数値は、表章単位未満（小数第二位）を四捨五入してあるので、内訳の合計が計（100.0%）に一致しないこともある。
- (4) 中学生・高校生調査における高校生の年代は「高校生」と表記している。

4. 回収結果

①全 体

アンケートの概要	送付数	全体	18歳以上調査	中学生・高校生調査
		調査期間：	13,000人	10,000人
令和4年6月10日～	回答数	3,888人	3,117人	771人
7月8日	回答率	30.2%	31.6%	25.8%

②18歳以上調査：有効回収標本数 3,117 標本（回収率 31.6%）・宛所不明等による郵便不着数 126 件を除いた件数での回収率

居住区別	実数	割合 (%)
全 体	3,117	100.0
鶴見区	195	6.3
神奈川区	171	5.5
西区	80	2.6
中区	114	3.7
南区	168	5.4
港南区	196	6.3
保土ヶ谷区	167	5.4
旭区	210	6.7
磯子区	154	4.9
金沢区	182	5.8
港北区	292	9.4
緑区	139	4.5
青葉区	266	8.5
都筑区	197	6.3
戸塚区	225	7.2
栄区	108	3.5
泉区	130	4.2
瀬谷区	96	3.1
(無回答)	27	0.9

男女別	実数	割合 (%)
全 体	3,117	100.0
男 性	1,360	43.6
女 性	1,682	54.0
回答しない	49	1.6
(無回答)	26	0.8

性・年齢別	実数	割合 (%)
全 体	3,117	100.0
男性 18～29 歳	101	3.2
30 代	126	4.0
40 代	201	6.4
50 代	252	8.1
60 代	240	7.7
70 歳以上	439	14.1
女性 18～29 歳	131	4.2
30 代	190	6.1
40 代	241	7.7
50 代	337	10.8
60 代	303	9.7
70 歳以上	479	15.4
(無回答)	77	2.5

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

(ただし、るび版、翻訳版調査票での回答件数であり、通常版の回答は含んでいないため、参考値とする)

男女別	実数	割合 (%)
全 体	12	100.0
男 性	5	41.7
女 性	7	58.3
回答しない	-	-
(無回答)	-	-

③中学生・高校生調査：有効回収標本数 771 標本（回収率 25.8%）・宛所不明等による郵便不着数 16 件を除いた件数での回収率

居住区別	実数	割合 (%)
全 体	771	100.0
鶴見区	46	6.0
神奈川区	47	6.1
西区	15	1.9
中区	30	3.9
南区	32	4.2
港南区	46	6.0
保土ヶ谷区	33	4.3
旭区	44	5.7
磯子区	32	4.2
金沢区	47	6.1
港北区	73	9.5
緑区	37	4.8
青葉区	66	8.6
都筑区	59	7.7
戸塚区	69	8.9
栄区	21	2.7
泉区	34	4.4
瀬谷区	29	3.8
(無回答)	11	1.4

男女別	実数	割合 (%)
全 体	771	100.0
男 性	382	49.5
女 性	358	46.4
回答しない	26	3.4
(無回答)	5	0.6

学生区分別	実数	割合 (%)
全 体	771	100.0
中学生	410	53.2
高校生	361	46.8
(無回答)	-	-

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

(ただし、るび版、翻訳版調査票での回答件数であり、通常版の回答は含んでいないため、参考値とする)

男女別	実数	割合 (%)
全 体	5	100.0
男 性	2	40.0
女 性	3	60.0
回答しない	-	-
(無回答)	-	-

④アンケートにおける自由意見の記入状況

	18 歳 以 上 調 査	中 学 生 ・ 高 校 生 調 査	合 計
全アンケート回答者数 (A)	3,117	771	3,888
自由意見の記入数 (B)	1,178	402	1,580
自由意見の記入率 (B/A)	37.8%	52.1%	40.6%

Ⅱ 18歳以上調査の結果

Ⅱ. 18歳以上調査の結果

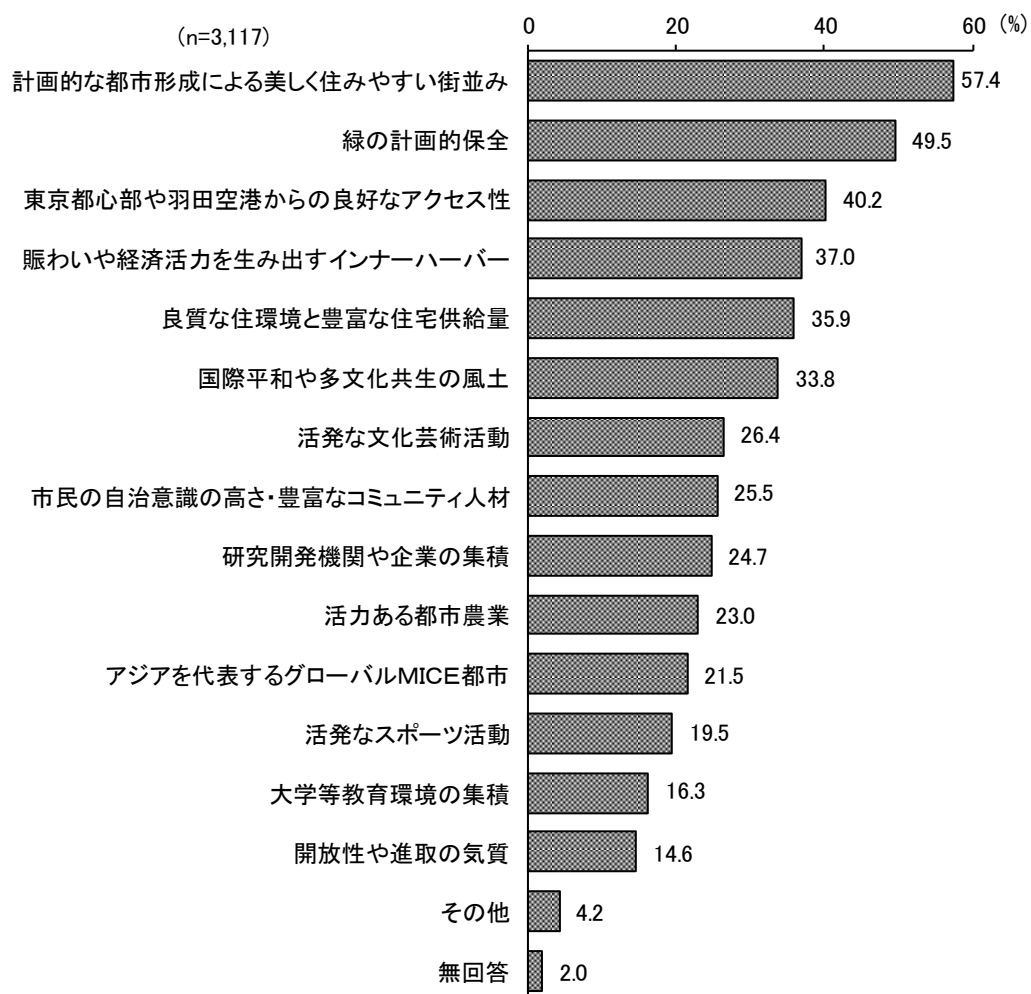
1. 横浜市の持つ資源や価値について

問1 横浜市には様々な資源や価値がありますが、その中であなたが特に重要だと考えるものは何ですか。（〇はいくつでも）

「計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み」が1位

横浜市の持つ資源や価値の中で特に重要と考えるものを聞いたところ、「計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み」（57.4%）が5割半ばと最も高く、次いで「緑の計画的保全」（49.5%）、「東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性」（40.2%）、「賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー」（37.0%）、「良質な住環境と豊富な住宅供給量」（35.9%）、「国際平和や多文化共生の風土」（33.8%）などの順となっている。

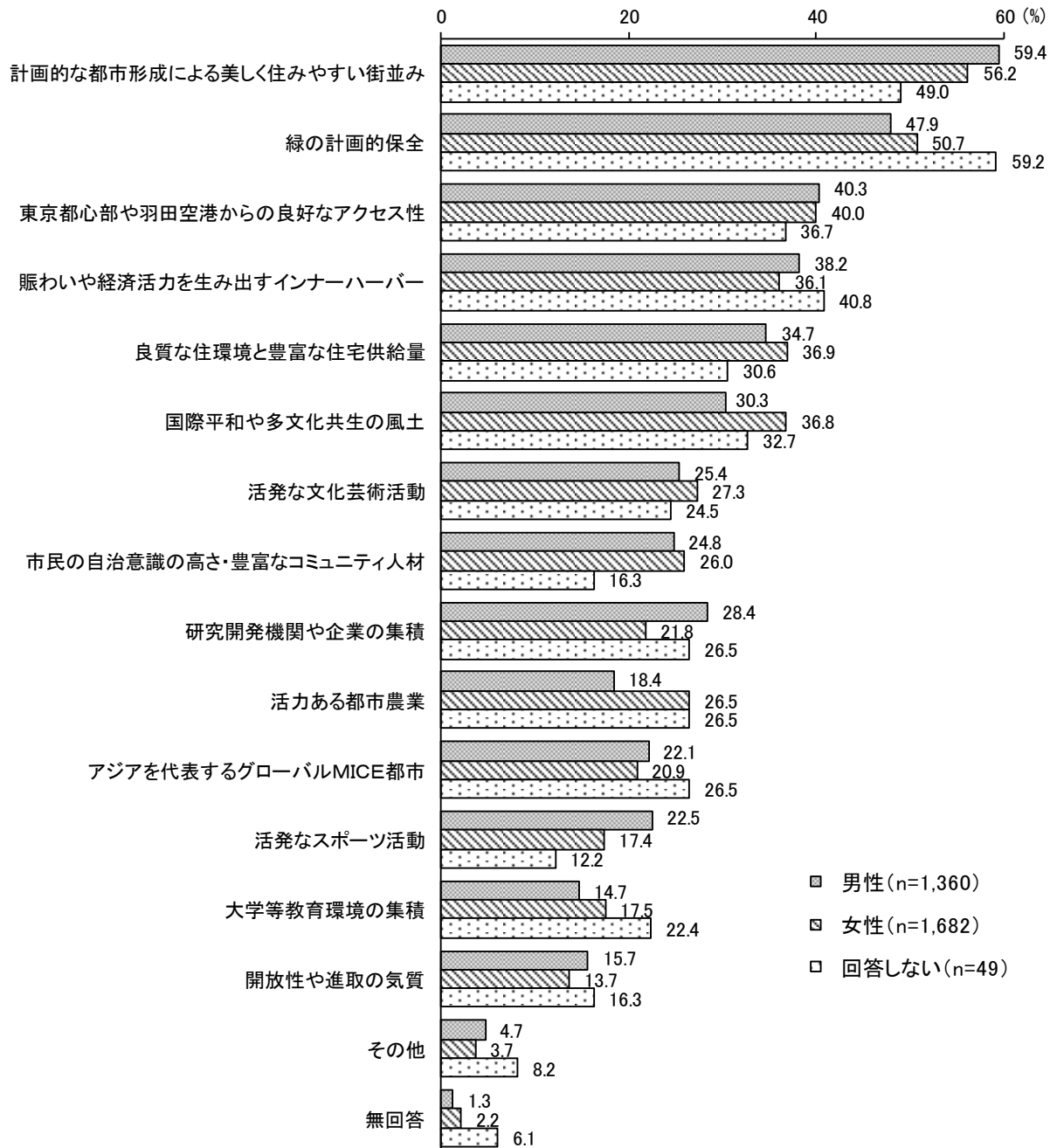
図1-1 横浜市の持つ資源や価値について [全体]（複数回答）



「研究開発機関や企業の集積」などは男性の方が高く、「活力ある都市農業」などは女性の方が高い

男女別にみると、「研究開発機関や企業の集積」、「活発なスポーツ活動」などは男性の方が高く、「活力ある都市農業」、「国際平和や多文化共生の風土」などは女性の方が高くなっている。

図 1-2 横浜市の持つ資源や価値について [男女別] (複数回答)



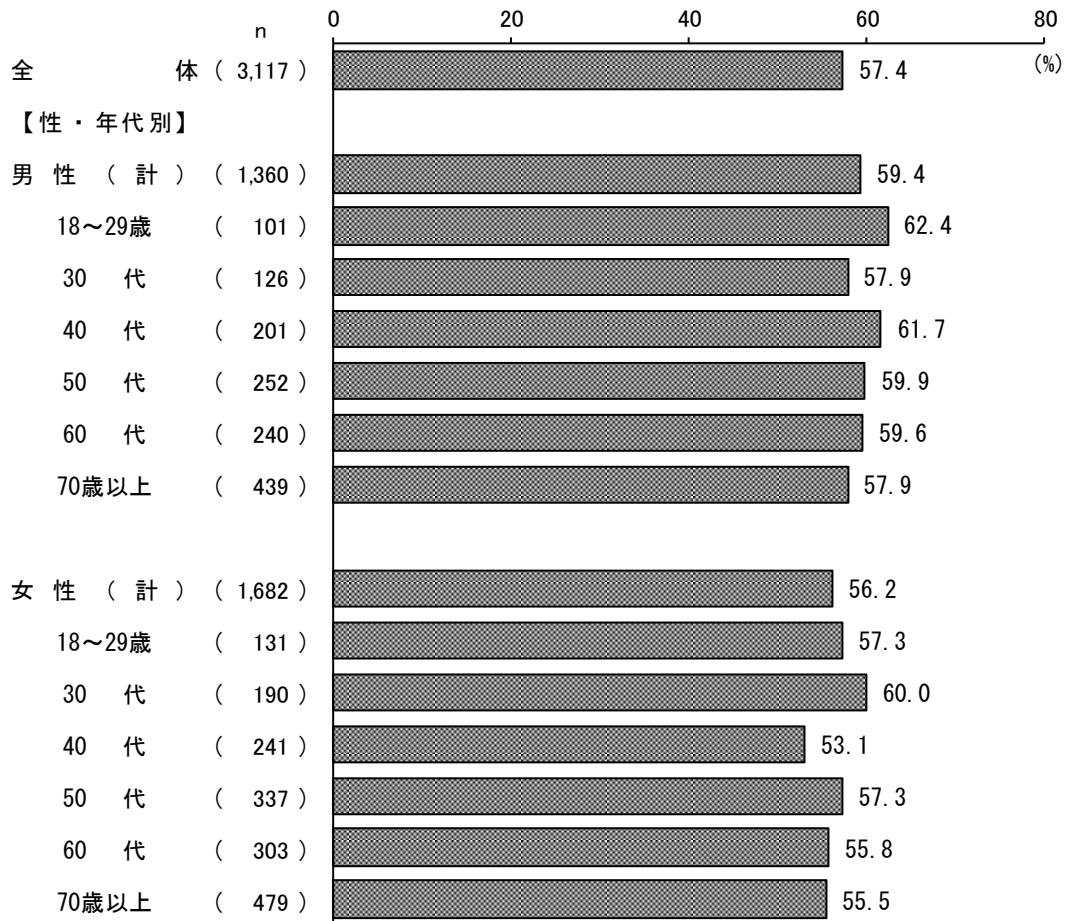
当設問の回答上位 5 項目について、次ページ以降に性・年代別、居住区別の結果を掲載する。

(1-1) 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み [性・年代別]

男性 18~29 歳、男性 40 代、女性 30 代が 6 割台と高い

「計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み」について、性・年代別にみると、男性 18~29 歳 (62.4%)、男性 40 代 (61.7%)、女性 30 代 (60.0%) が 6 割台と高くなっている。

図 1-3 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み [性・年代別] (複数回答)

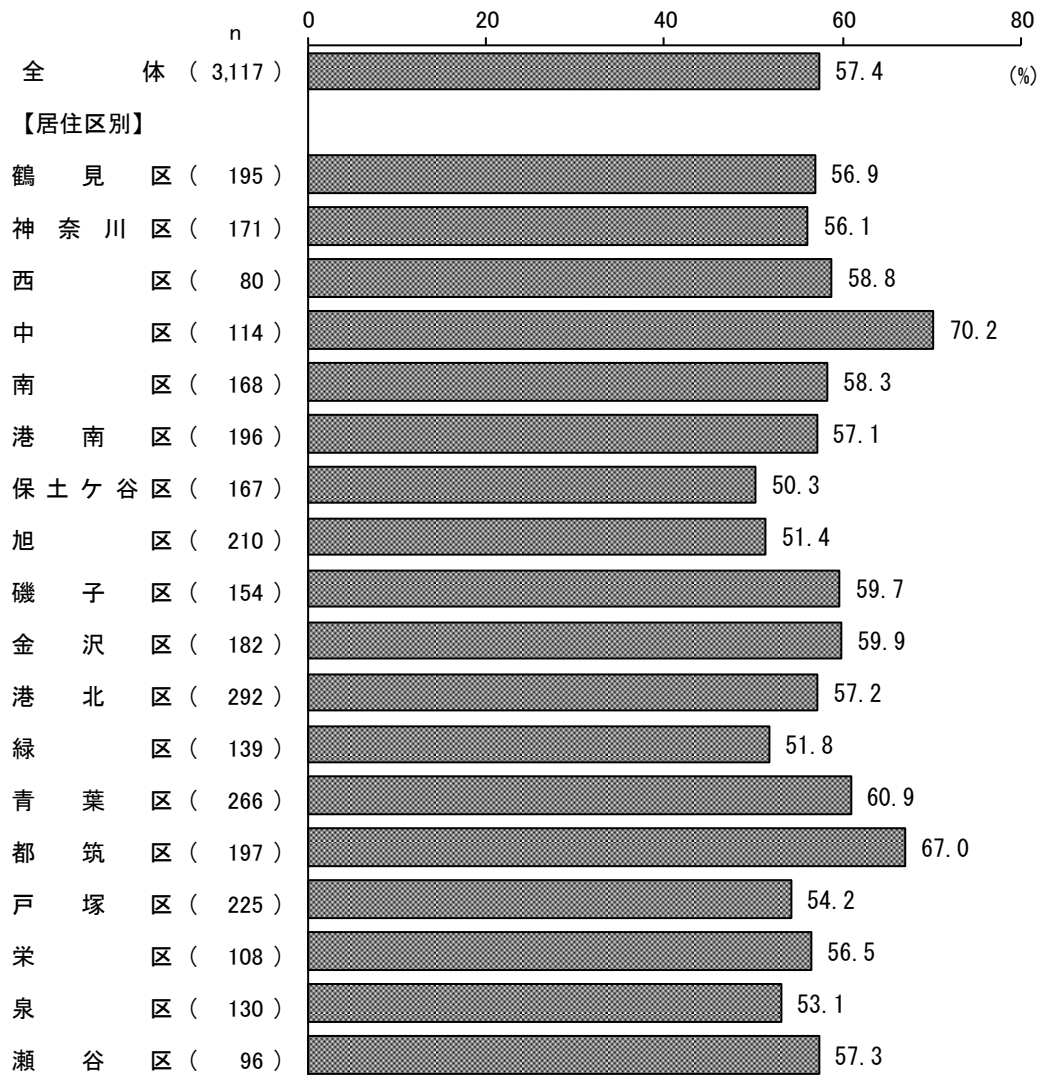


(1-2) 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み [居住区別]

中区が7割を超えて最も高い

「計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み」について、居住区別にみると、中区(70.2%)が7割を超えて最も高くなっている。また、都筑区(67.0%)も6割半ばと高い。

図1-4 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み [居住区別] (複数回答)

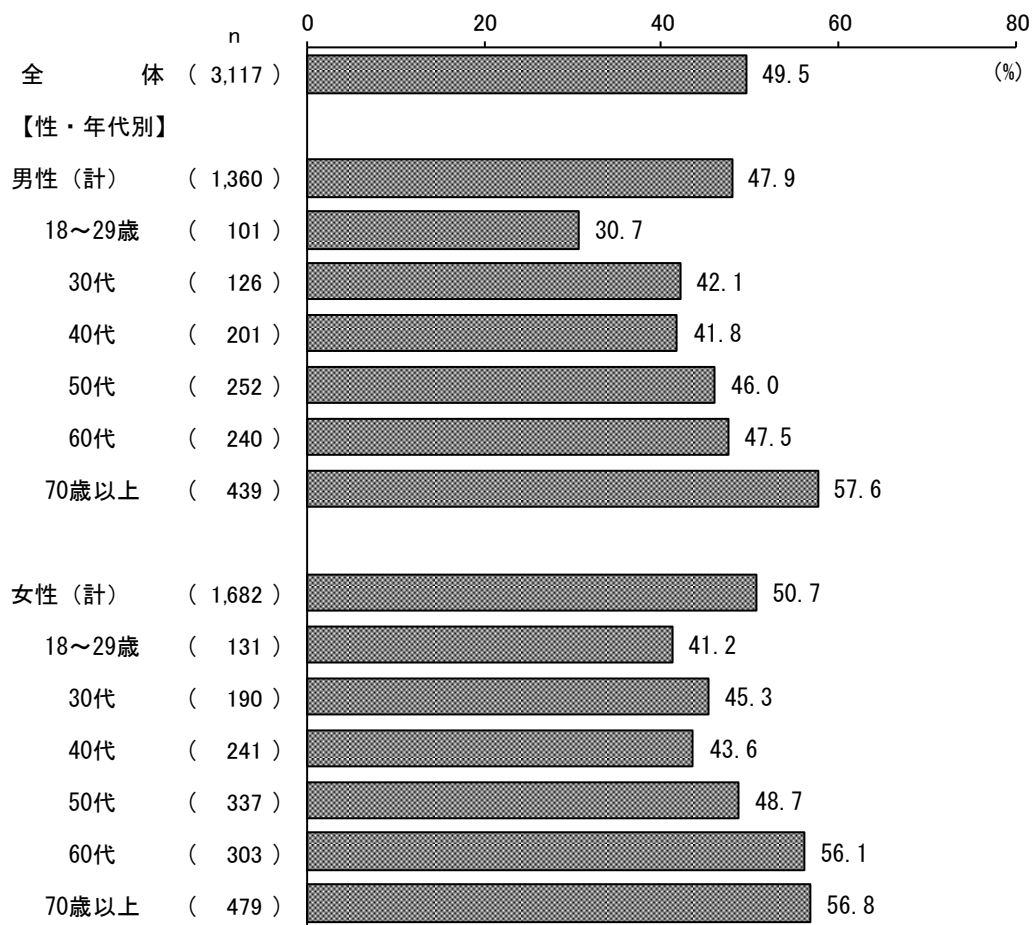


(2-1) 緑の計画的保全 [性・年代別]

男性 70 歳以上、女性 70 歳以上、女性 60 代が 5 割半ばと高い

「緑の計画的保全」について、性・年代別にみると、男性 70 歳以上 (57.6%)、女性 70 歳以上 (56.8%)、女性 60 代 (56.1%) が 5 割半ばと高くなっている。一方、男性 18~29 歳 (30.7%) は約 3 割と低い。

図 1-5 緑の計画的保全 [性・年代別] (複数回答)

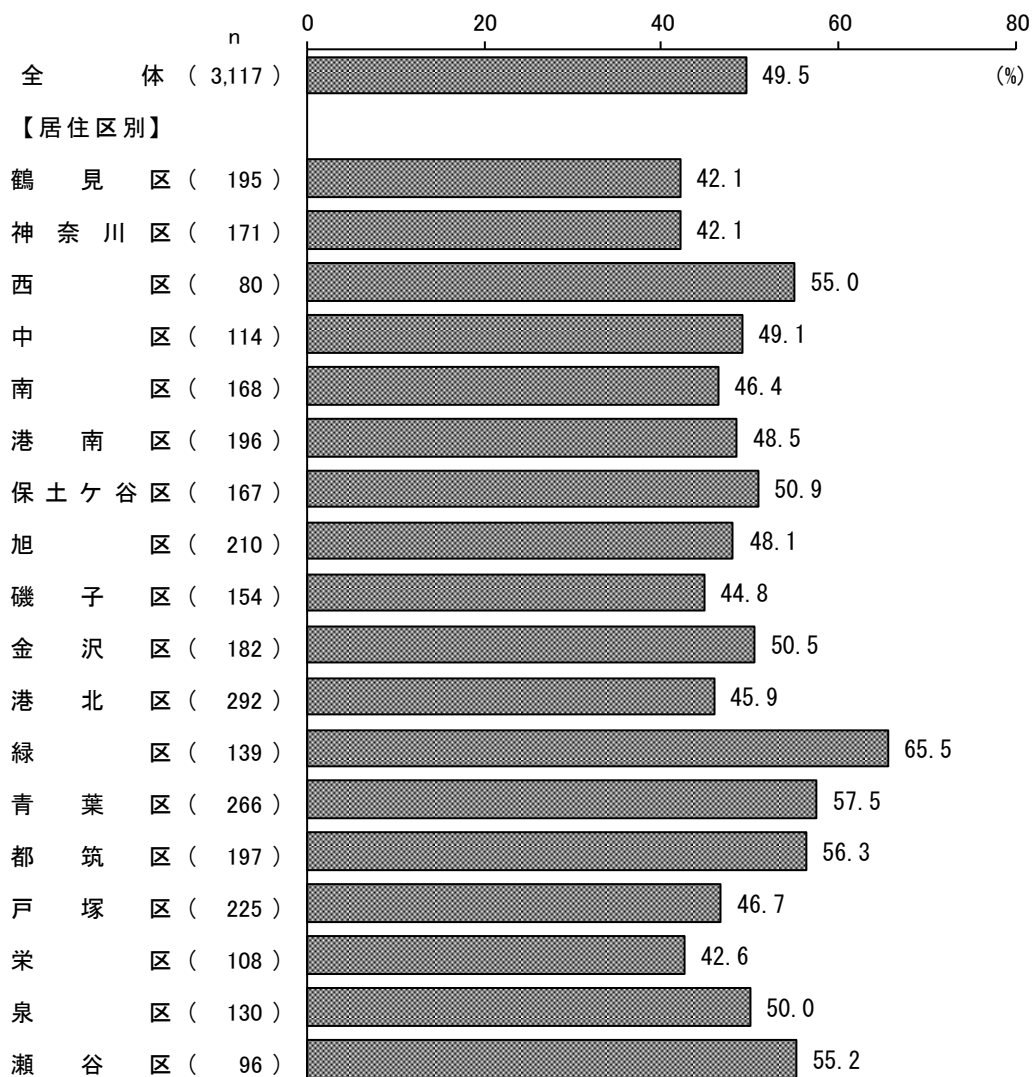


(2-2) 緑の計画的保全 [居住区別]

緑区が6割半ばと最も高い

「緑の計画的保全」について、居住区別にみると、緑区（65.5%）が6割半ばと最も高くなっている。

図1-6 緑の計画的保全 [居住区別] (複数回答)

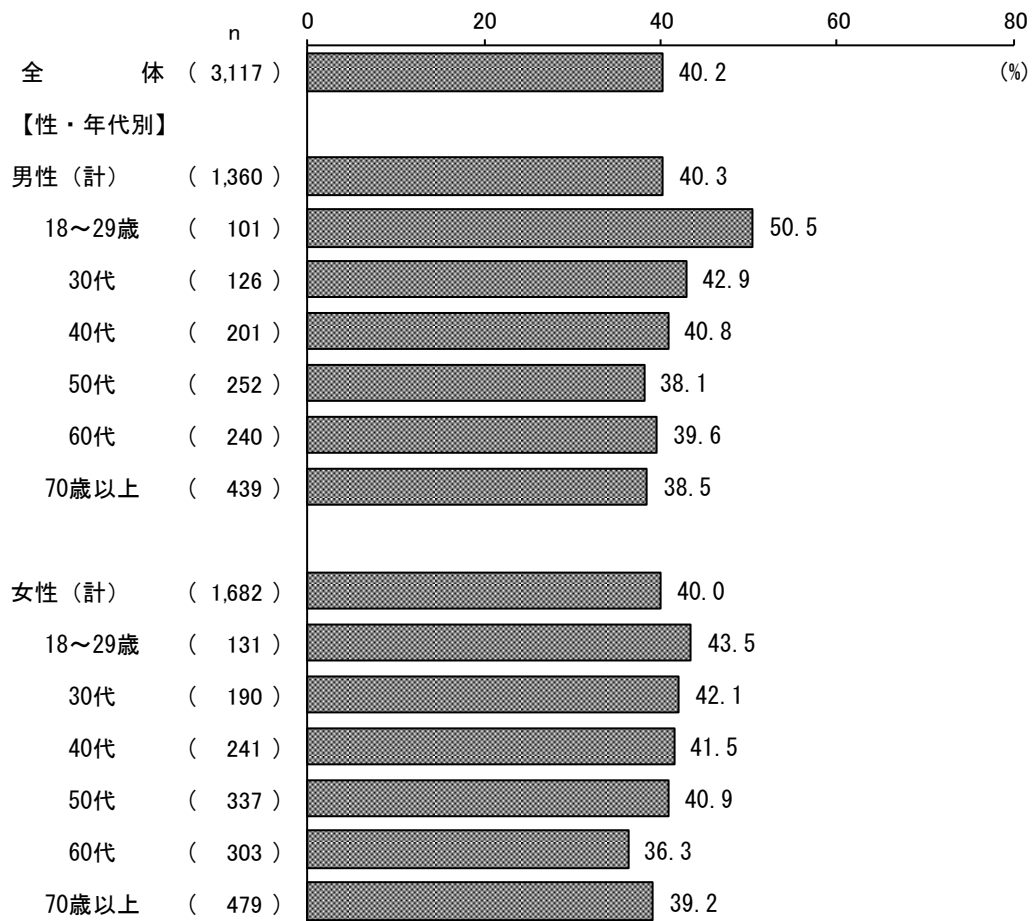


(3-1) 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性 [性・年代別]

男性 18～29 歳が 5 割を超えて最も高い

「東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性」について、性・年代別にみると、男性 18～29 歳 (50.5%) が 5 割を超えて最も高くなっている。

図 1-7 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性 [性・年代別] (複数回答)

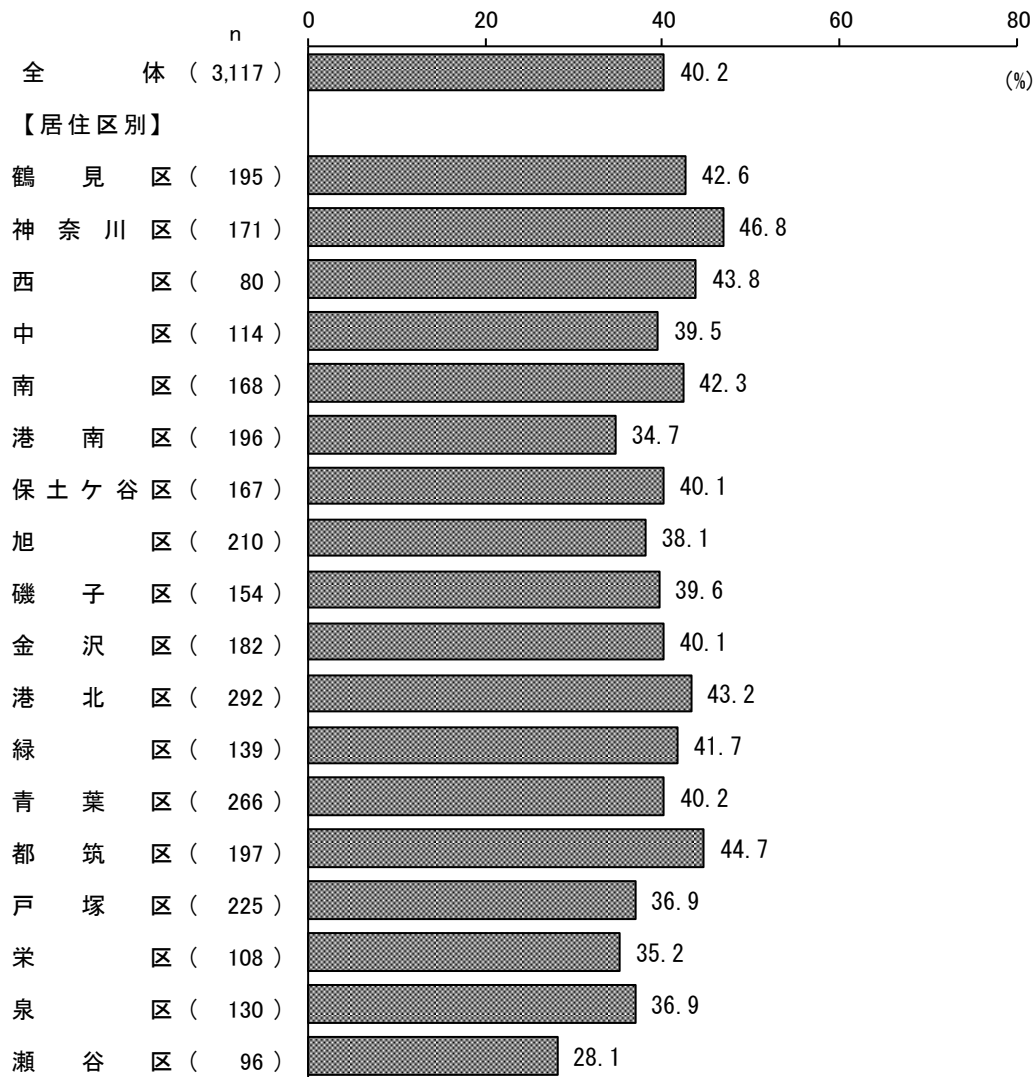


(3-2) 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性 [居住区別]

神奈川県が4割半ばと最も高い

「東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性」について、居住区別にみると、神奈川県(46.8%)が4割半ばと最も高くなっている。

図1-8 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性 [居住区別] (複数回答)

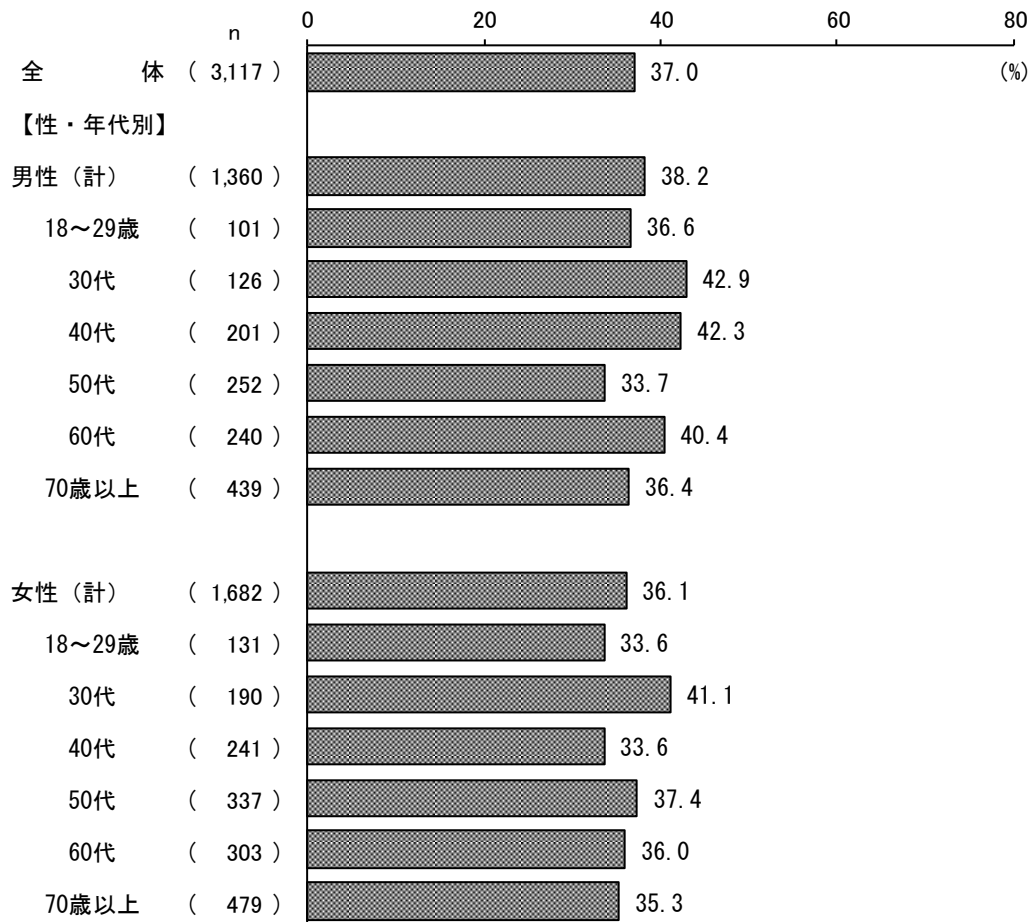


(4-1) 賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー [性・年代別]

男女すべての年代で3割半ばから4割強

「賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー」について、性・年代別にみると、男女すべての年代で3割半ばから4割強と、特に大きな違いは見られない。

図1-9 賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー [性・年代別] (複数回答)

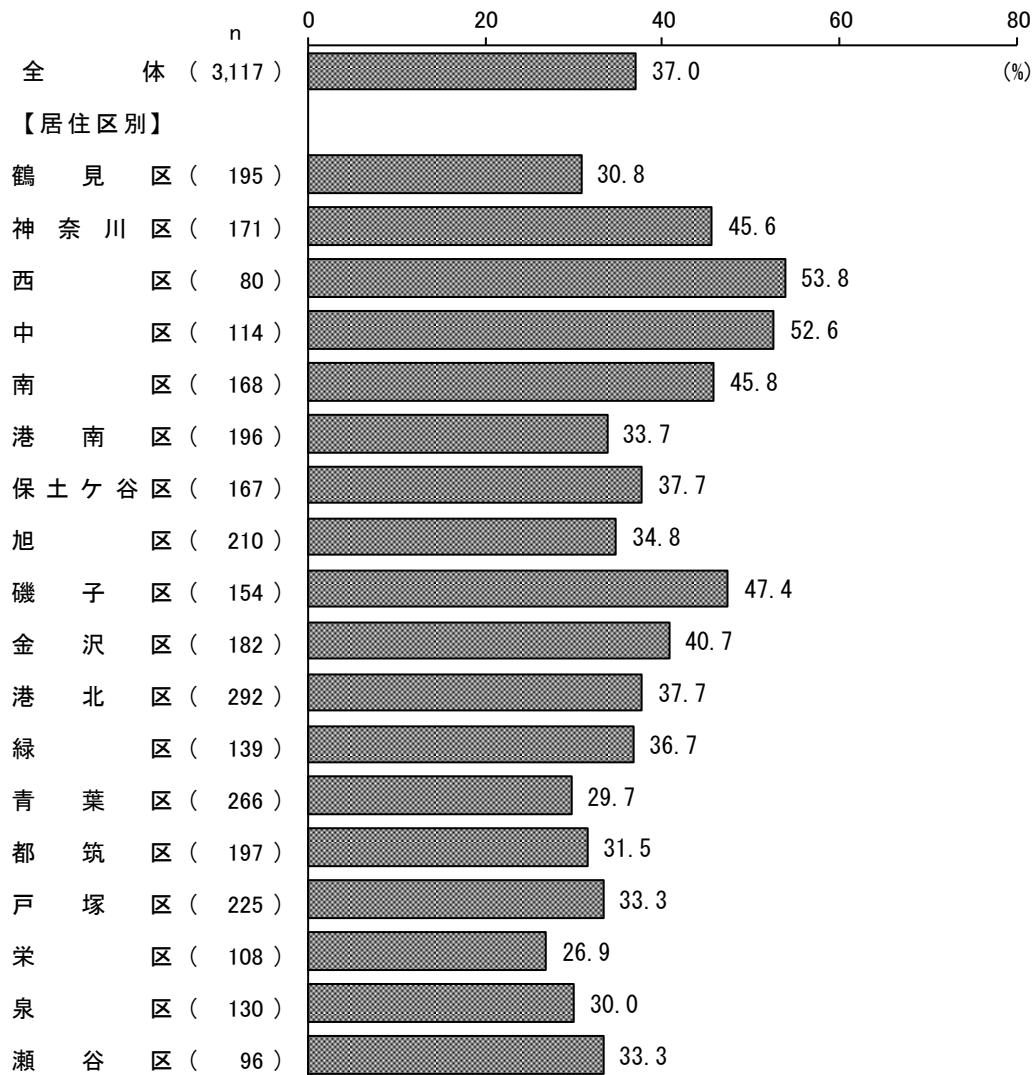


(4-2) 賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー [居住区別]

西区、中区が5割台と高い

「賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー」について、居住区別にみると、西区(53.8%)、中区(52.6%)が5割台と高くなっている。一方、栄区(26.9%)、青葉区(29.7%)は2割台と低い。

図1-10 賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー [居住区別] (複数回答)

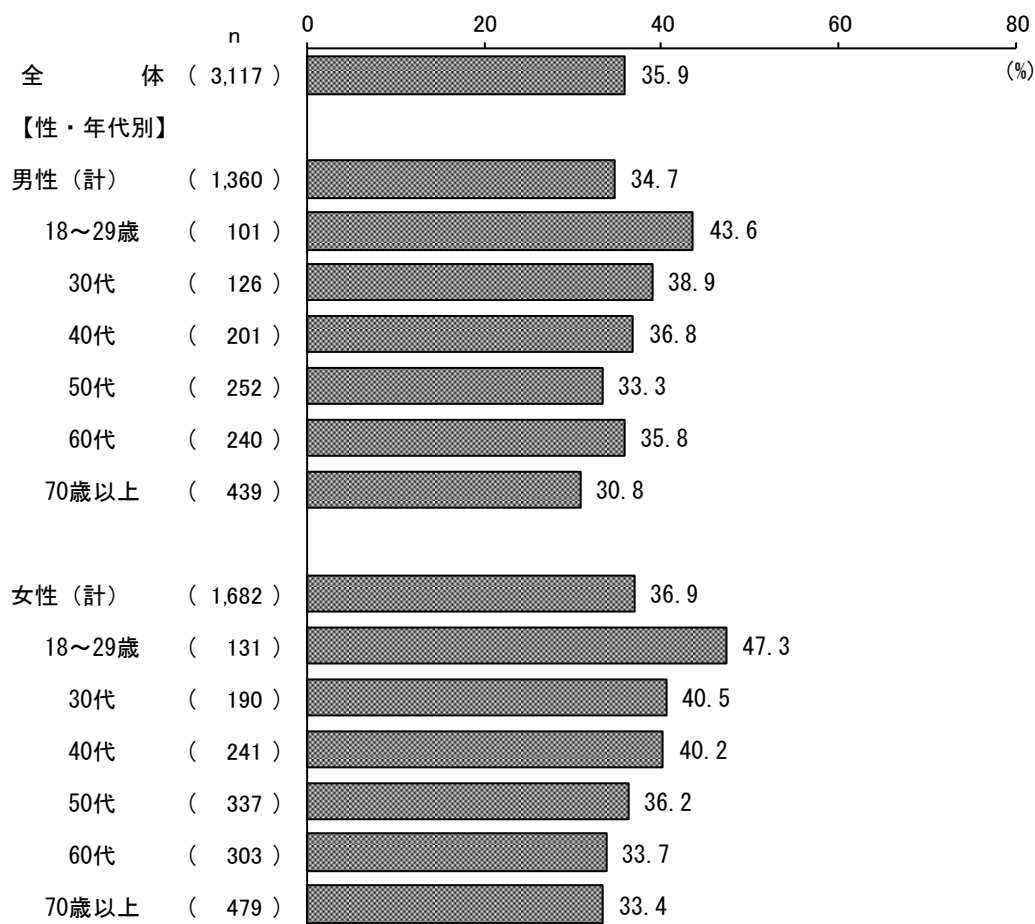


(5-1) 良質な住環境と豊富な住宅供給量[性・年代別]

男女18～29歳が4割半ばと高い

「良質な住環境と豊富な住宅供給量」について、性・年代別にみると、女性18～29歳(47.3%)、男性18～29歳(43.6%)が4割半ばと高くなっている。一方、男性70歳以上(30.8%)が約3割と低い。

図1-11 良質な住環境と豊富な住宅供給量 [性・年代別] (複数回答)

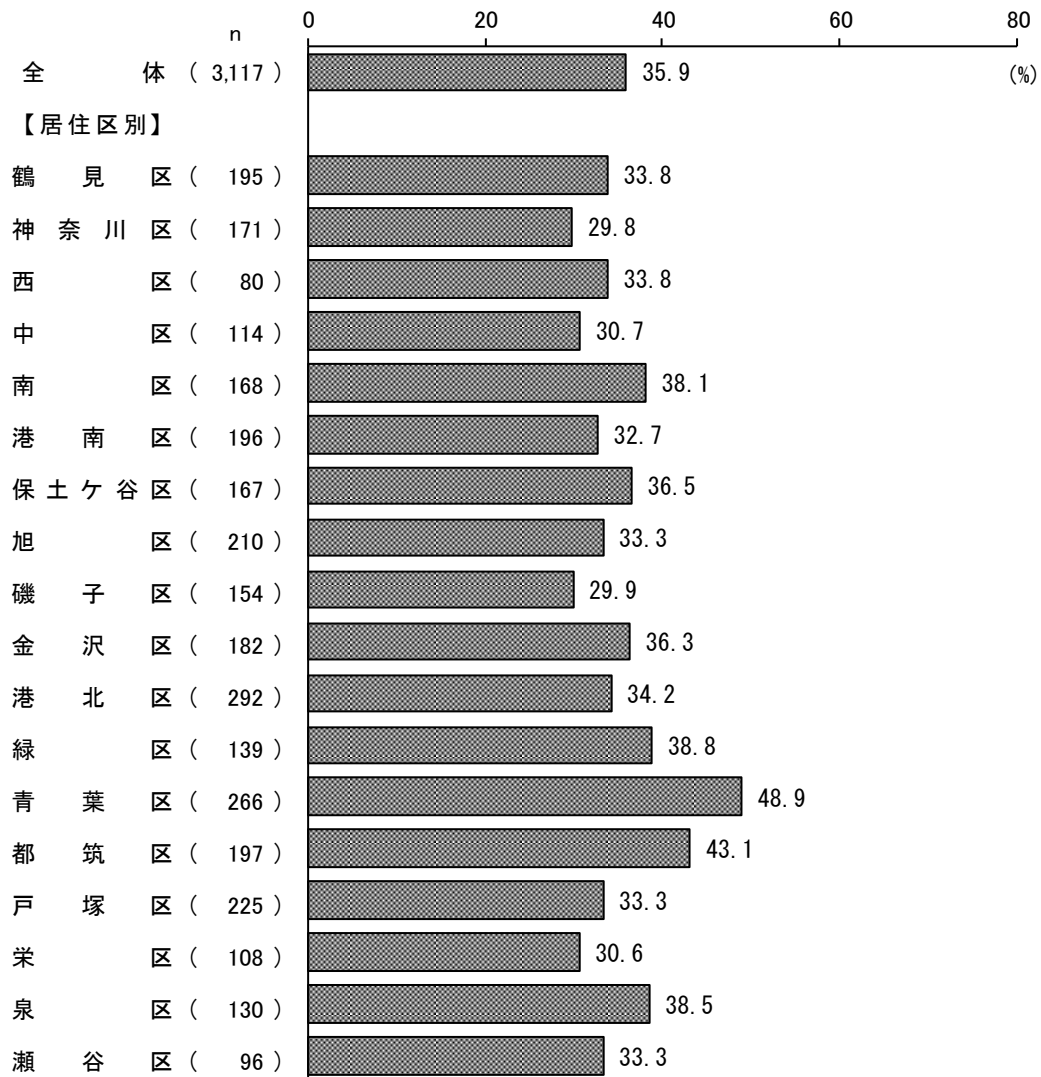


(5-2) 良質な住環境と豊富な住宅供給量[居住区別]

青葉区、都筑区が4割台と高い

「良質な住環境と豊富な住宅供給量」について、居住区別にみると、青葉区（48.9%）、都筑区（43.1%）が4割台と高くなっている。

図1-12 良質な住環境と豊富な住宅供給量 [居住区別] (複数回答)



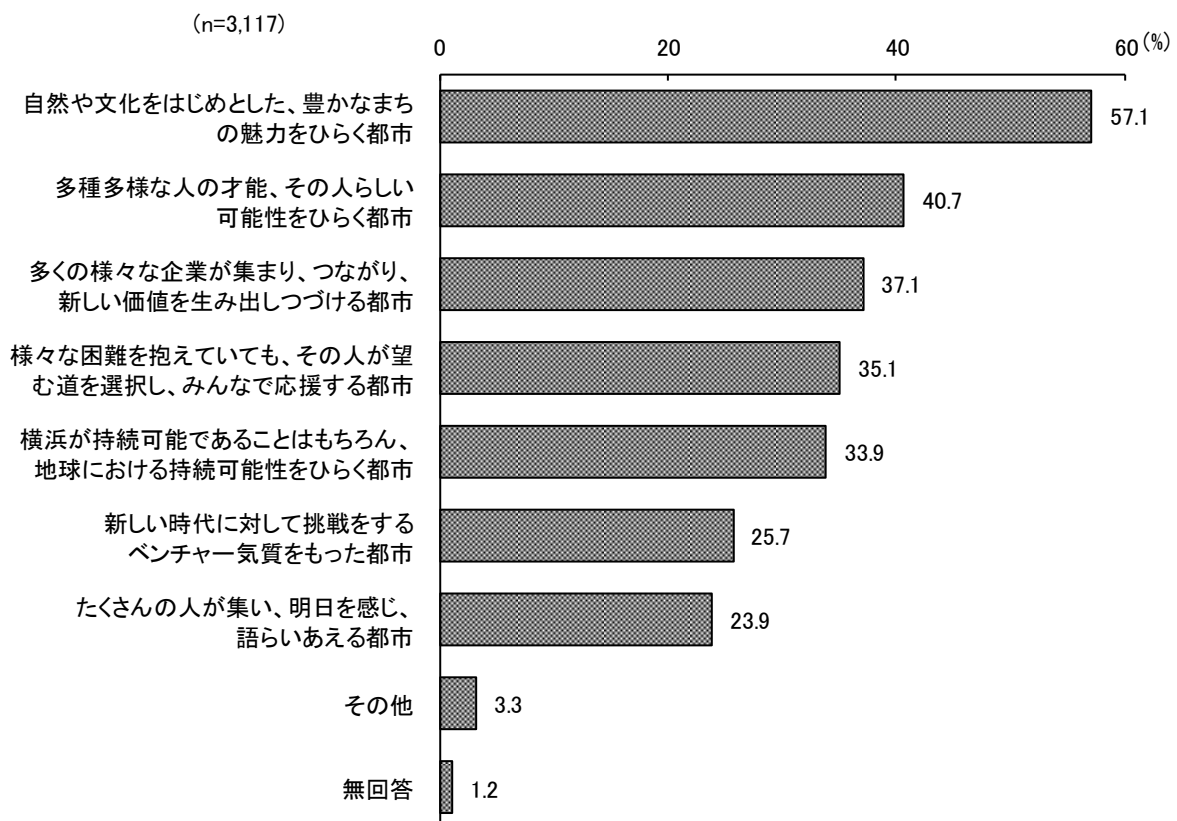
2. 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について

問2 今から約20年後（2040年頃）も、横浜市が魅力あるまちであるためには、どのような状態であることが望ましいでしょうか。ご自身、お子さんやお孫さん世代、更にはその先の世代へ続いていくまちとして、また、他都市や世界に対して魅力をアピールできるまちとして想定した時の、横浜市のありたい姿をお選びください。（〇は3つまで）

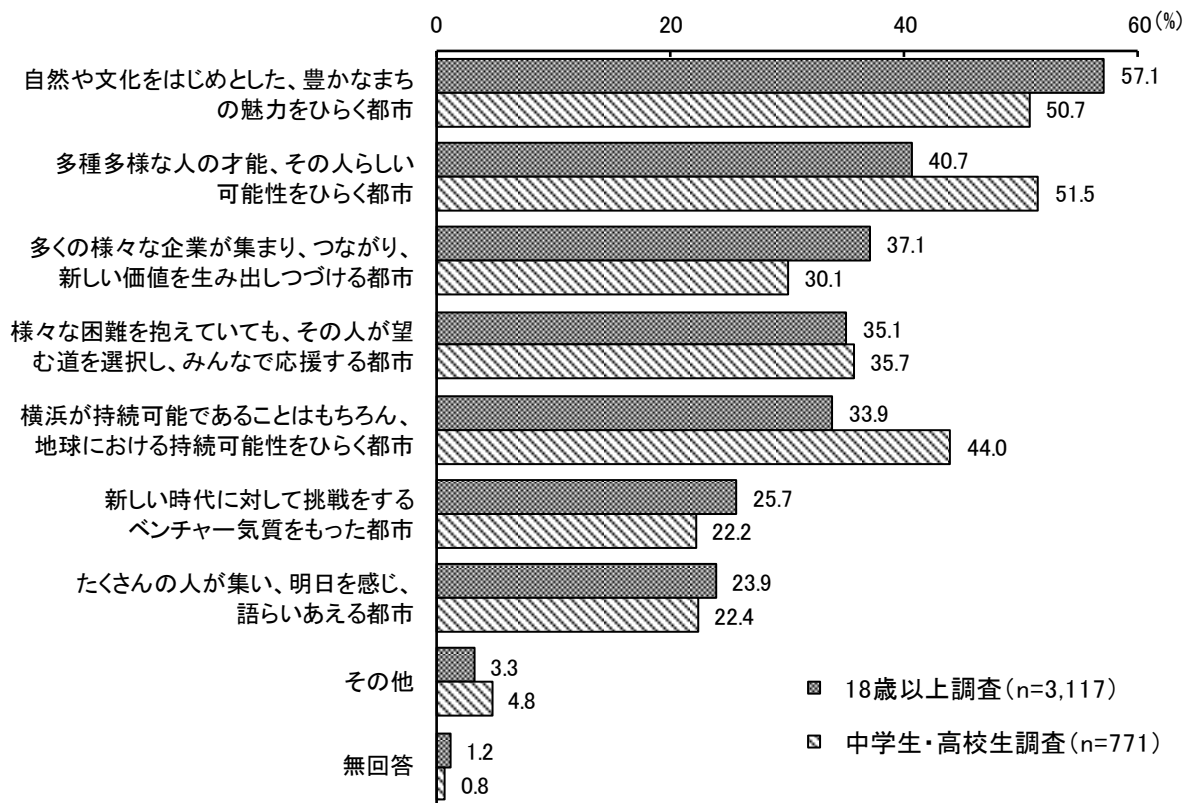
「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市」が1位

今から約20年後（2040年頃）も魅力あるまちであるための横浜市のありたい姿について聞いたところ、「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市」（57.1%）が5割半ばと最も高く、次いで「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」（40.7%）、「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」（37.1%）、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」（35.1%）、「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」（33.9%）などの順となっている。

図2-1 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について [全体]（複数回答）



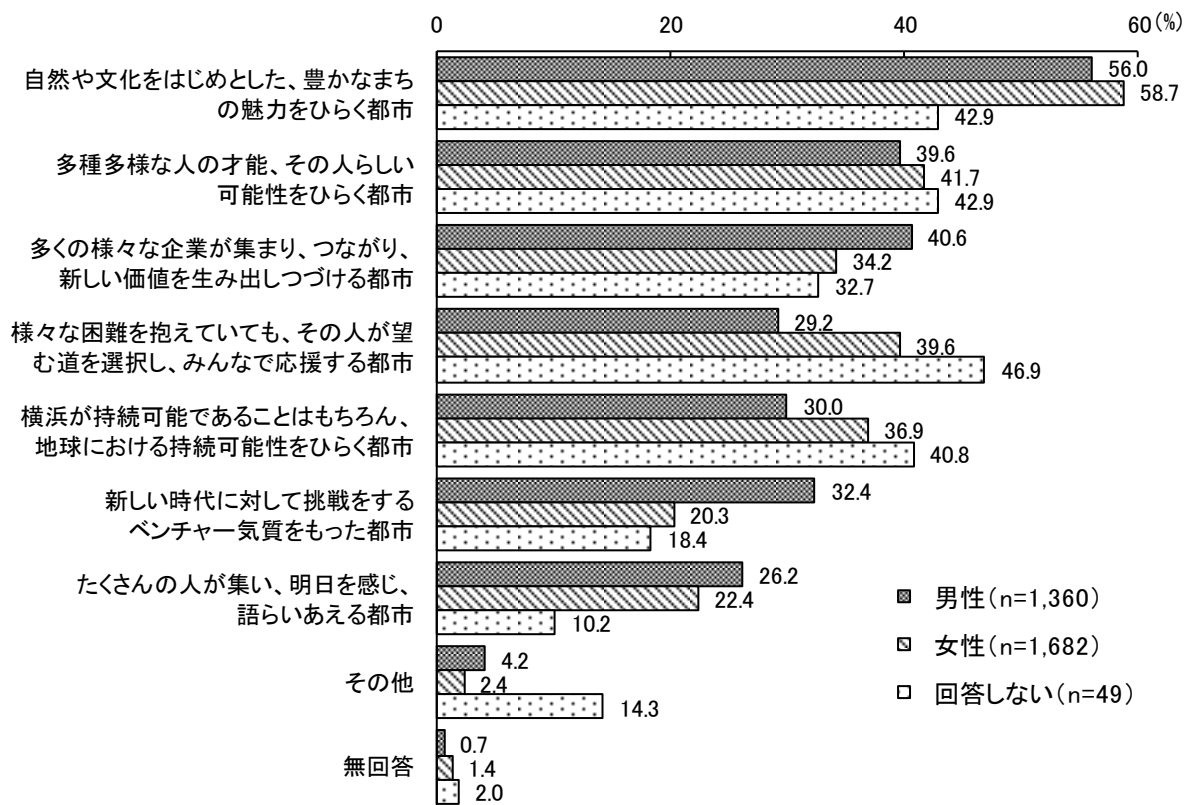
(参考) 中学生・高校生調査の結果との比較



「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」などは男性の方が高く、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」などは女性の方が高い

男女別にみると、「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」、「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」などは男性の方が高く、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」、「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」などは女性の方が高くなっている。

図 2-2 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について [男女別] (複数回答)



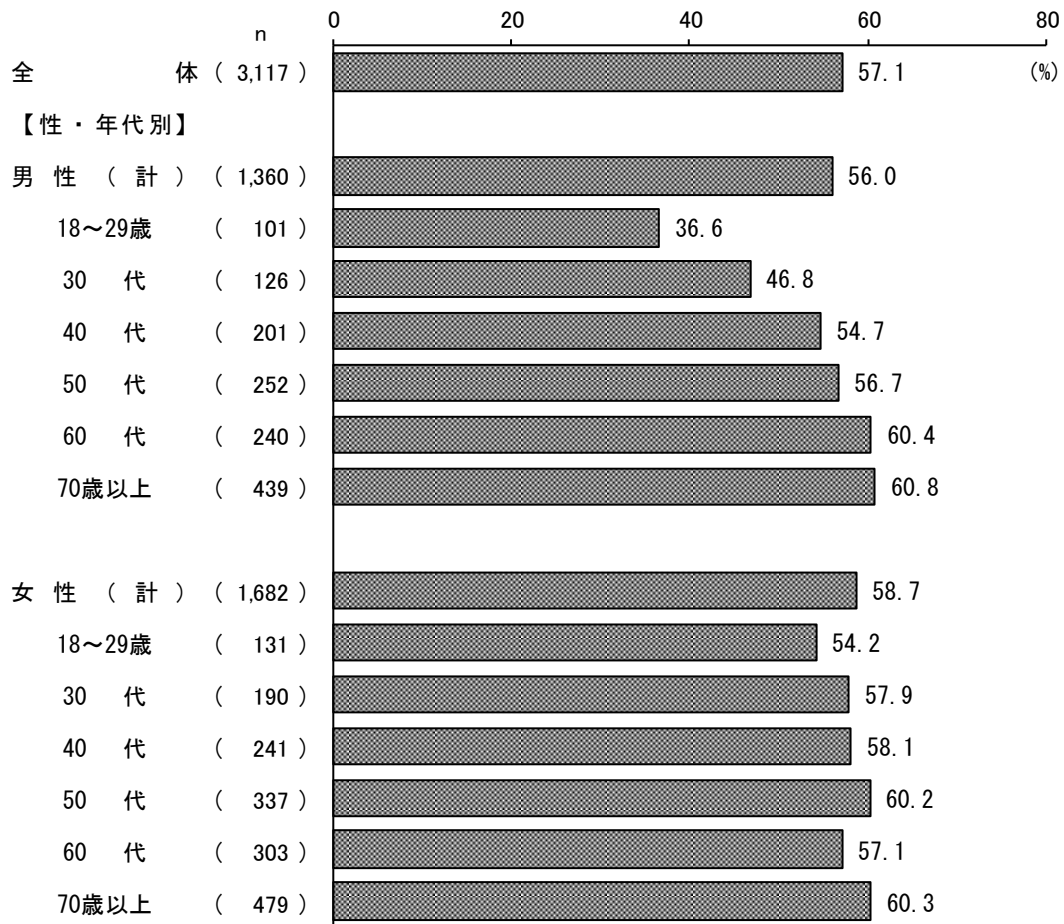
当設問の回答項目について、次ページ以降に性・年代別、居住区別の結果を掲載する。

(1-1) 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [性・年代別]

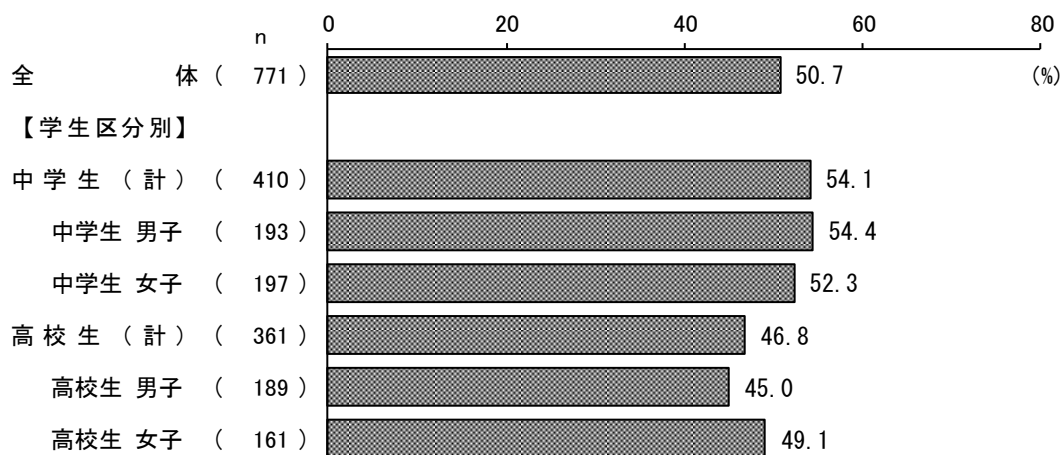
男性は年代があがるほど割合が高い傾向

「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市」について、性・年代別にみると、男性は年代があがるほど割合が高い傾向となっている。また、男性 18～29 歳（36.6%）が 3 割半ばと低い。

図 2-3 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

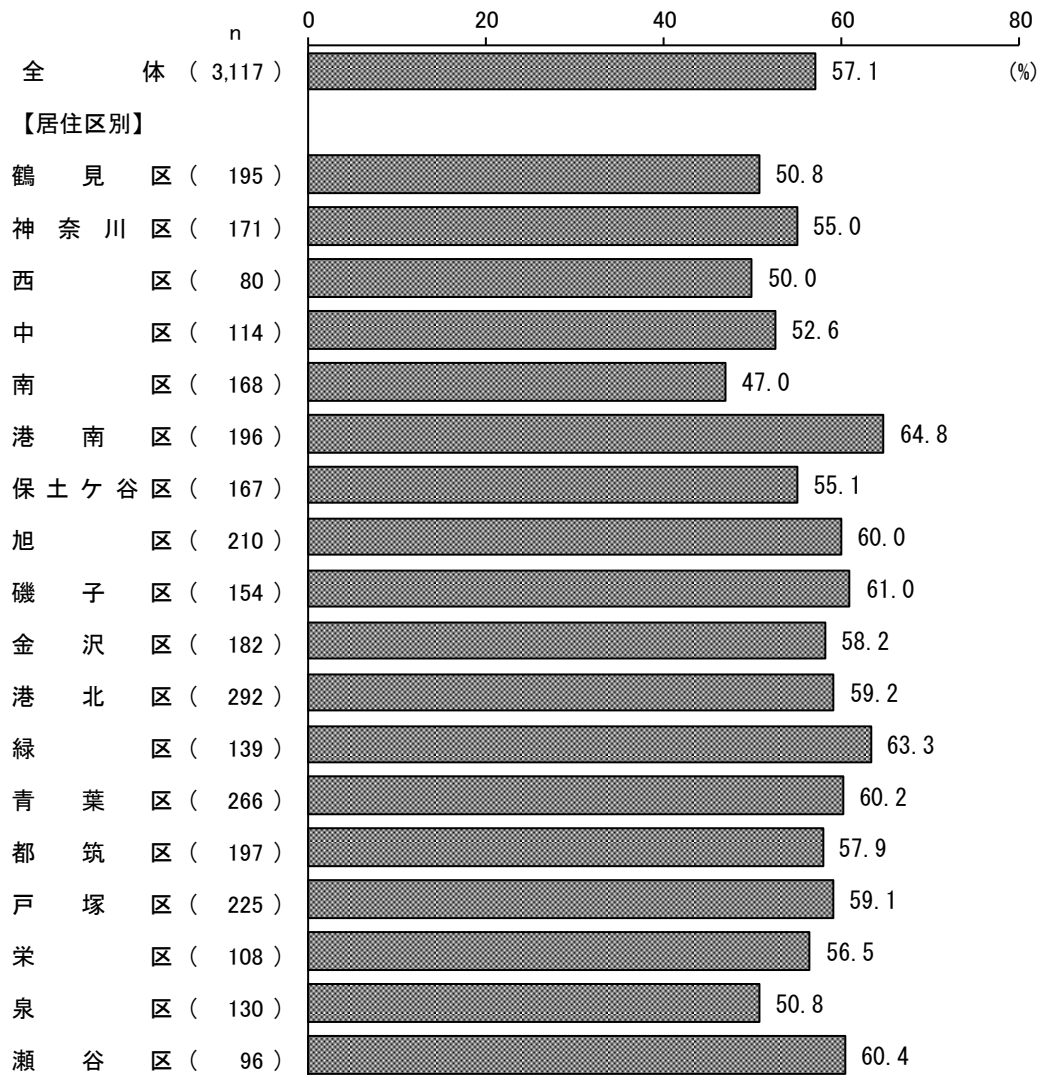


(1-2) 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [居住区別]

港南区、緑区が6割半ばと高い

「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市」について、居住区別にみると、港南区（64.8%）、緑区（63.3%）が6割半ばと高くなっている。一方、南区（47.0%）が4割半ばと低い。

図2-4 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [居住区別] (複数回答)

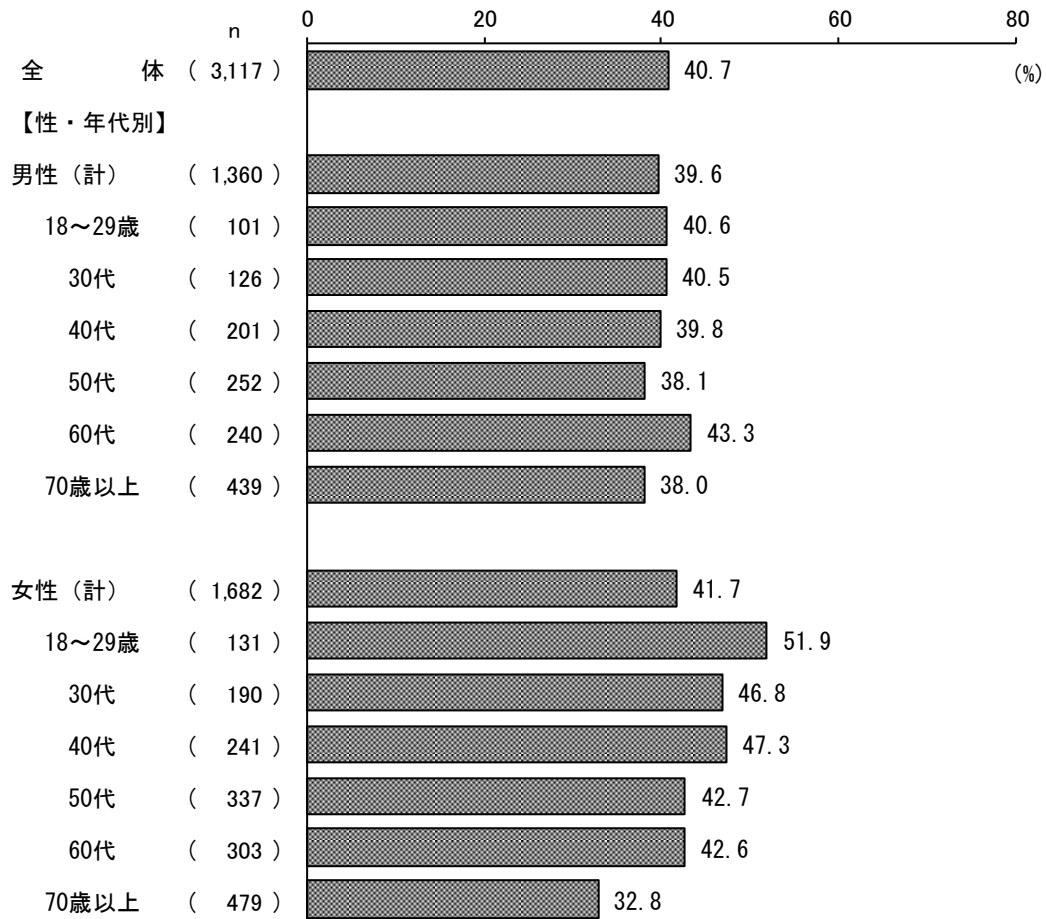


(2-1) 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [性・年代別]

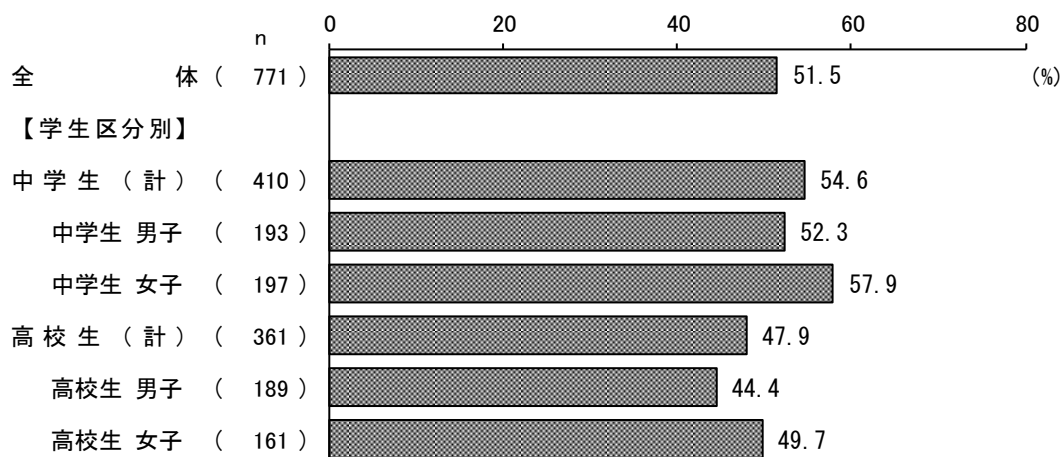
女性 18～29 歳が 5 割を超えて最も高い

「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」について、性・年代別にみると、女性 18～29 歳 (51.9%) が 5 割を超えて最も高くなっている。一方、女性 70 歳以上 (32.8%) は 3 割強と低い。

図 2-5 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

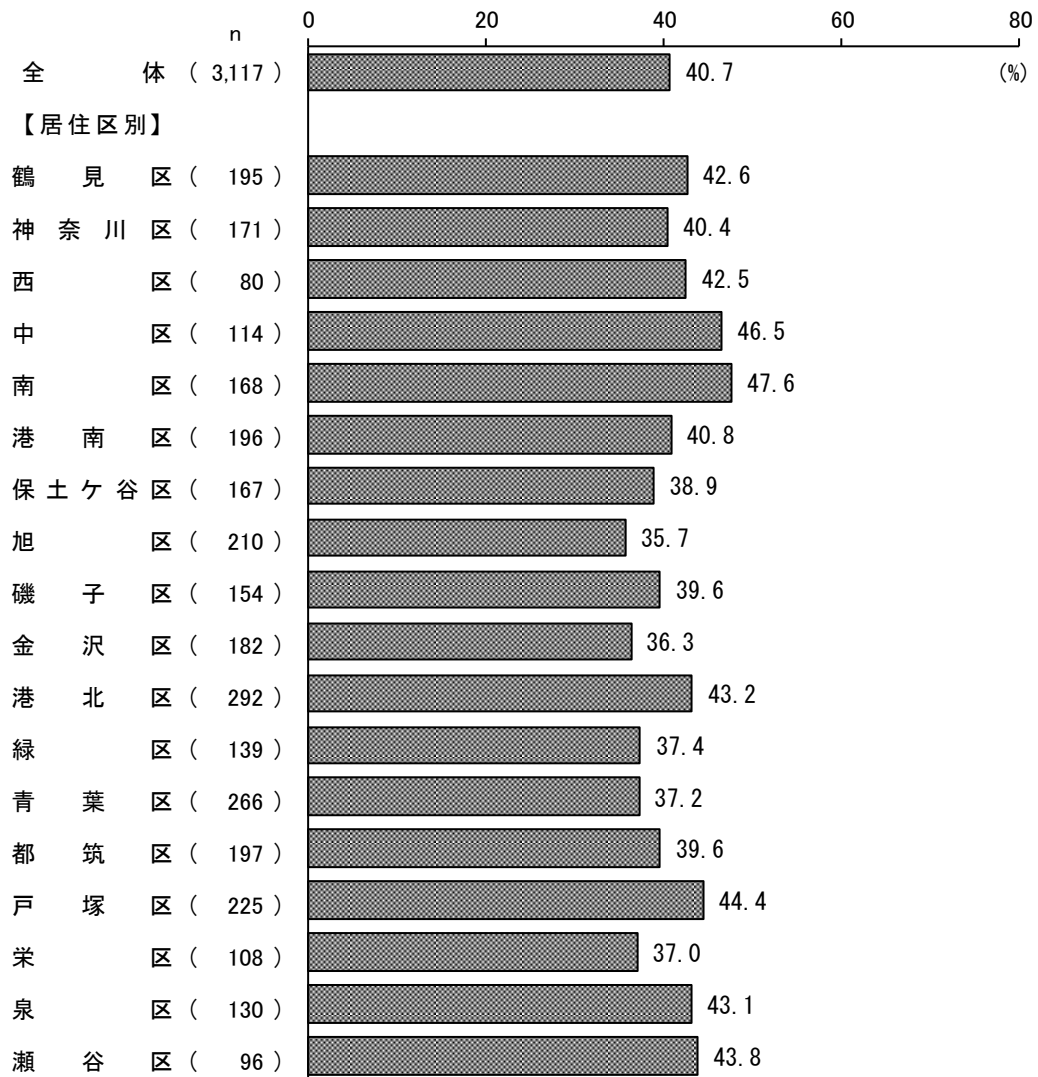


(2-2) 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [居住区別]

すべての区が3割半ばから4割半ば

「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」について、居住区別にみると、すべての区が3割半ばから4割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図2-6 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [居住区別] (複数回答)

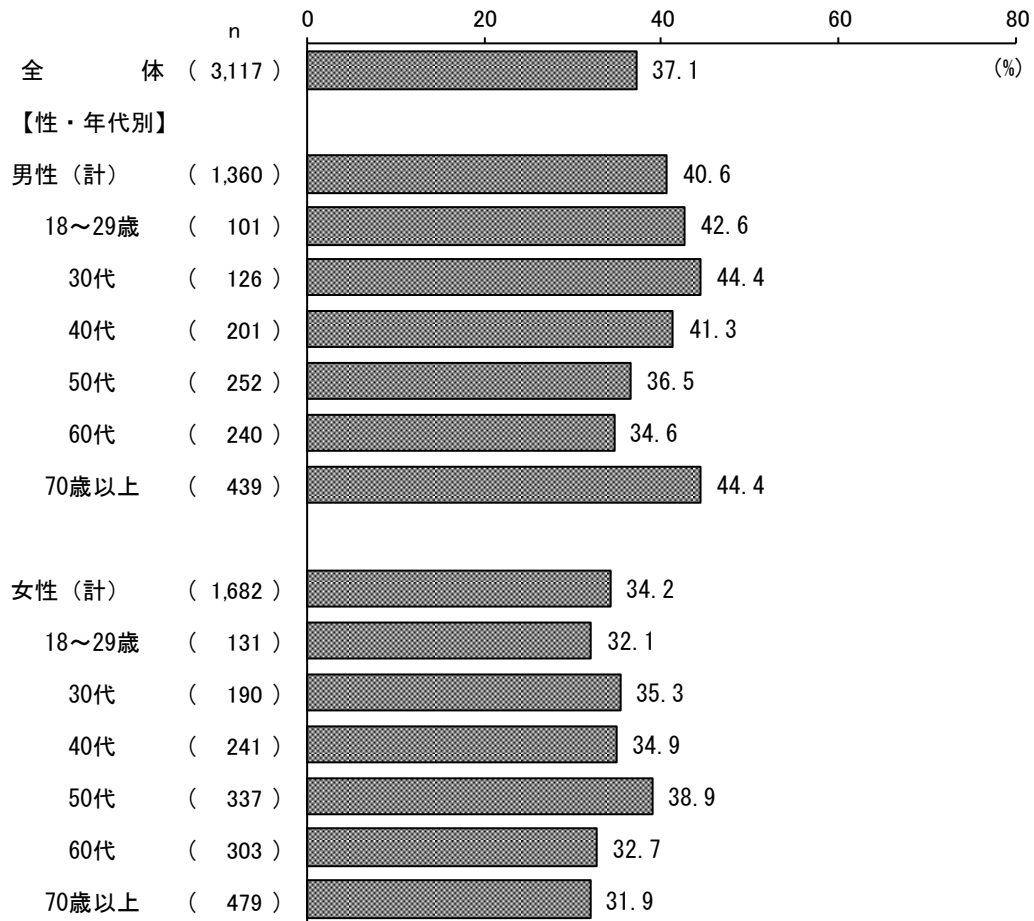


(3-1) 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 [性・年代別]

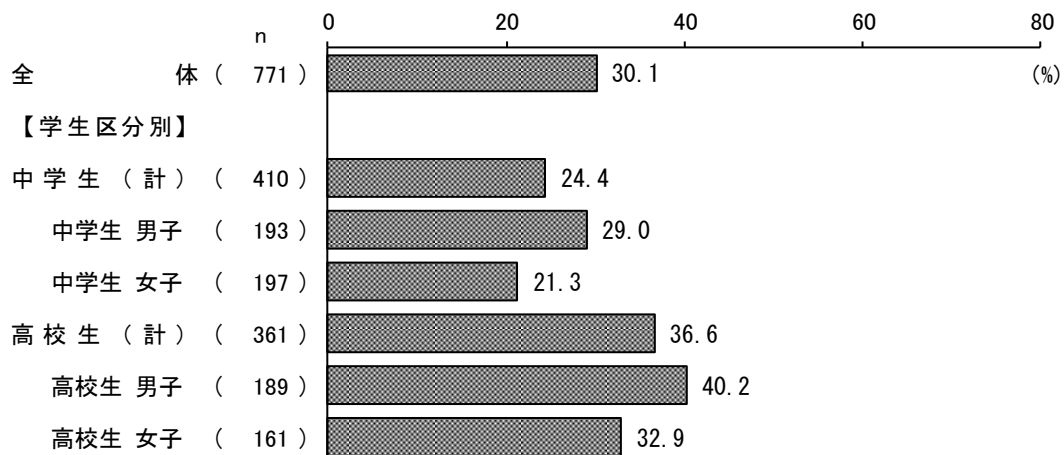
男性 30代、男性 70歳以上が4割半ばと高い

「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」について、性・年代別にみると、男性 30代、男性 70歳以上（ともに 44.4%）が4割半ばと高くなっている。

図 2-7 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

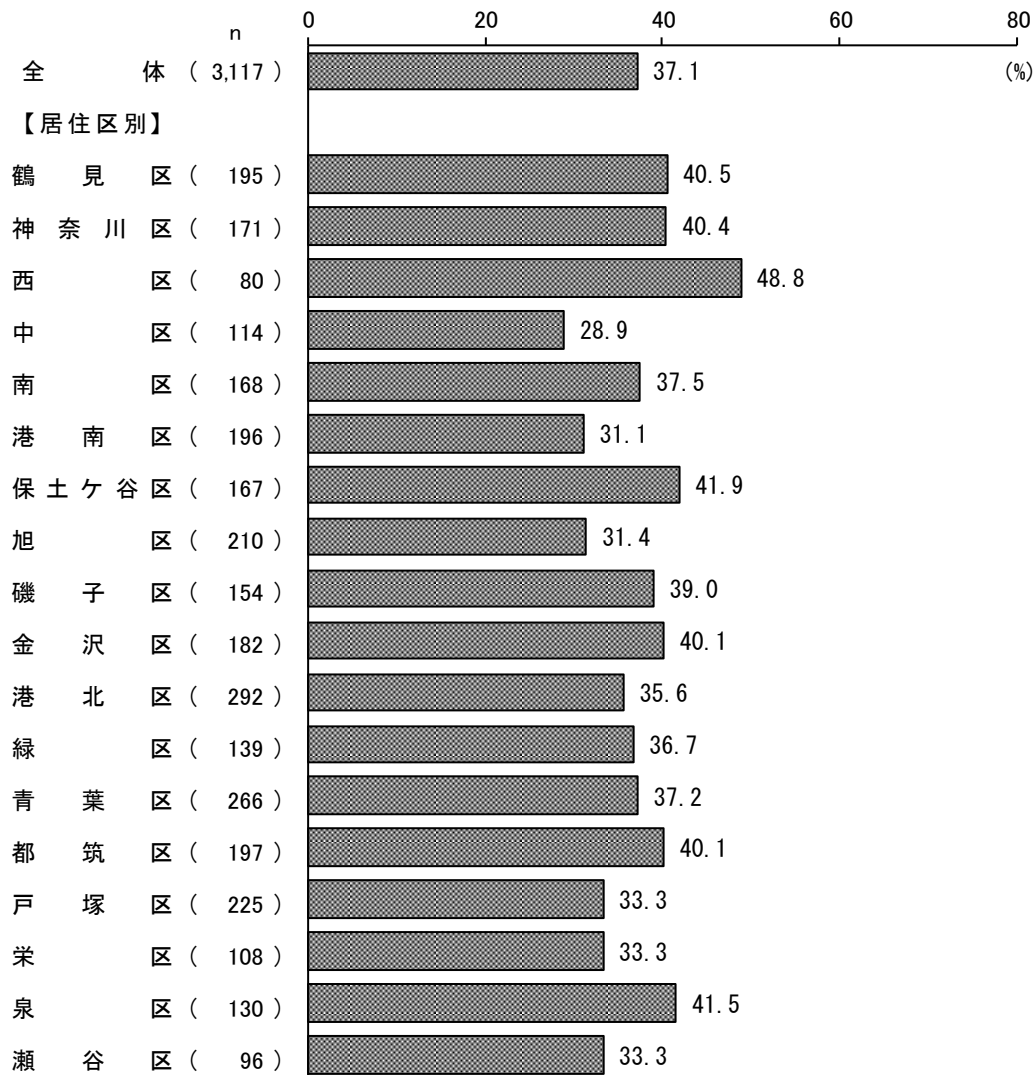


(3-2) 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 [居住区別]

西区が5割近くと最も高い

「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」について、居住区別にみると、西区（48.8%）が5割近くと最も高くなっている。

図2-8 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 [居住区別]（複数回答）

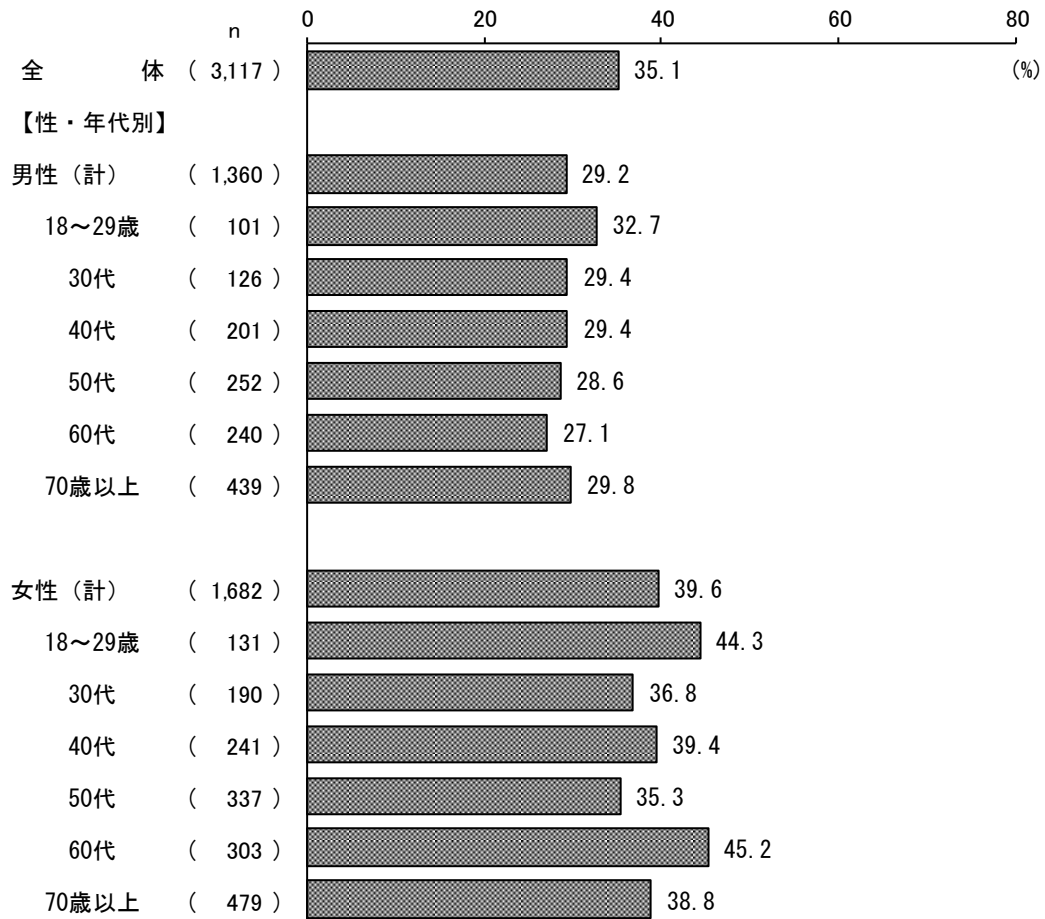


(4-1) 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [性・年代別]

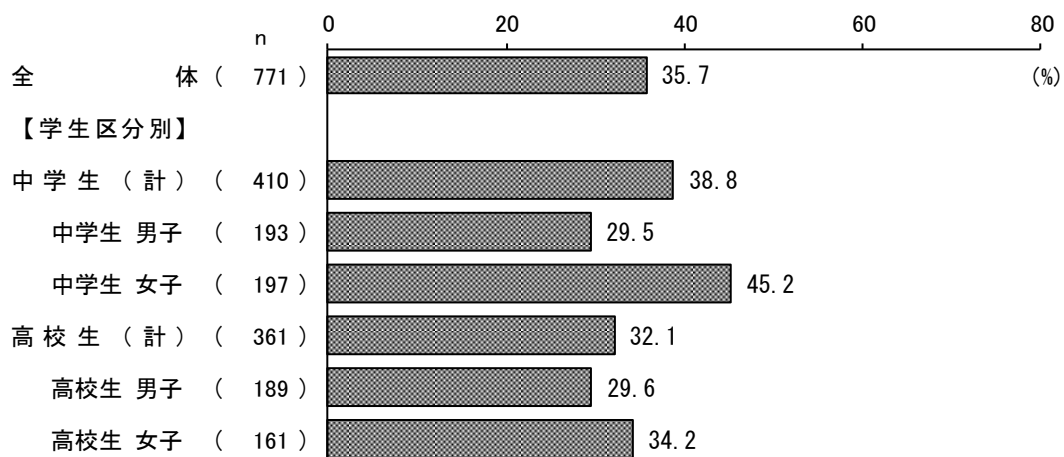
女性 60代、女性 18~29歳が4割半ばと高い

「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」について、性・年代別にみると、女性 60代 (45.2%)、女性 18~29歳 (44.3%) が4割半ばと高くなっている。

図 2-9 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

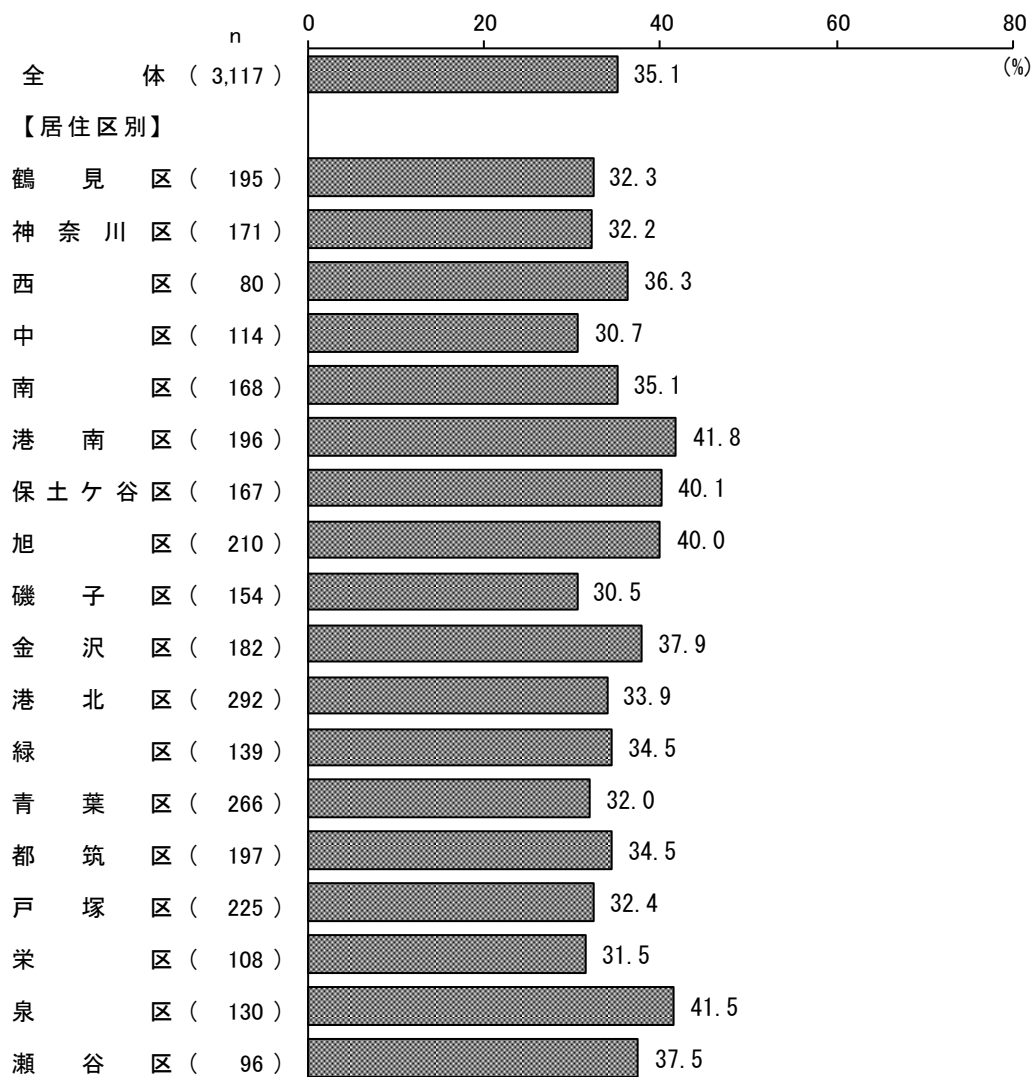


(4-2) 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [居住区別]

港南区、泉区、保土ヶ谷区、旭区が4割台と高い

「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」について、居住区別にみると、港南区 (41.8%)、泉区 (41.5%)、保土ヶ谷区 (40.1%)、旭区 (40.0%) が4割台と高くなっている。

図2-10 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [居住区別] (複数回答)

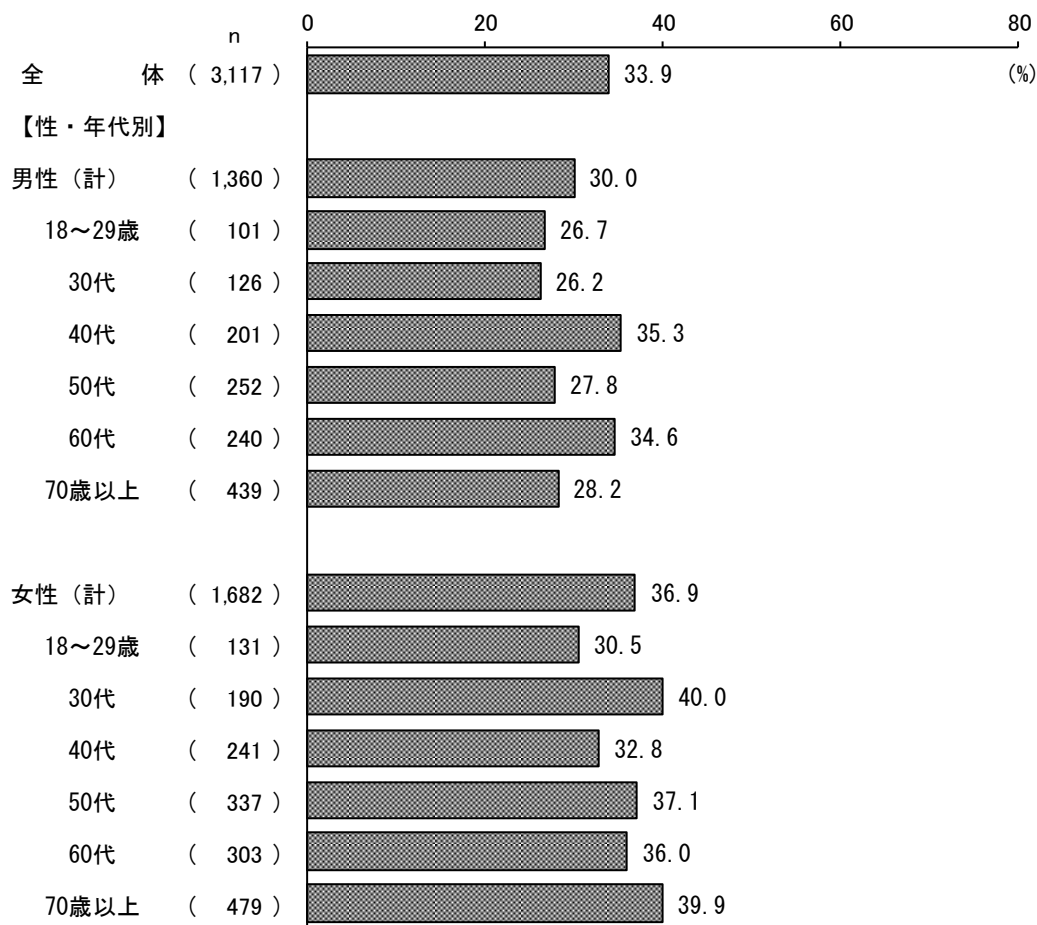


(5-1) 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [性・年代別]

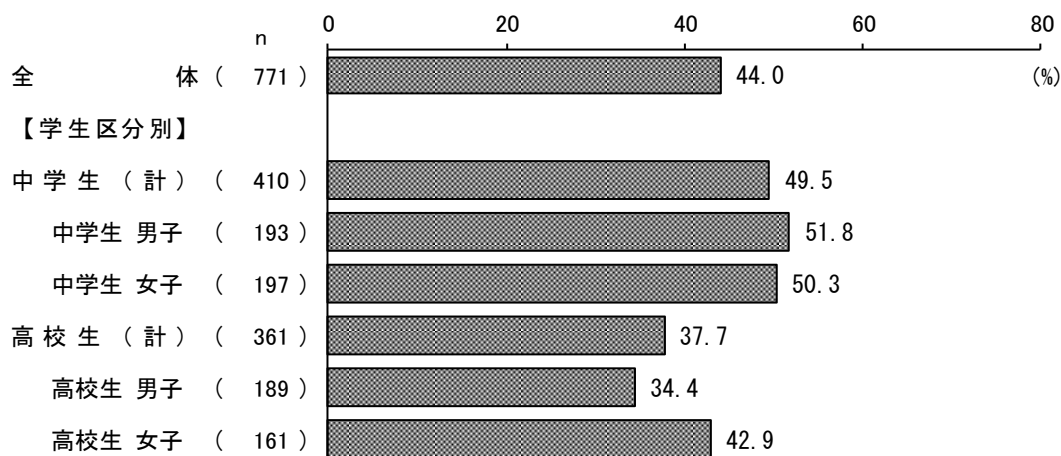
女性 30代が4割と高い

「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」について、性・年代別にみると、女性 30代 (40.0%) が4割と高くなっている。また、女性 70歳以上 (39.9%) も4割近くと高い。

図2-11 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

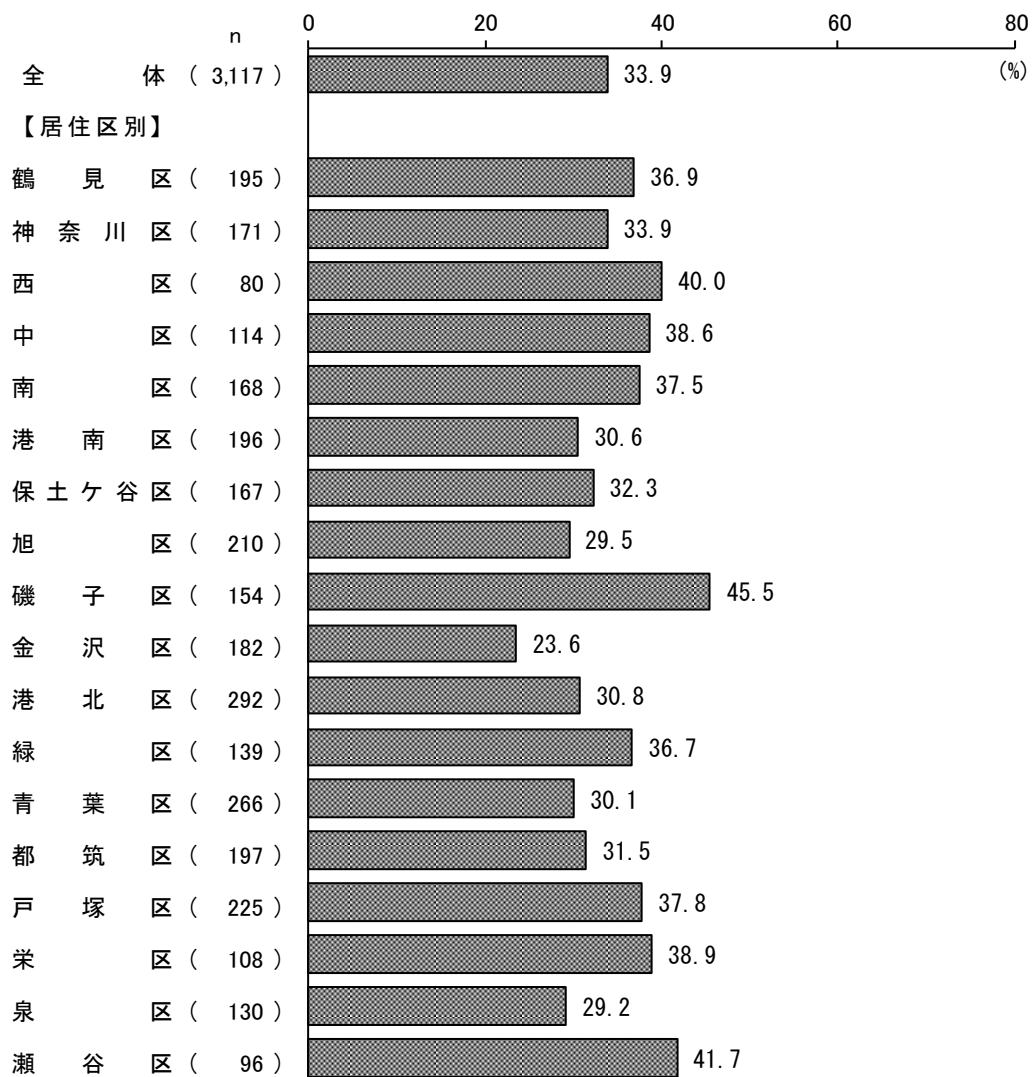


(5-2) 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [居住区別]

磯子区が4割半ばと最も高い

「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」について、居住区別にみると、磯子区（45.5%）が4割半ばと最も高くなっている。一方、金沢区（23.6%）は2割半ばと低い。

図2-12 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [居住区別]（複数回答）

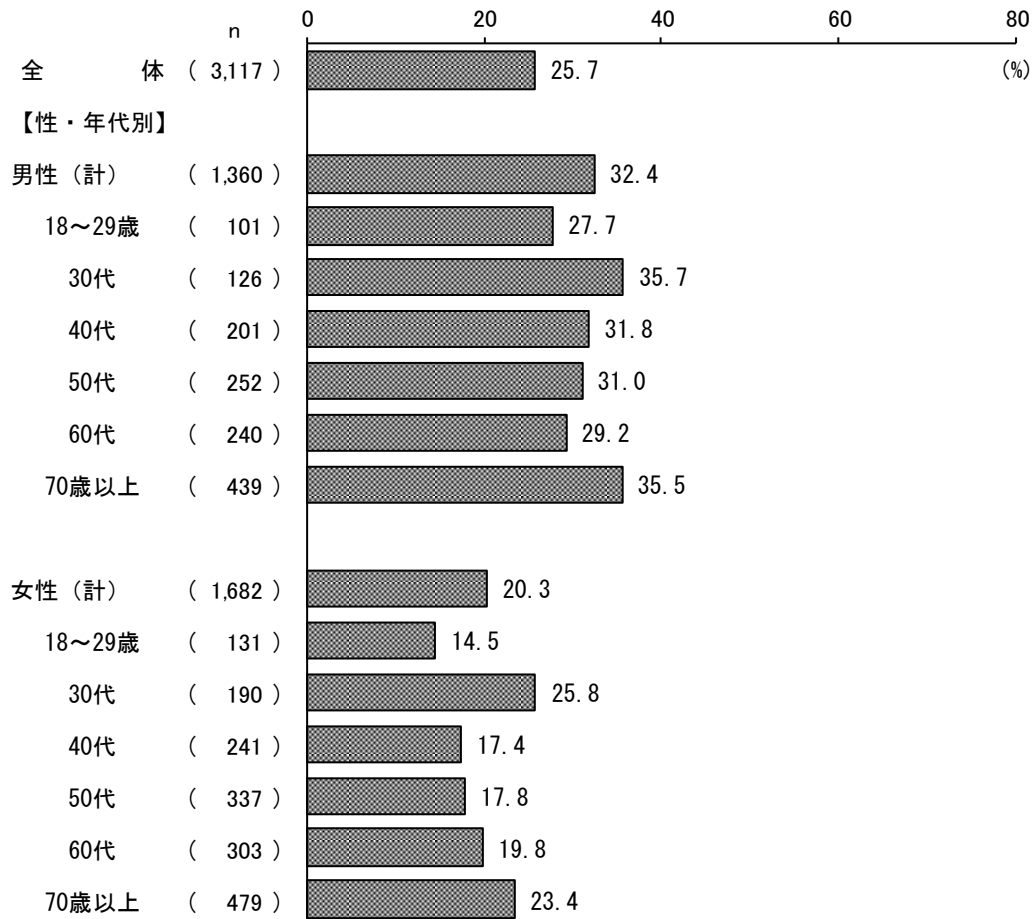


(6-1) 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 [性・年代別]

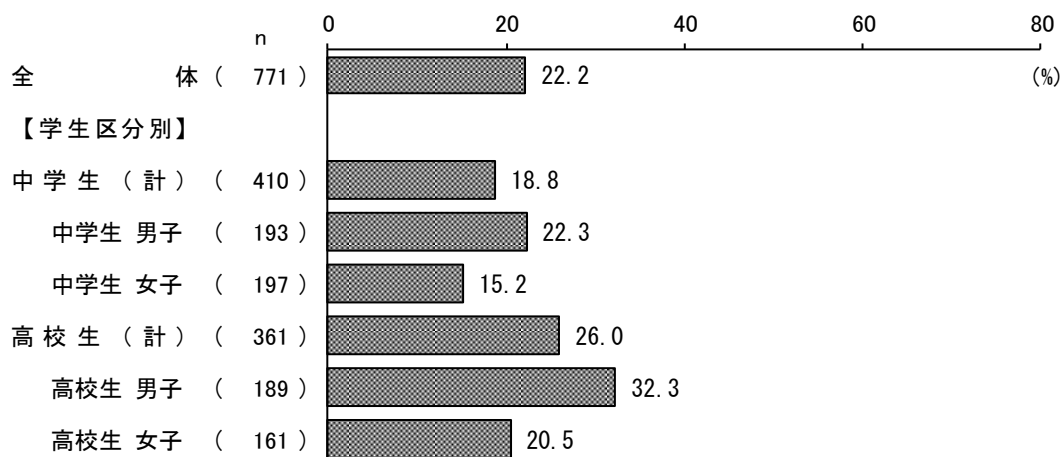
男性 30代、男性 70歳以上が3割半ばと高い

「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」について、性・年代別にみると、男性 30代 (35.7%)、男性 70歳以上 (35.5%) が3割半ばと高くなっている。

図2-13 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

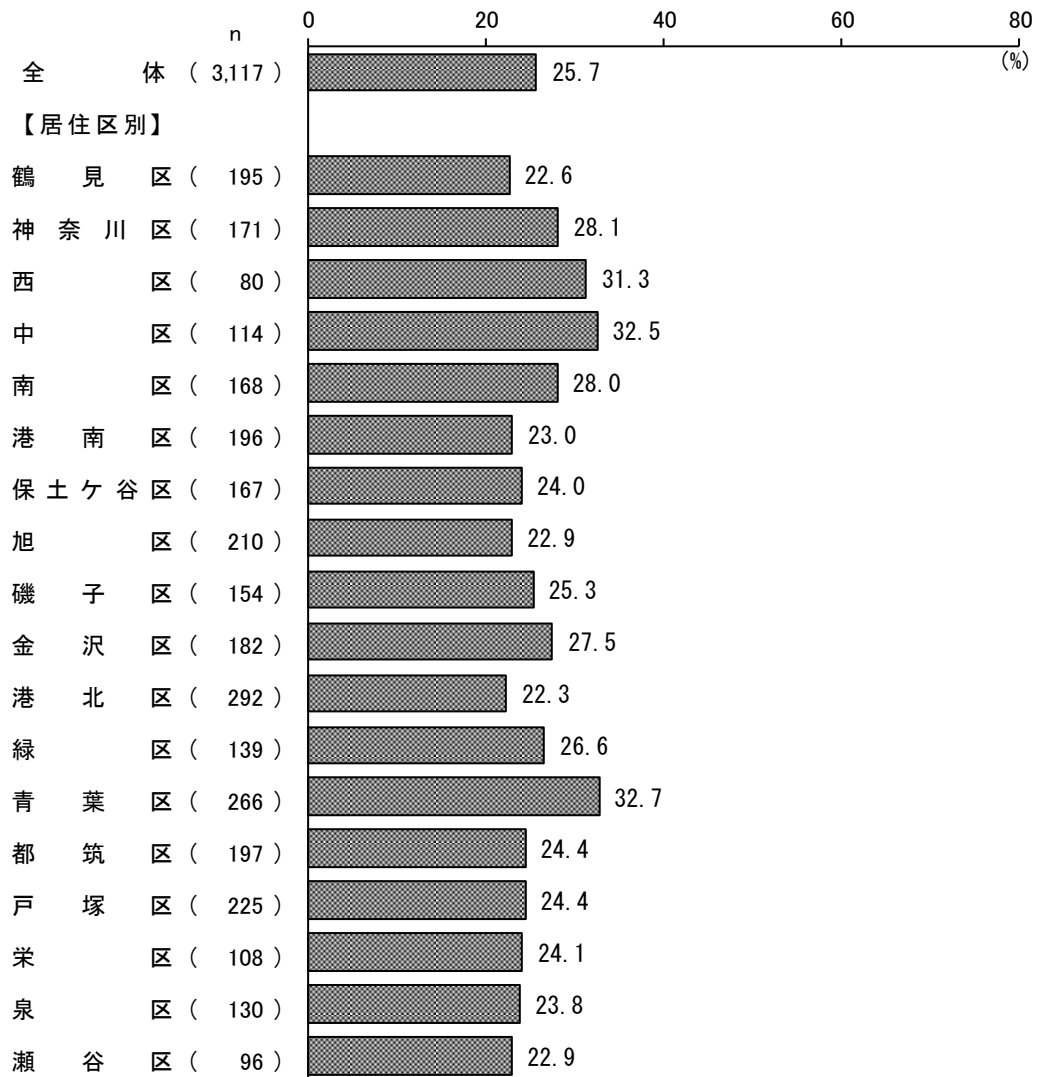


(6-2) 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市〔居住区別〕

青葉区、中区、西区が3割を超えて高い

「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」について、居住区別にみると、青葉区（32.7%）、中区（32.5%）、西区（31.3%）が3割を超えて高くなっている。

図2-14 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市〔居住区別〕（複数回答）

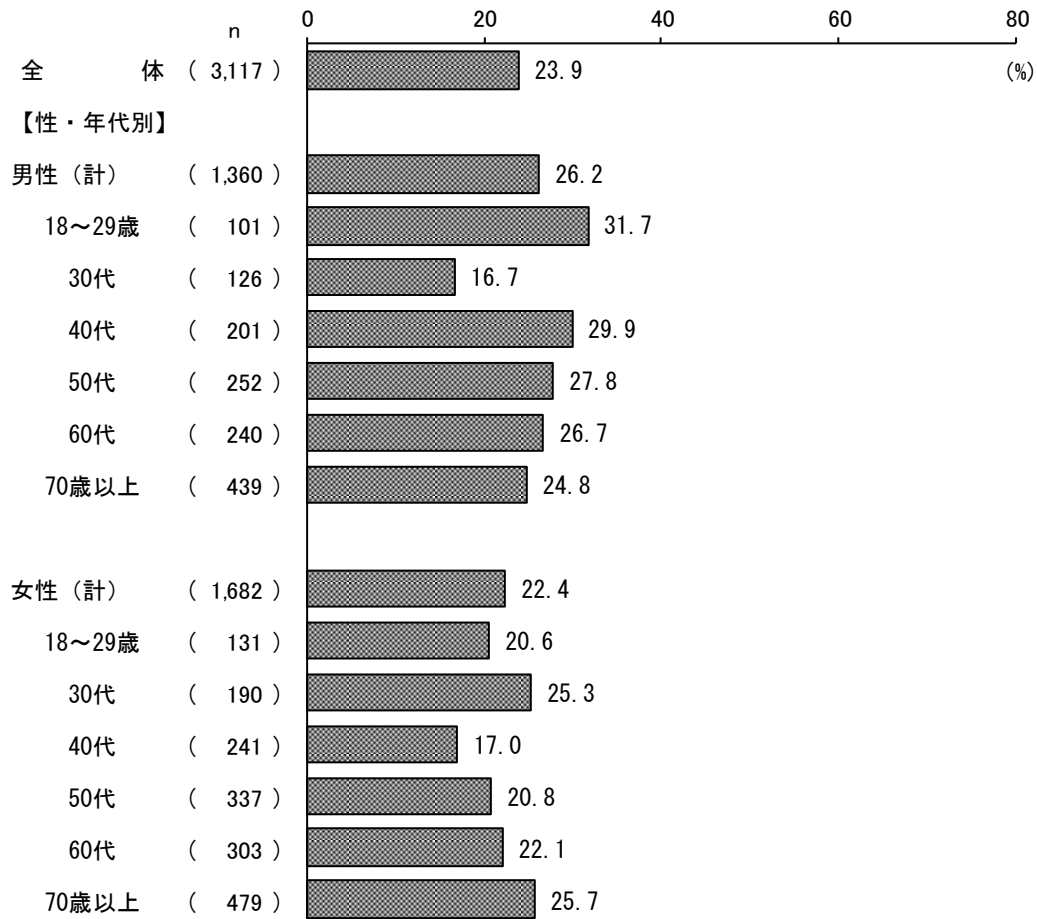


(7-1) たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 [性・年代別]

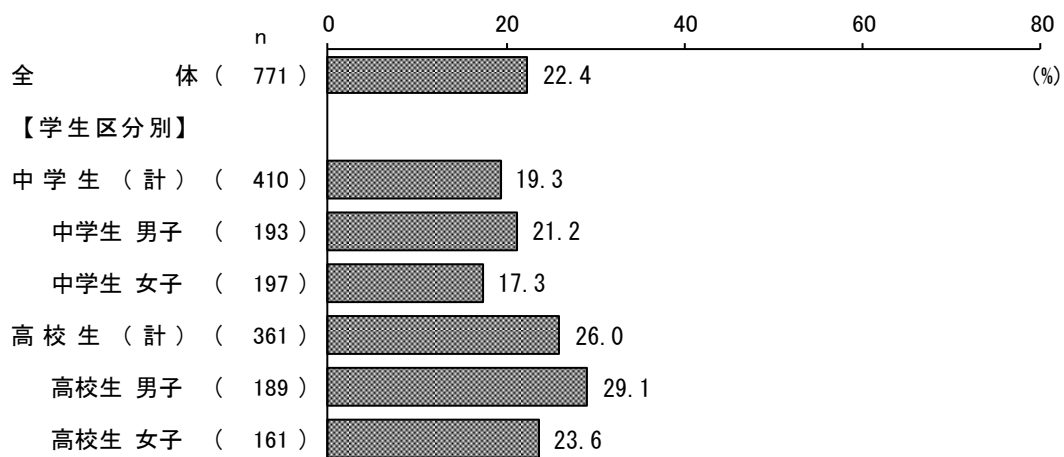
男性 18～29 歳が 3 割を超えて最も高い

「たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市」について、性・年代別にみると、男性 18～29 歳 (31.7%) が 3 割を超えて最も高くなっている。一方、男性 30 代 (16.7%)、女性 40 代 (17.0%) が 1 割半ばと低い。

図 2-15 たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

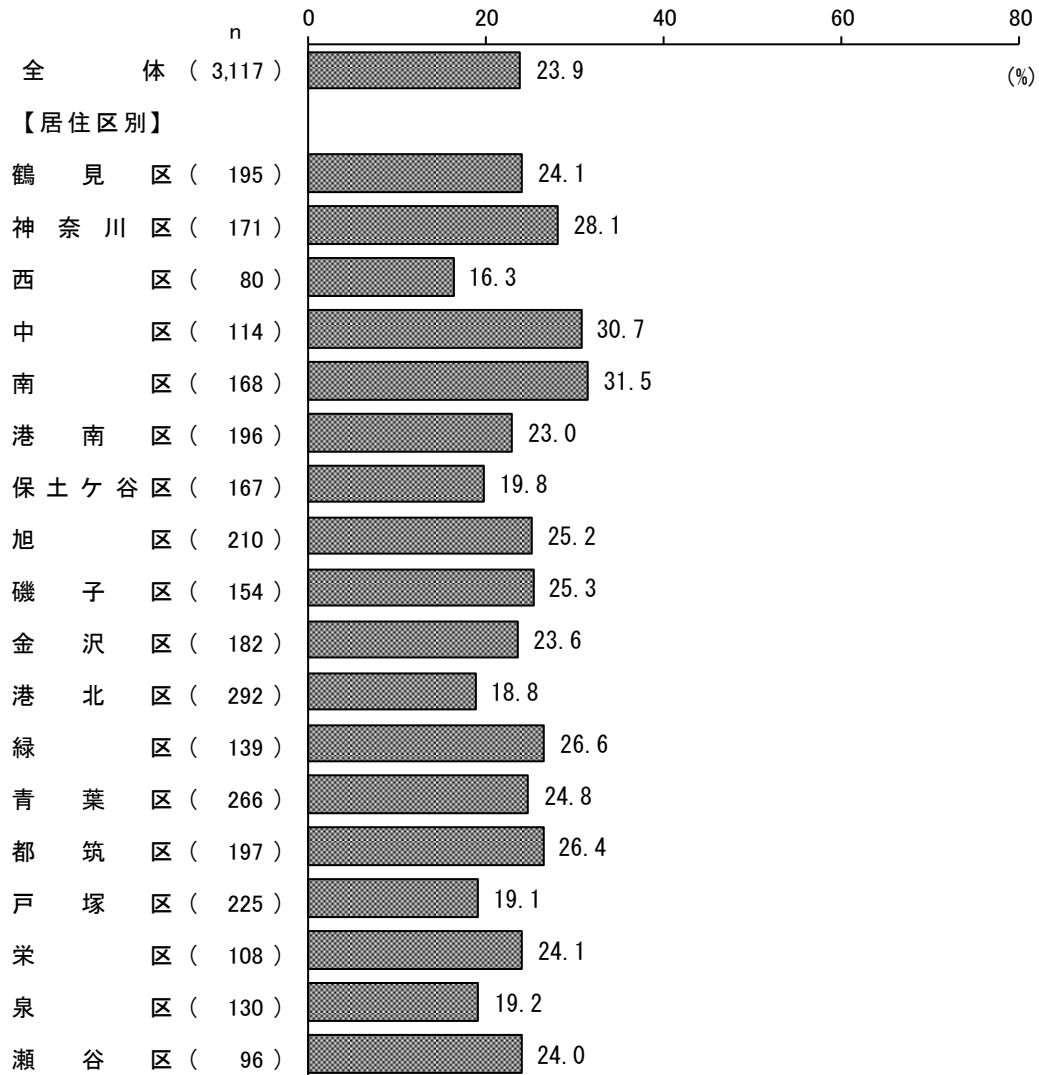


(7-2) たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 [居住区別]

南区、中区が3割を超えて高い

「たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市」について、居住区別にみると、南区 (31.5%)、中区 (30.7%) が3割を超えて高くなっている。

図2-16 たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 [居住区別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全体	(n=771)	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 51.5	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 50.7	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 44.0	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 35.7	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 30.1	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 22.4	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 22.2
中学生計	(n=410)	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 54.6	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 54.1	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 49.5	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 38.8	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 24.4	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 19.3	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 18.8
中学生男子	(n=193)	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 54.4	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 52.3	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 51.8	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 29.5	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 29.0	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 22.3	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 21.2
中学生女子	(n=197)	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 57.9	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 52.3	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 50.3	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 45.2	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 21.3	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 17.3	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 15.2
高校生計	(n=361)	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 47.9	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 46.8	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 37.7	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 36.6	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 32.1	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 26.0	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 26.0
高校生男子	(n=189)	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 45.0	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 44.4	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 40.2	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 34.4	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 32.3	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 29.6	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 29.1
高校生女子	(n=161)	多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 49.7	自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 49.1	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 42.9	様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなでも応援する都市 34.2	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 32.9	たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 23.6	新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 20.5

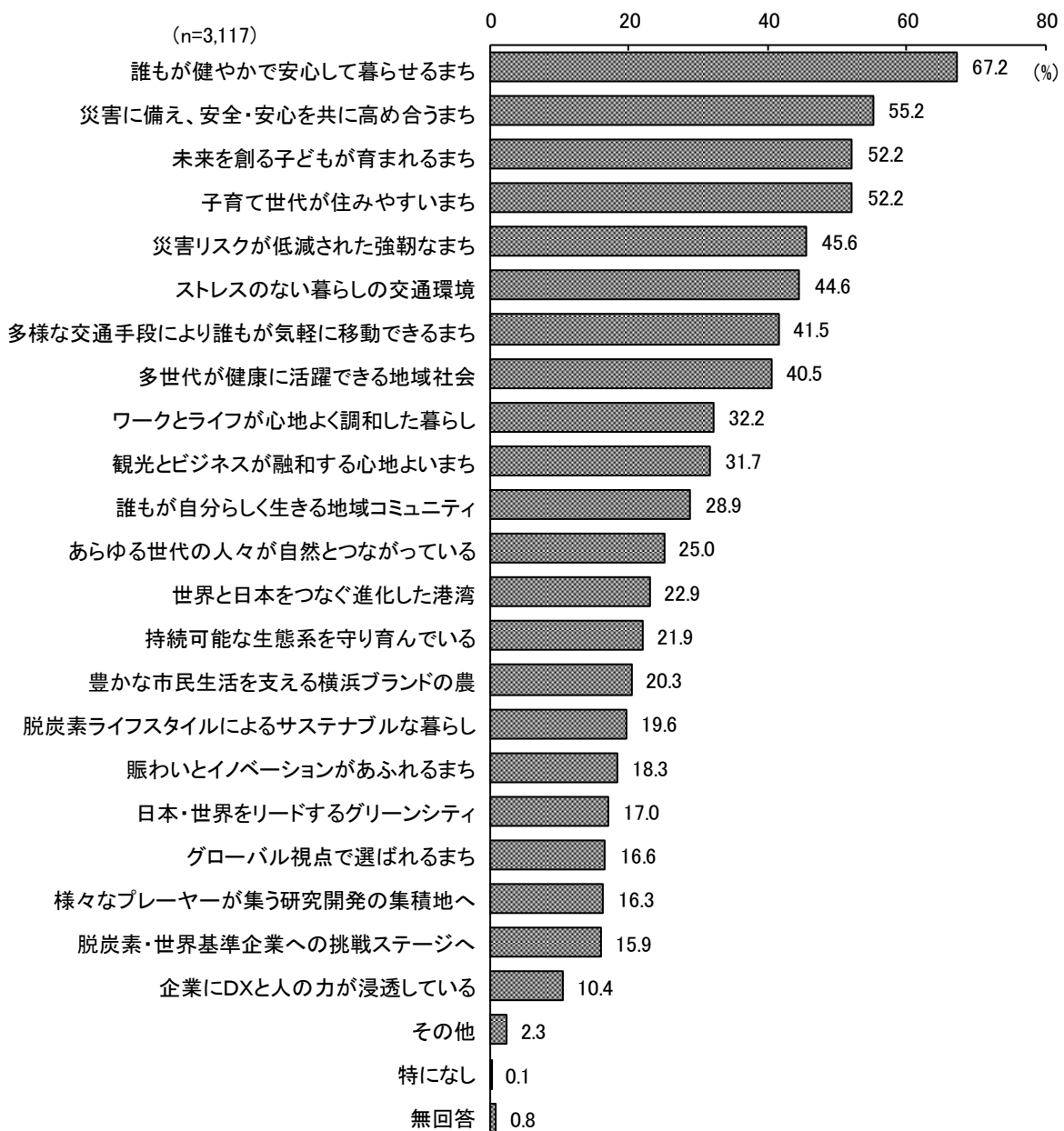
3. めざす未来の具体像について

問3 社会の変化や、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を統計データなどにより把握し、それが解決した姿のイメージを記載した「めざす未来の具体像」のうち、あなたが共感できるもの、望ましいと考えるものをお選びください。（〇はいくつでも）

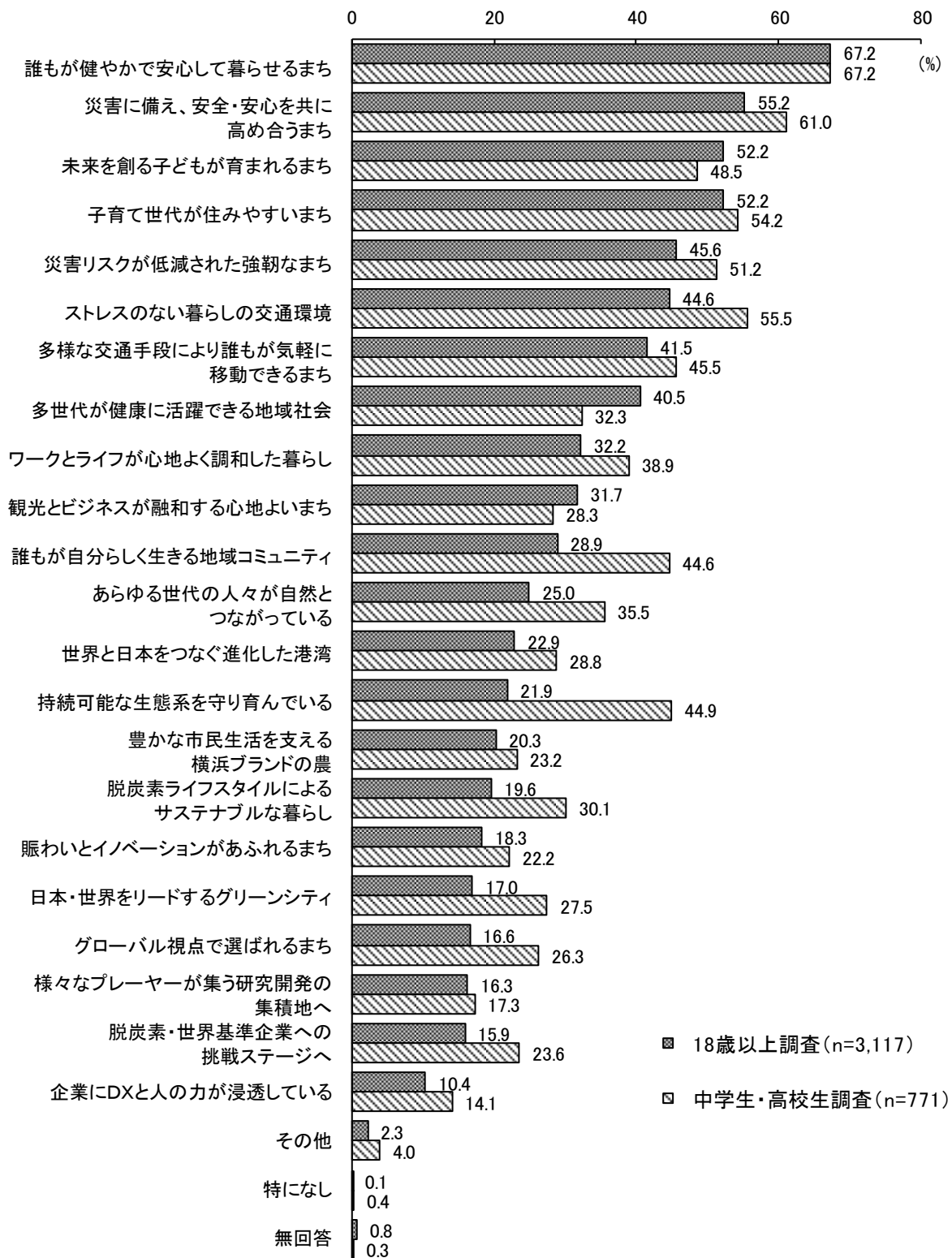
「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」が1位

「めざす未来の具体像」の中で共感できるもの、望ましいものについて聞いたところ、「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」（67.2%）が6割半ばと最も高く、次いで「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」（55.2%）、「未来を創る子どもが育まれるまち」、「子育て世代が住みやすいまち」（ともに52.2%）などの順となっている。

図3-1 めざす未来の具体像について [全体]（複数回答）



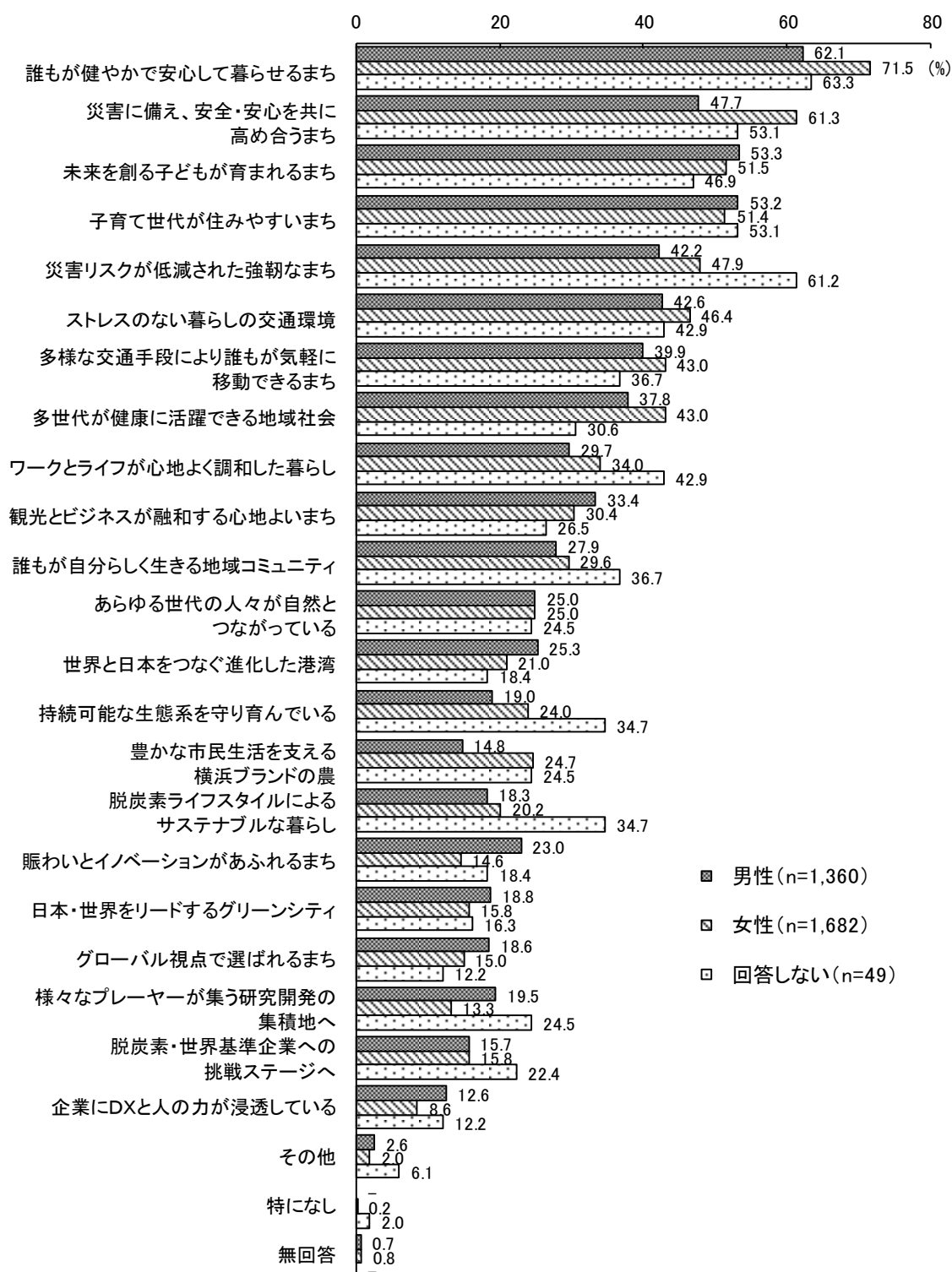
(参考) 中学生・高校生調査の結果との比較



「賑わいとイノベーションがあふれるまち」などは男性の方が高く、「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」などは女性の方が高い

男女別にみると、「賑わいとイノベーションがあふれるまち」、「様々なプレーヤーが集う研究開発の集積地へ」などは男性の方が高く、「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」、「豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農」、「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」などは女性の方が高くなっている。

図3-2 めざす未来の具体像について〔男女別〕（複数回答）



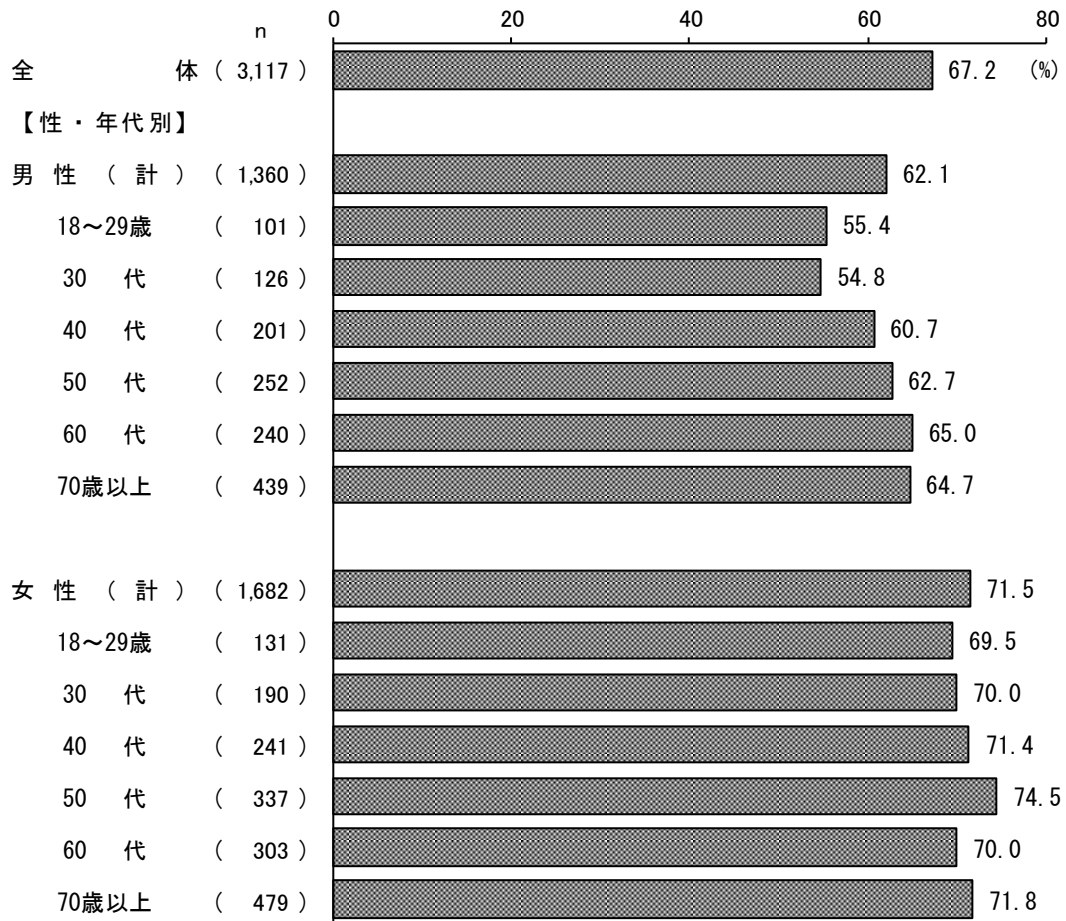
当設問の回答上位5項目について、次ページ以降に性・年代別、居住区別の結果を掲載する。

(1-1) 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [性・年代別]

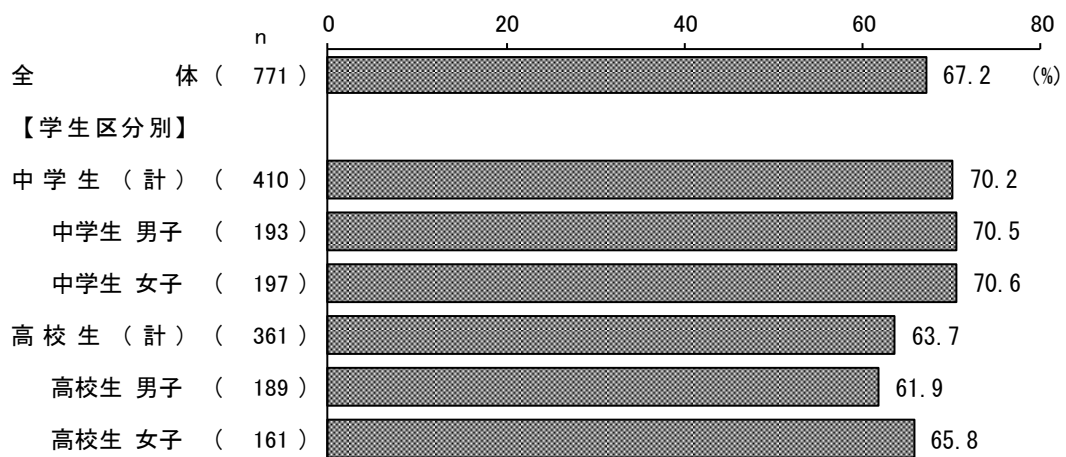
女性 50代が7割半ばと最も高い

「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」について、性・年代別にみると、女性 50代 (74.5%) が7割半ばと最も高くなっている。一方、男性 30代 (54.8%)、男性 18~29歳 (55.4%) は5割半ばと低い。

図3-3 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

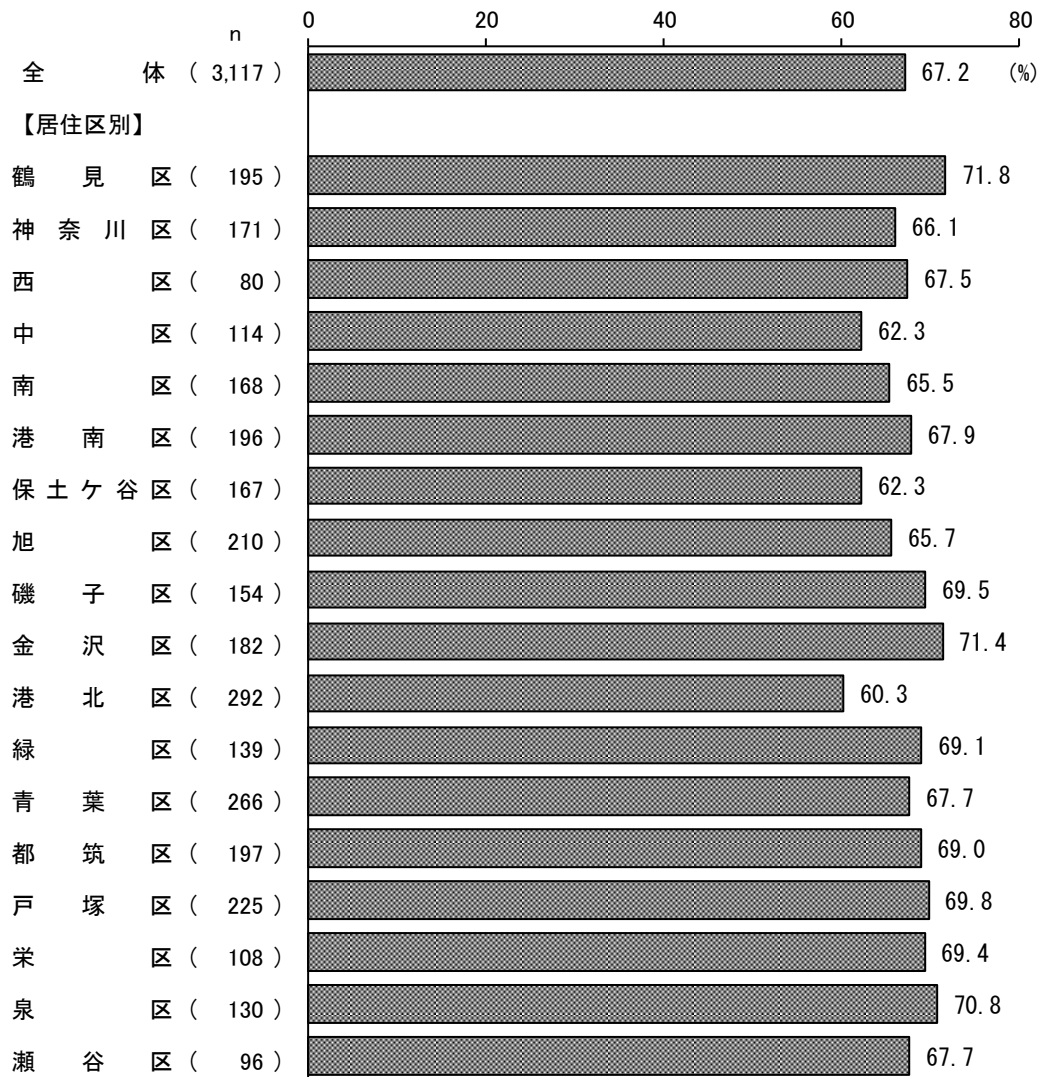


(1-2) 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [居住区別]

港北区が約6割と最も低い

「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」について、居住区別にみると、港北区（60.3%）が約6割と最も低くなっている。

図3-4 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [居住区別] (複数回答)

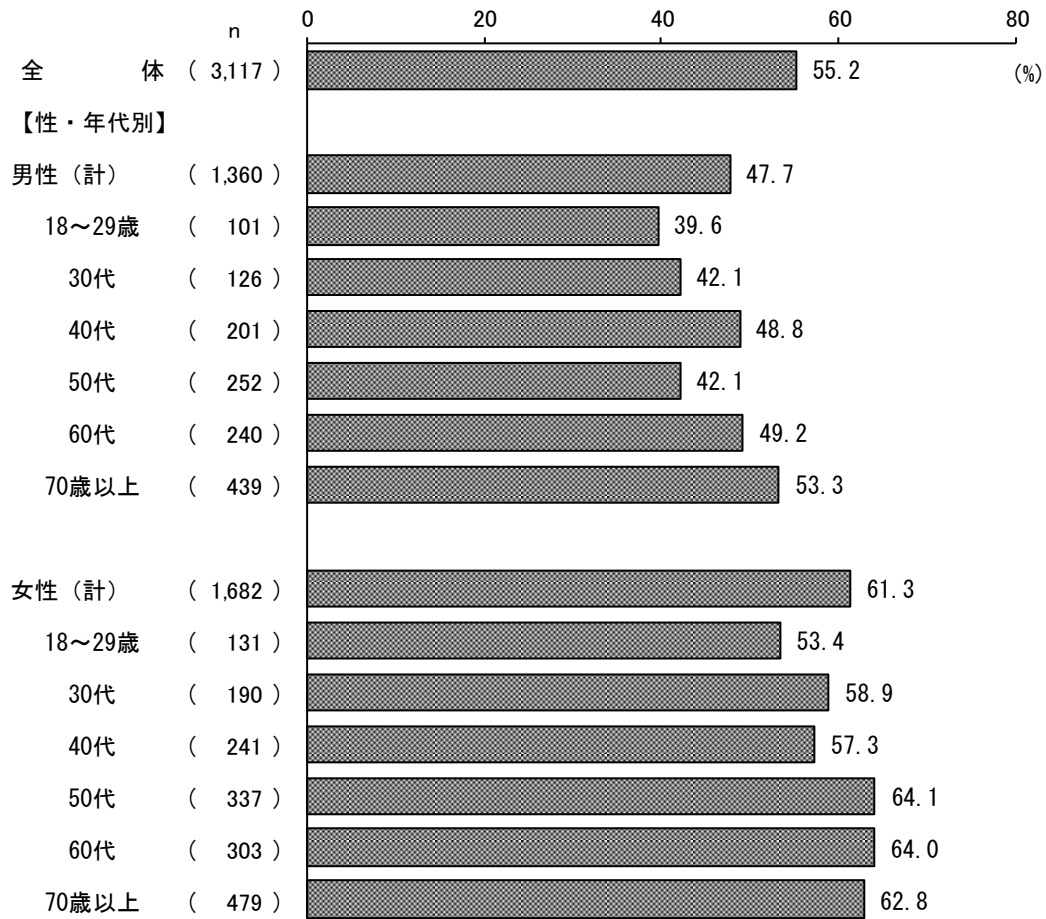


(2-1) 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [性・年代別]

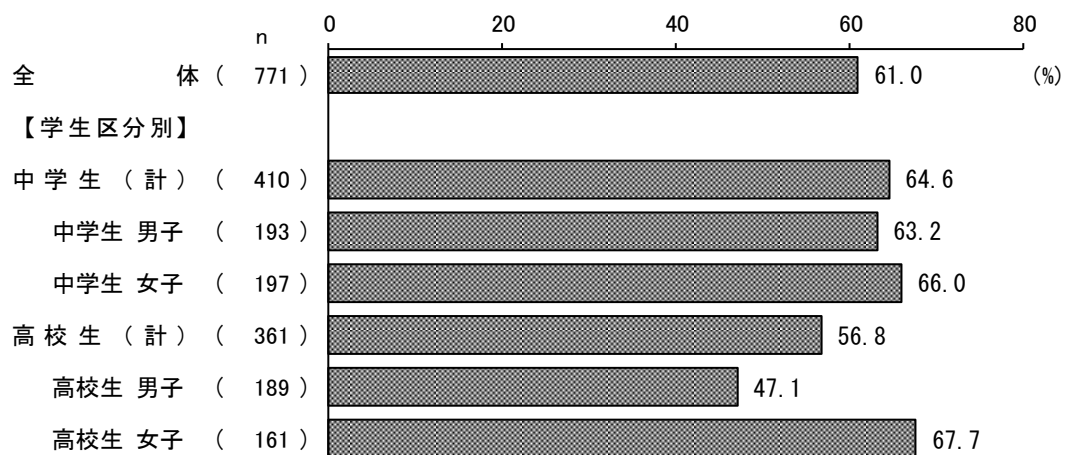
女性 50代、女性 60代が6割半ばと高い

「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」について、性・年代別にみると、女性 50代(64.1%)、女性 60代(64.0%)が6割半ばと高くなっている。一方、男性 18~29歳(39.6%)は約4割と低い。

図3-5 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

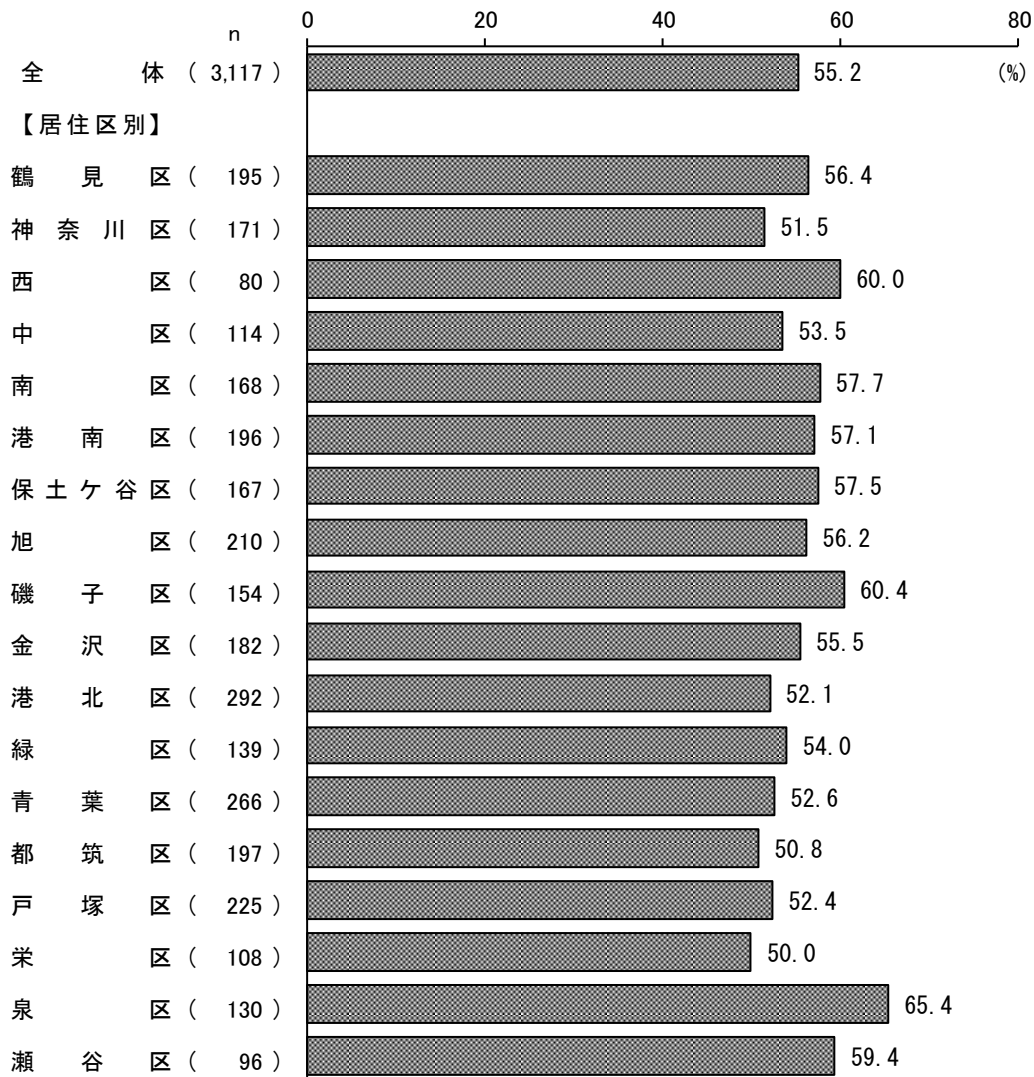


(2-2) 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [居住区別]

泉区が6割半ばと最も高い

「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」について、居住区別にみると、泉区（65.4%）が6割半ばと最も高くなっている。

図3-6 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [居住区別] (複数回答)

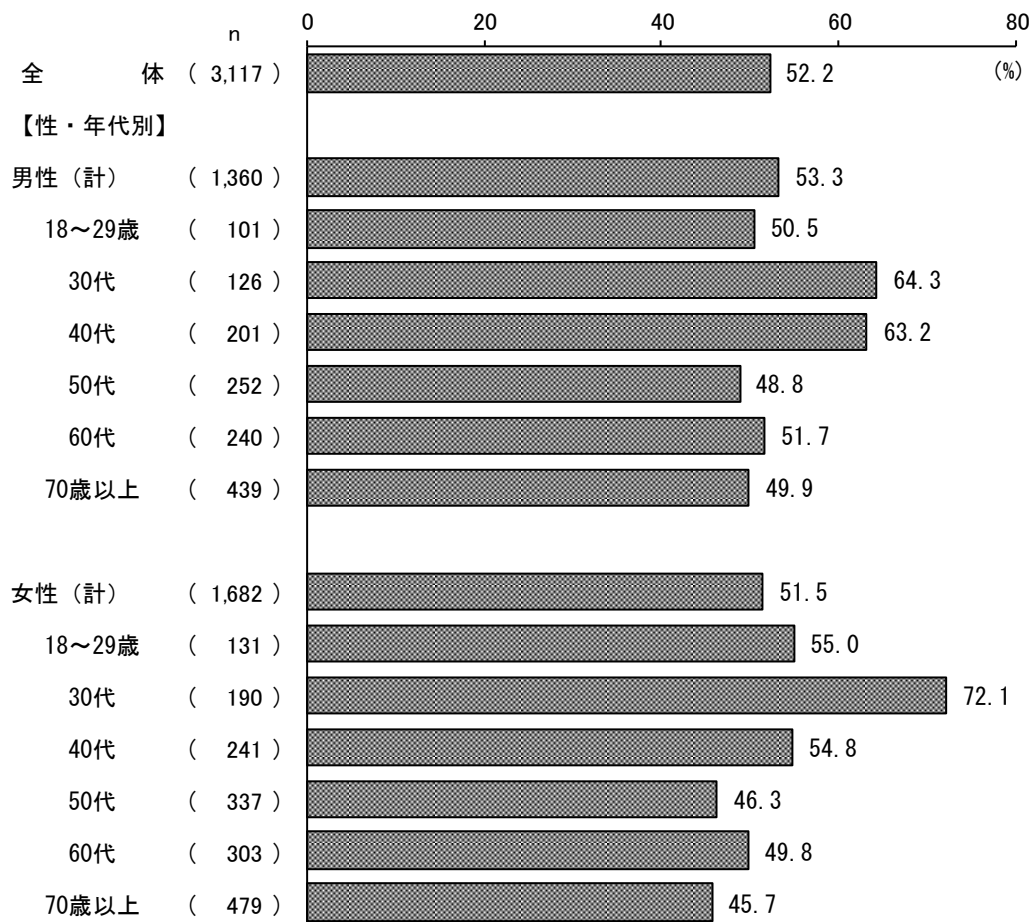


(3-1) 未来を創る子どもが育まれるまち [性・年代別]

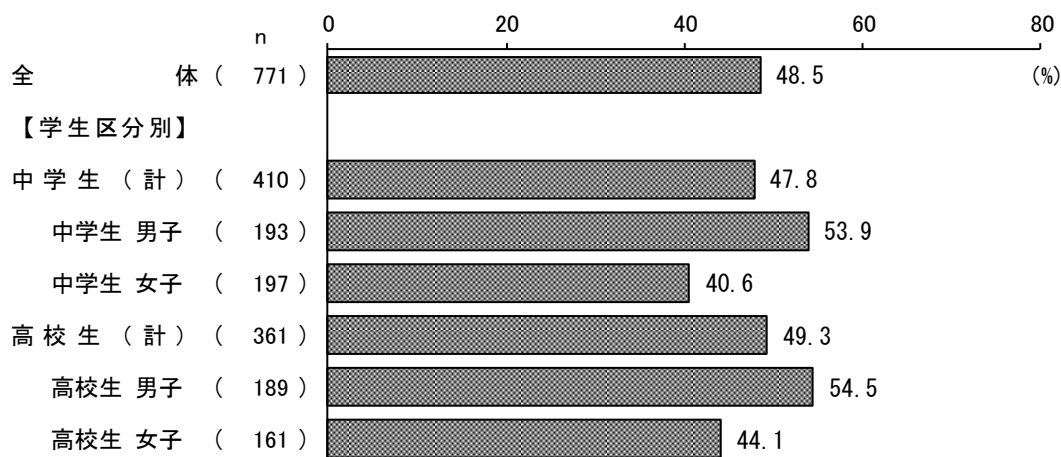
女性 30代が7割を超えて最も高い

「未来を創る子どもが育まれるまち」について、性・年代別にみると、女性 30代 (72.1%) が7割を超えて最も高くなっている。また、男性 30代 (64.3%)、男性 40代 (63.2%) も6割半ばと高い。

図3-7 未来を創る子どもが育まれるまち [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

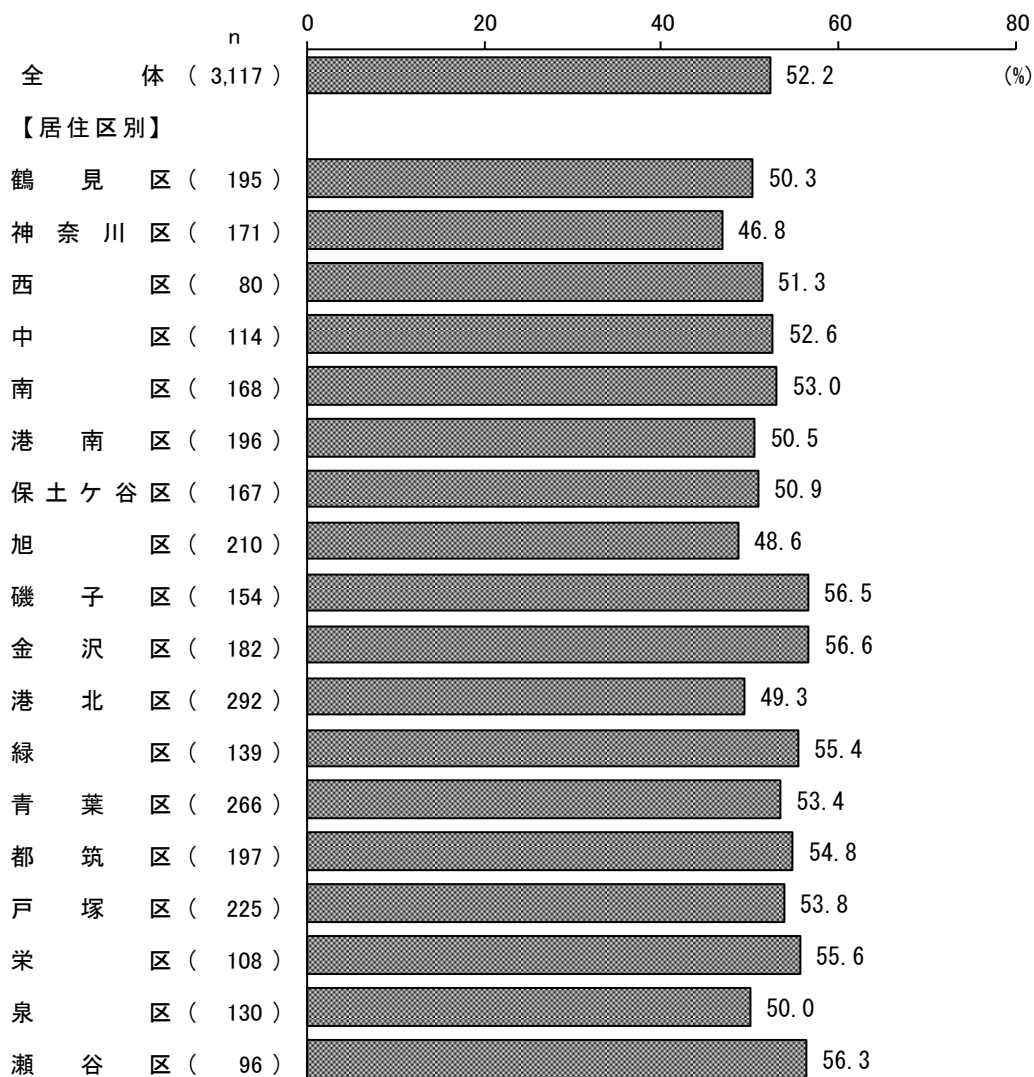


(3-2) 未来を創る子どもが育まれるまち [居住区別]

すべての区で4割半ばから5割半ば

「未来を創る子どもが育まれるまち」について、居住区別にみると、すべての区で4割半ばから5割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図3-8 未来を創る子どもが育まれるまち [居住区別] (複数回答)

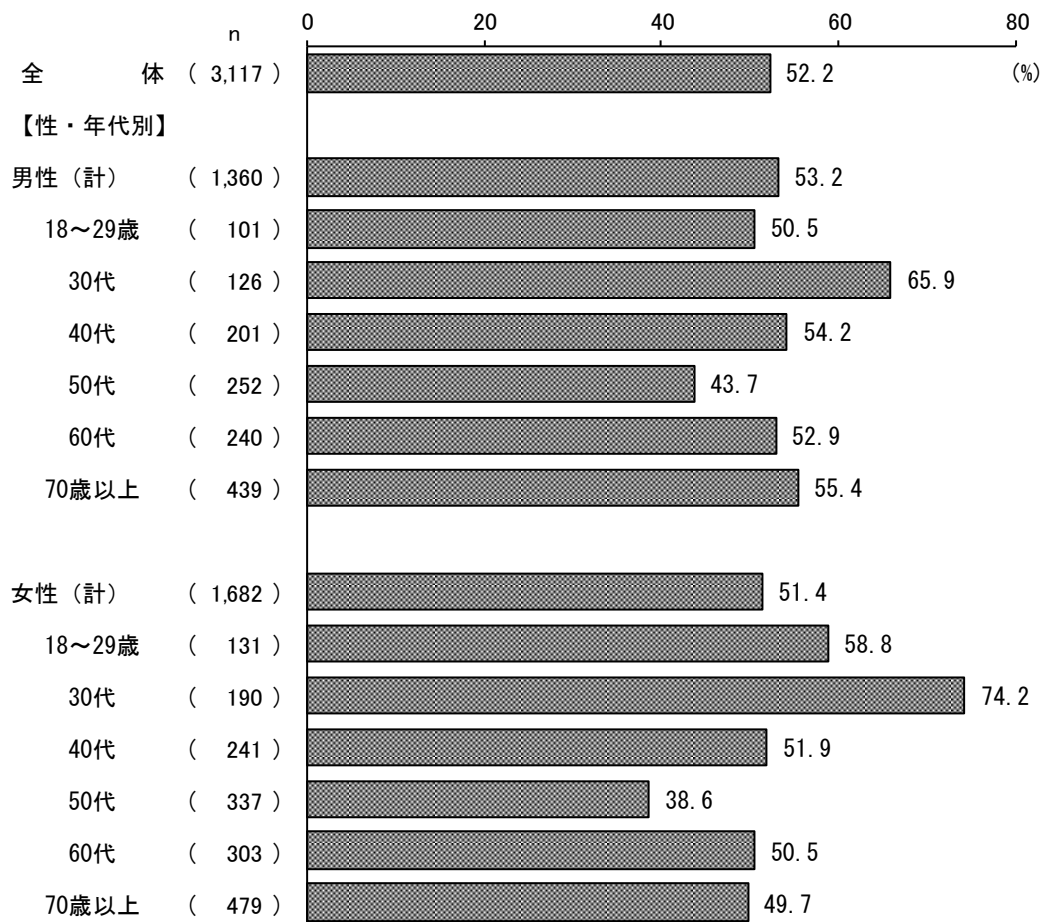


(4-1) 子育て世代が住みやすいまち [性・年代別]

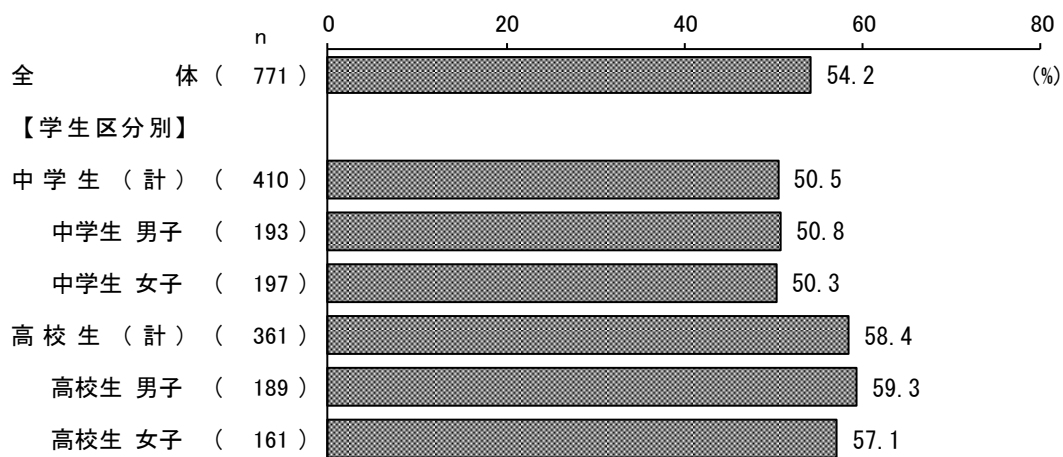
女性 30代が7割半ばと最も高い

「子育て世代が住みやすいまち」について、性・年代別にみると、女性 30代 (74.2%) が7割半ばと最も高くなっている。また、男性 30代 (65.9%) も6割半ばと高い。一方、女性 50代 (38.6%) は4割弱、男性 50代 (43.7%) は4割半ばと低くなっている。

図3-9 子育て世代が住みやすいまち [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

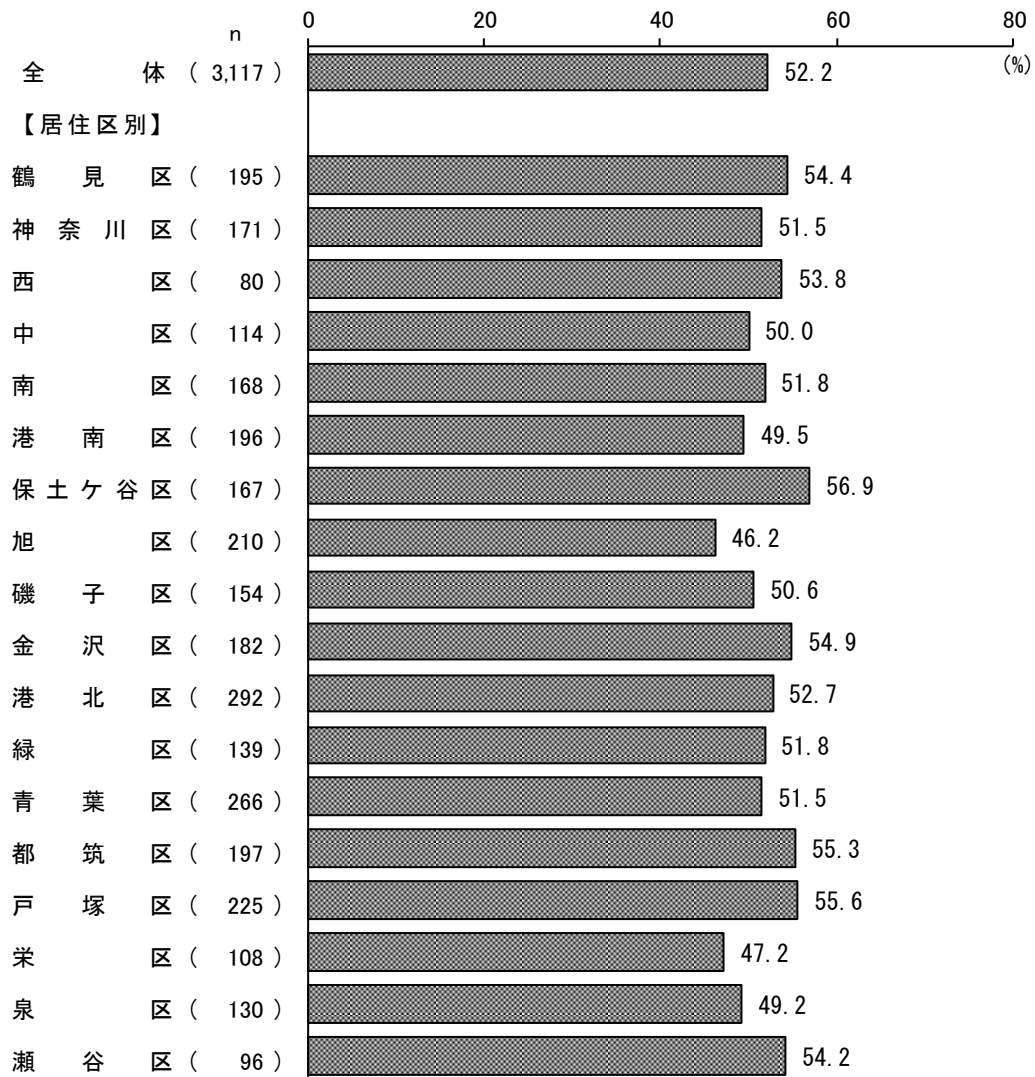


(4-2) 子育て世代が住みやすいまち [居住区別]

すべての区で4割半ばから5割半ば

「子育て世代が住みやすいまち」について、居住区別にみると、すべての区で4割半ばから5割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図3-10 子育て世代が住みやすいまち [居住区別] (複数回答)

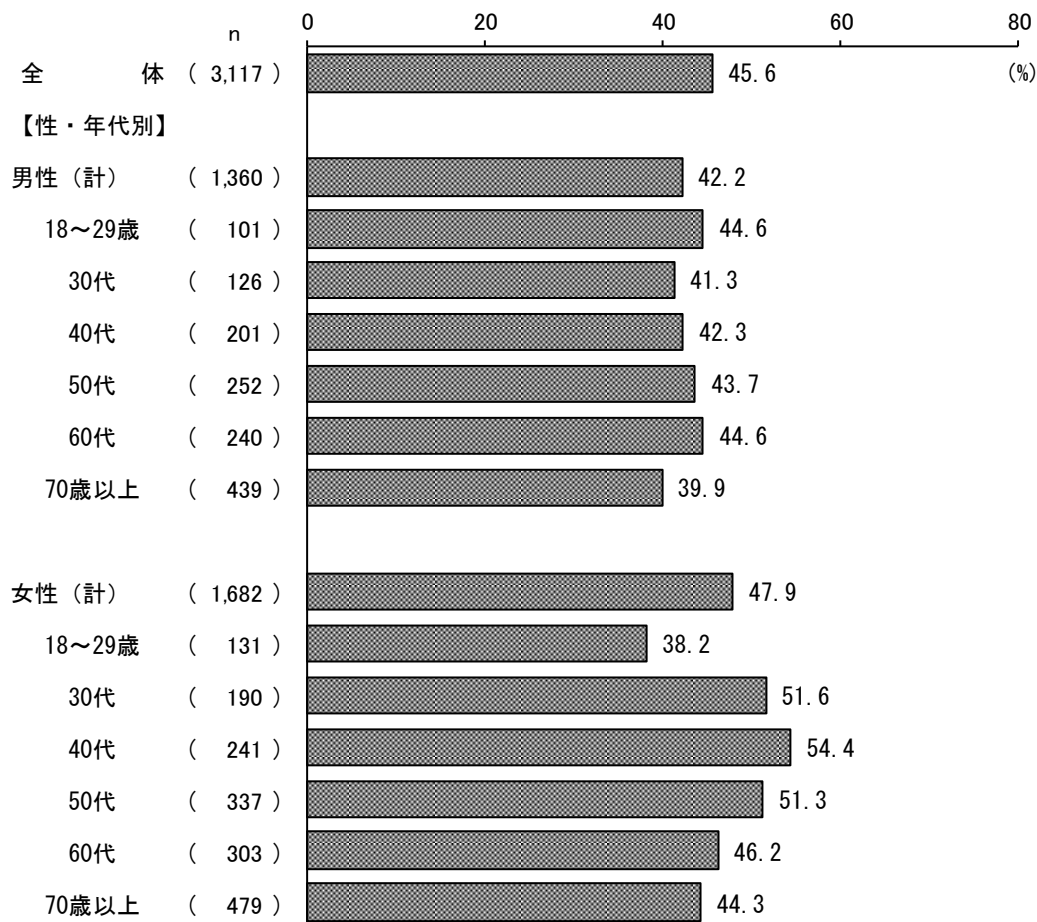


(5-1) 災害リスクが低減された強靱なまち [性・年代別]

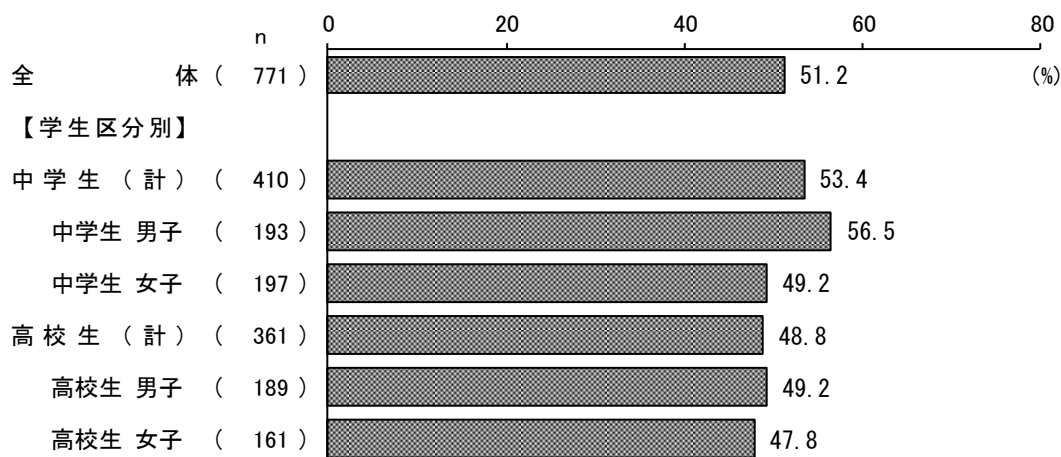
女性 40 代、女性 30 代、女性 50 代が 5 割台と高い

「災害リスクが低減された強靱なまち」について、性・年代別にみると、女性 40 代 (54.4%) 女性 30 代 (51.6%)、女性 50 代 (51.3%) が 5 割台と高くなっている。

図 3-11 災害リスクが低減された強靱なまち [性・年代別] (複数回答)



(参考) 中学生・高校生調査の結果

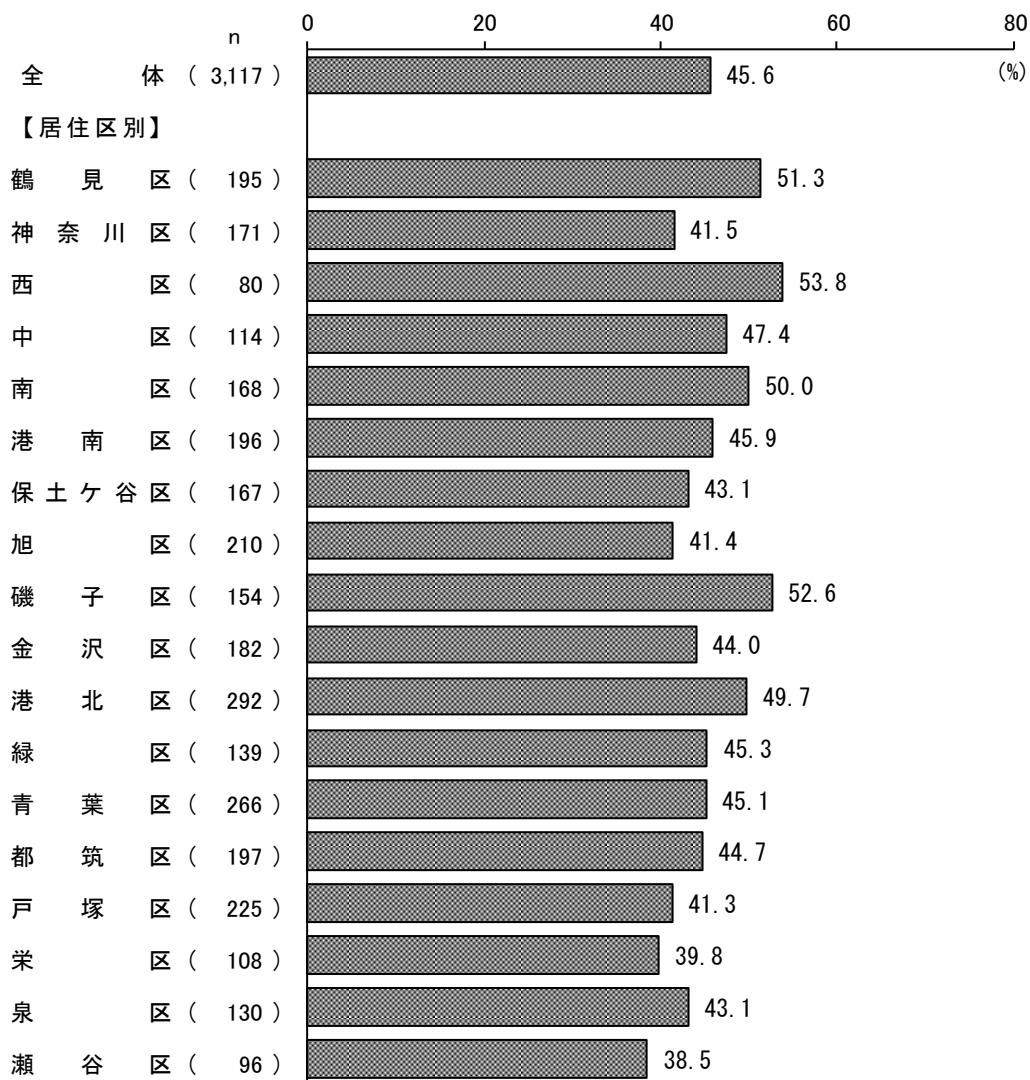


(5-2) 災害リスクが低減された強靱なまち [居住区別]

西区、磯子区、鶴見区、南区が5割台と高い

「災害リスクが低減された強靱なまち」について、居住区別にみると、西区（53.8%）、磯子区（52.6%）、鶴見区（51.3%）、南区（50.0%）が5割台と高くなっている。

図3-12 災害リスクが低減された強靱なまち [居住区別] (複数回答)



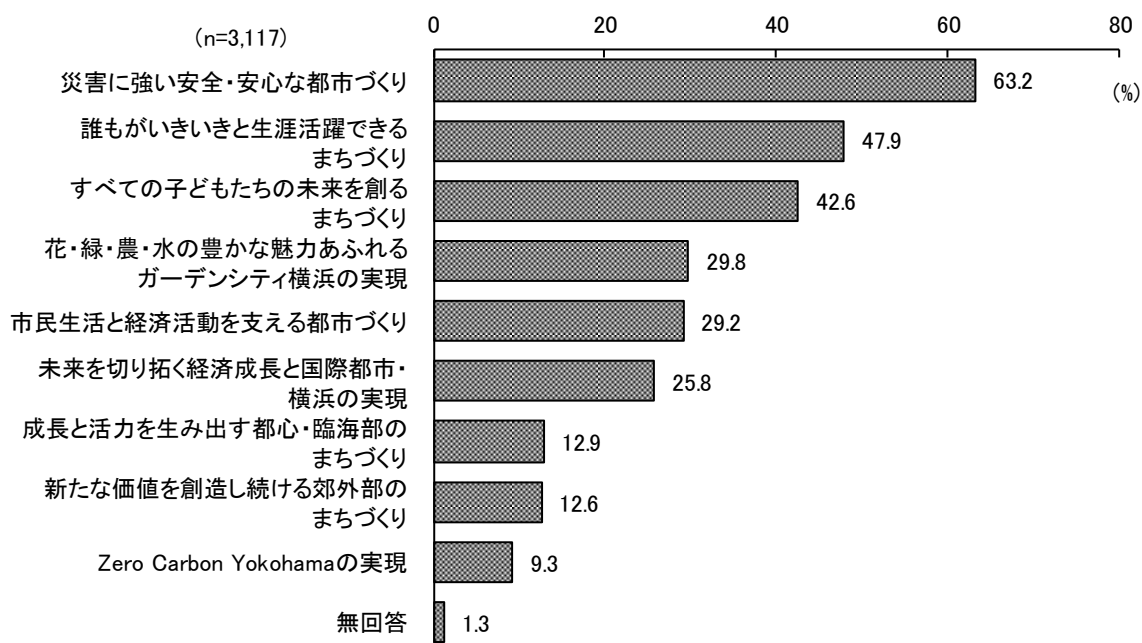
4. 戦略について

問4 「共にめざす都市像」の実現に向け、10年程度の取組の方向性を「9つの戦略」として示しています。あなたが特に注力していくべきと考える戦略はどれですか。（〇は3つまで）

「災害に強い安全・安心な都市づくり」が1位

「共にめざす都市像」の実現に向けて注力していくべき戦略について聞いたところ、「災害に強い安全・安心な都市づくり」（63.2%）が6割半ばと最も高く、次いで「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」（47.9%）、「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」（42.6%）などの順となっている。

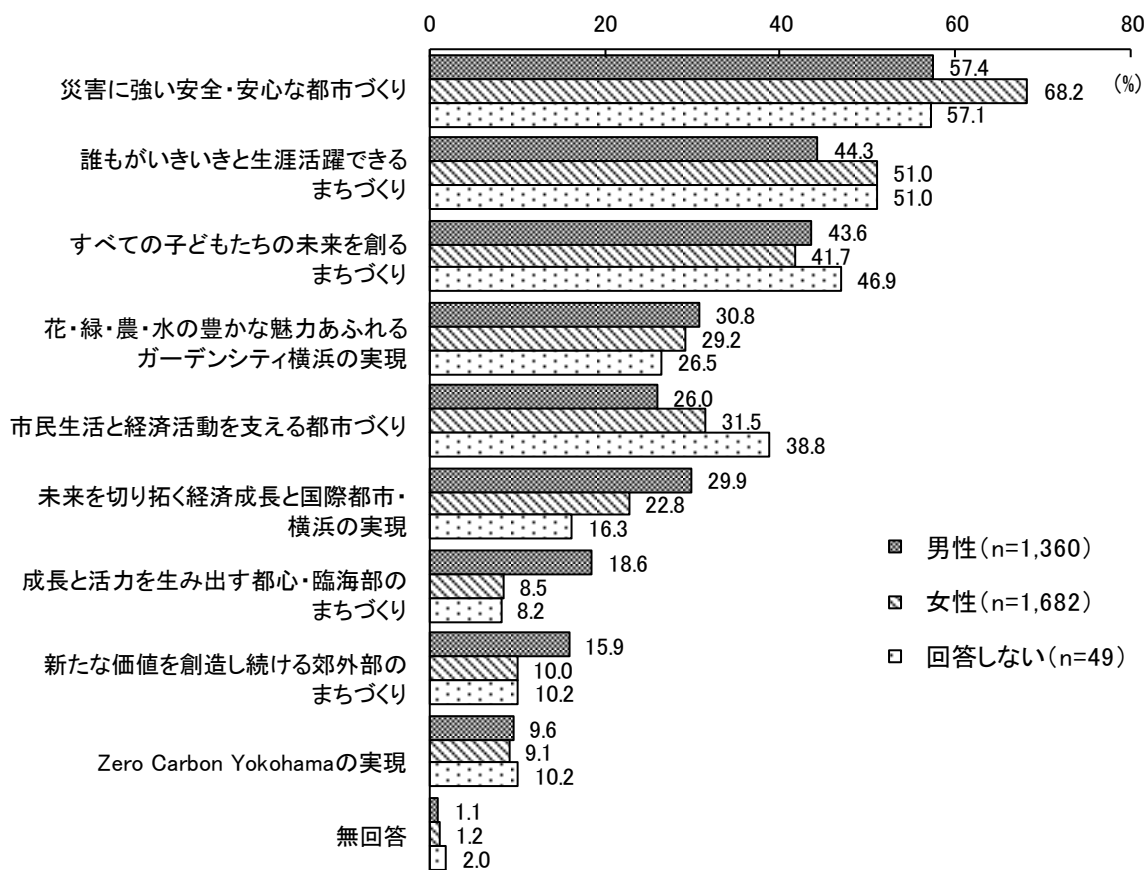
図4-1 戦略について [全体] (複数回答)



「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」などは男性の方が高く、「災害に強い安全・安心な都市づくり」などは女性の方が高い

男女別にみると、「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」、「未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現」、「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」などは男性の方が高く、「災害に強い安全・安心な都市づくり」、「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」、「市民生活と経済活動を支える都市づくり」などは女性の方が高くなっている。

図4-2 戦略について〔男女別〕（複数回答）



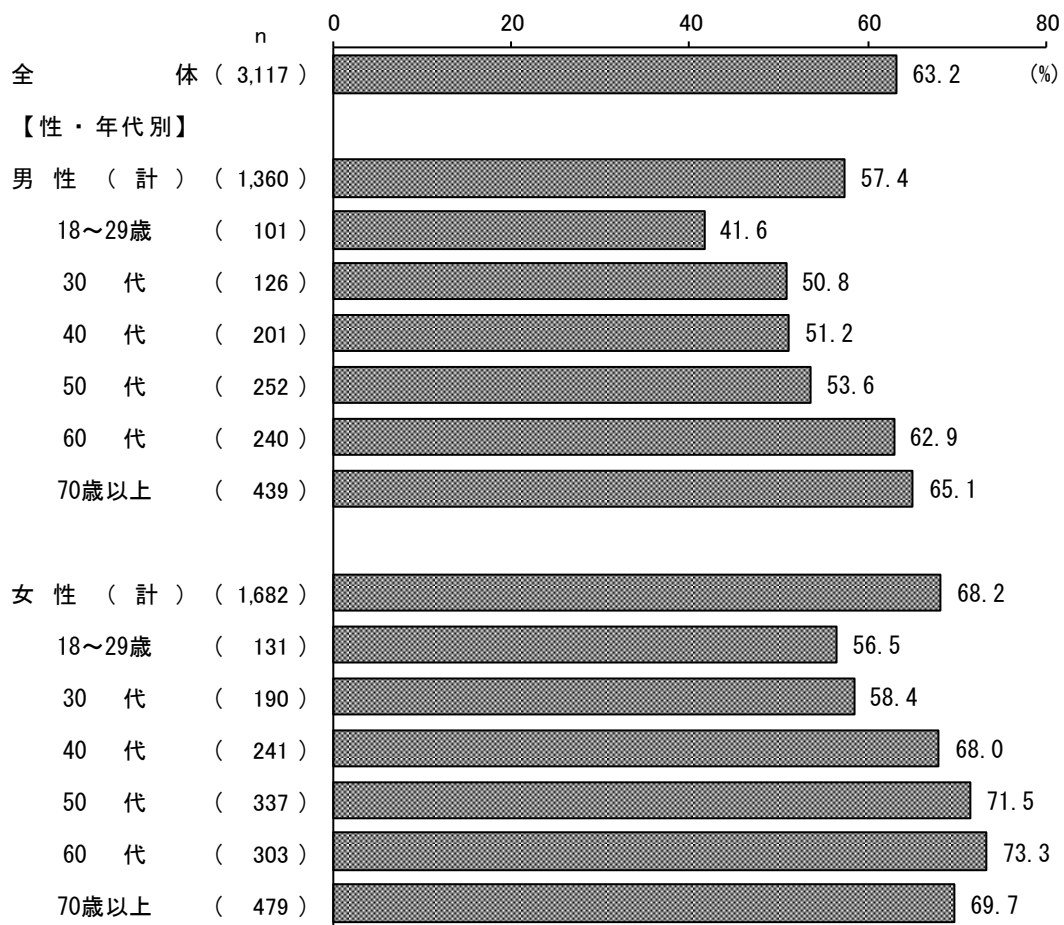
当設問の回答項目について、次ページ以降に性・年代別、居住区別の結果を掲載する。

(1-1) 災害に強い安全・安心な都市づくり [性・年代別]

男性は年代があがるほど割合が高い傾向

「災害に強い安全・安心な都市づくり」について、性・年代別にみると、男性 18～29 歳 (41.6%) は 4 割強と低いが、男性は年代があがるほど割合が高い傾向となっている。また、女性 60 代 (73.3%)、女性 50 代 (71.5%) が 7 割台と高い。

図 4-3 災害に強い安全・安心な都市づくり [性・年代別] (複数回答)

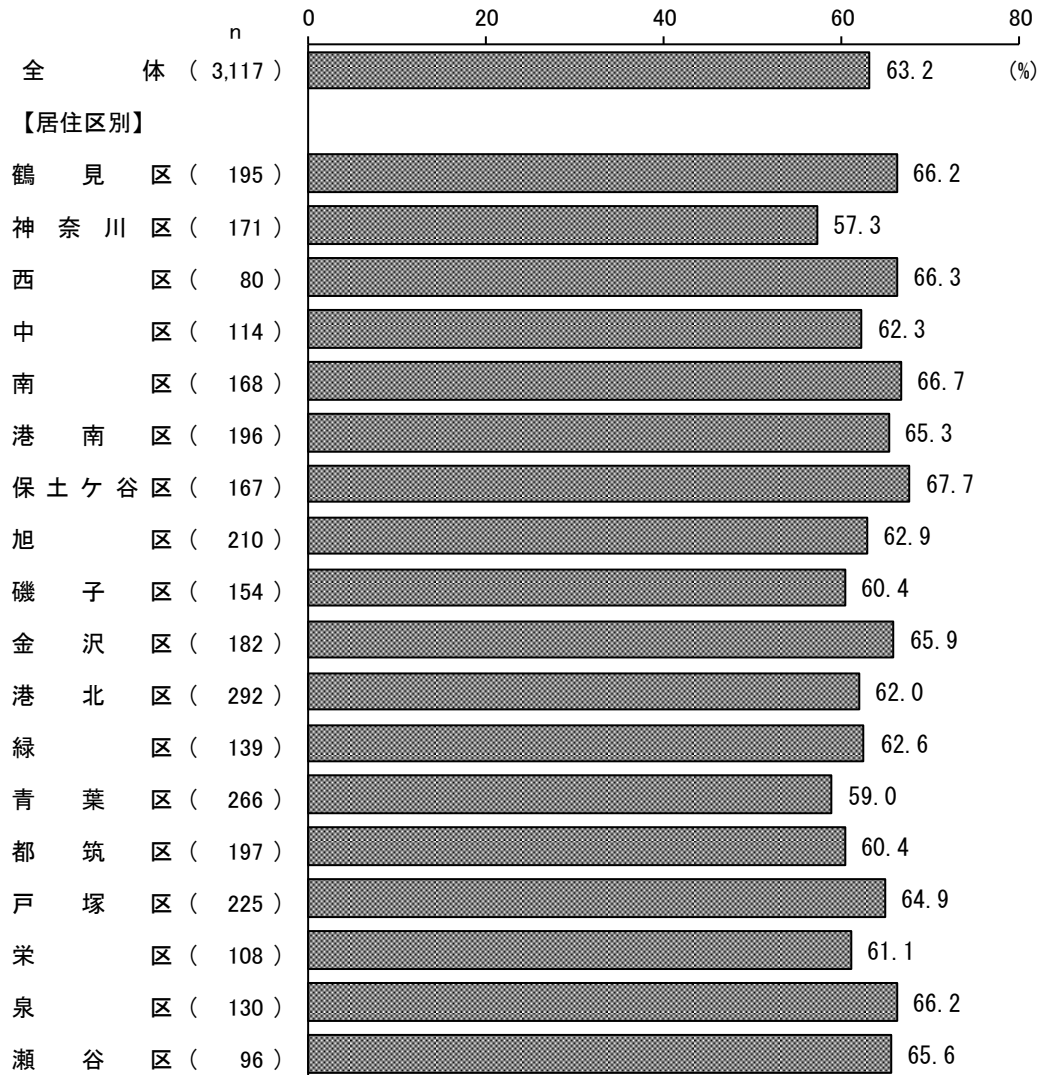


(1-2) 災害に強い安全・安心な都市づくり [居住区別]

すべての区で5割半ばから6割半ば

「災害に強い安全・安心な都市づくり」について、居住区別にみると、すべての区で5割半ばから6割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図4-4 災害に強い安全・安心な都市づくり [居住区別] (複数回答)

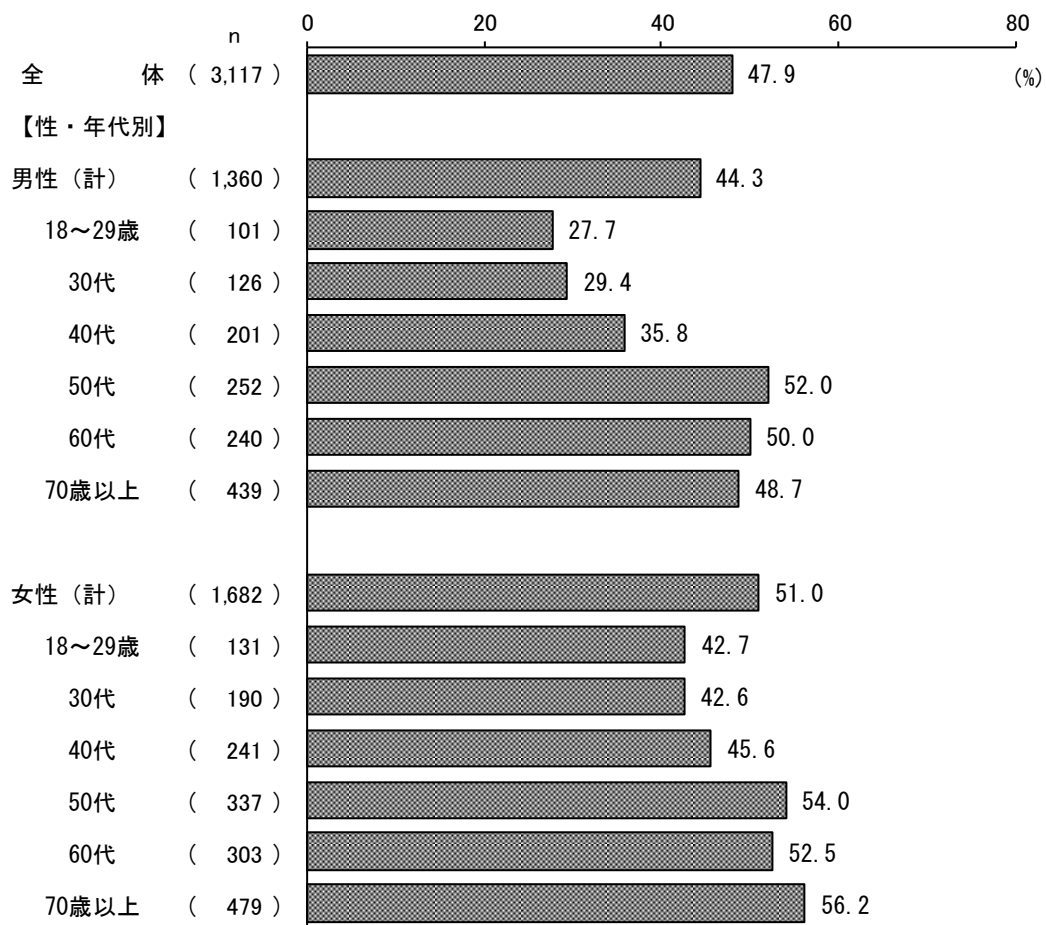


(2-1) 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり [性・年代別]

女性 70 歳以上、女性 50 代が 5 割半ばと高い

「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」について、性・年代別にみると、女性 70 歳以上 (56.2%)、女性 50 代 (54.0%) が 5 割半ばと高くなっている。一方、男性 18~29 歳 (27.7%)、男性 30 代 (29.4%) は 2 割台と低い。

図 4-5 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり [性・年代別] (複数回答)

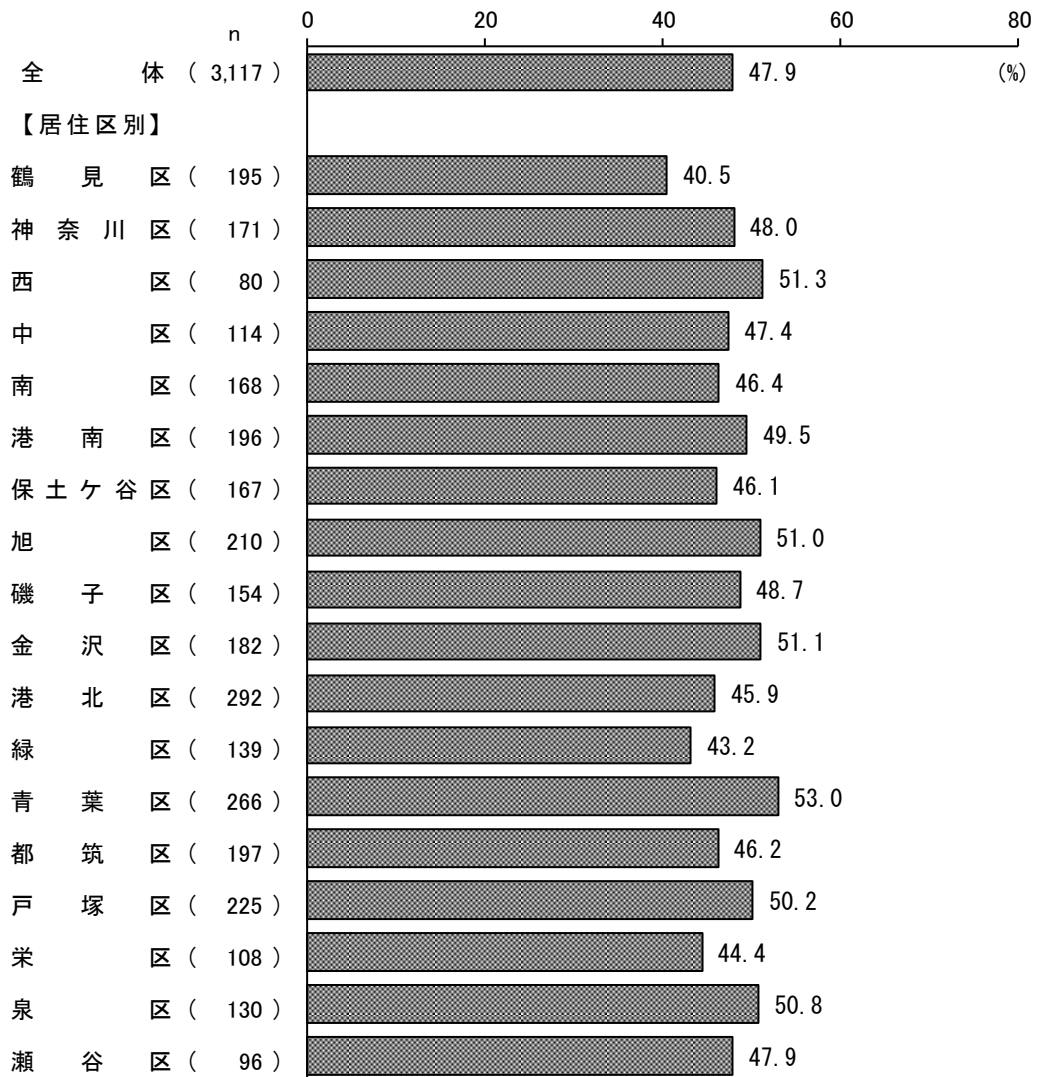


(2-2) 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり [居住区別]

鶴見区が約4割と最も低い

「誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり」について、居住区別にみると、鶴見区（40.5%）が約4割と最も低くなっている。

図4-6 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり [居住区別] (複数回答)

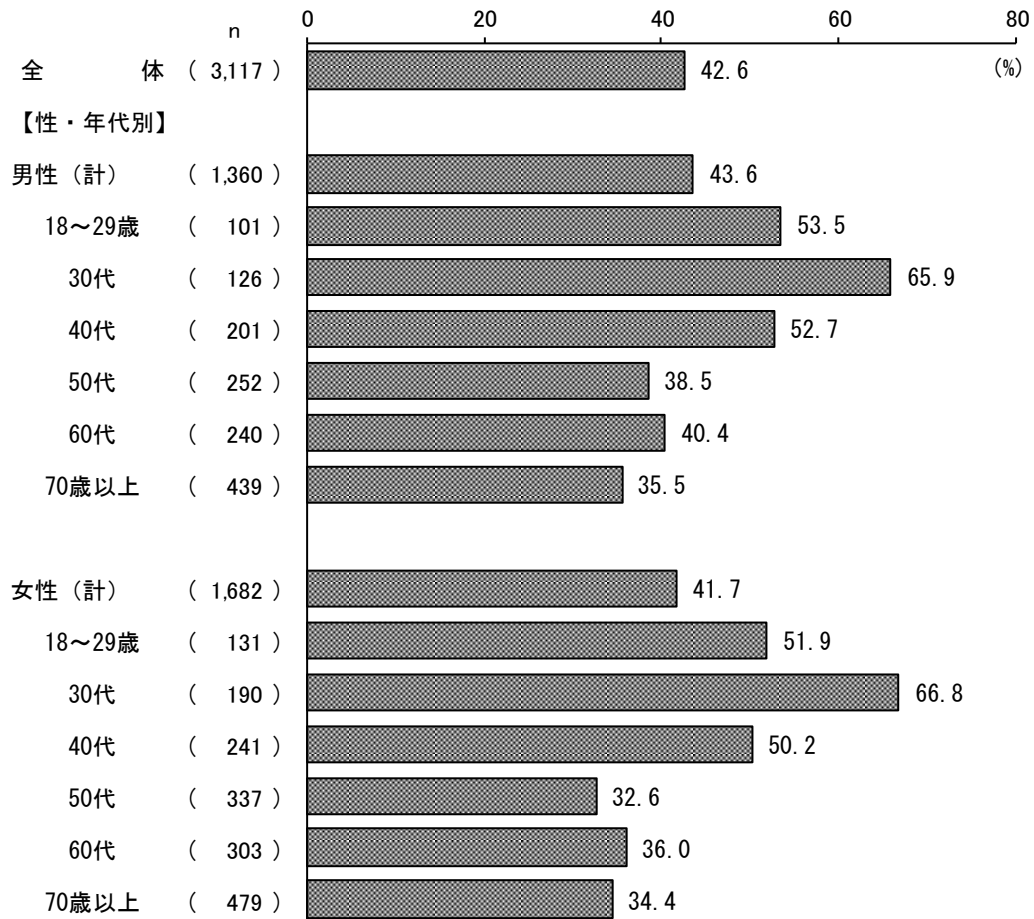


(3-1) すべての子どもたちの未来を創るまちづくり [性・年代別]

男女 30代が6割半ばと高い

「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」について、性・年代別にみると、女性 30代 (66.8%)、男性 30代 (65.9%) が6割半ばと高くなっている。

図4-7 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり [性・年代別] (複数回答)

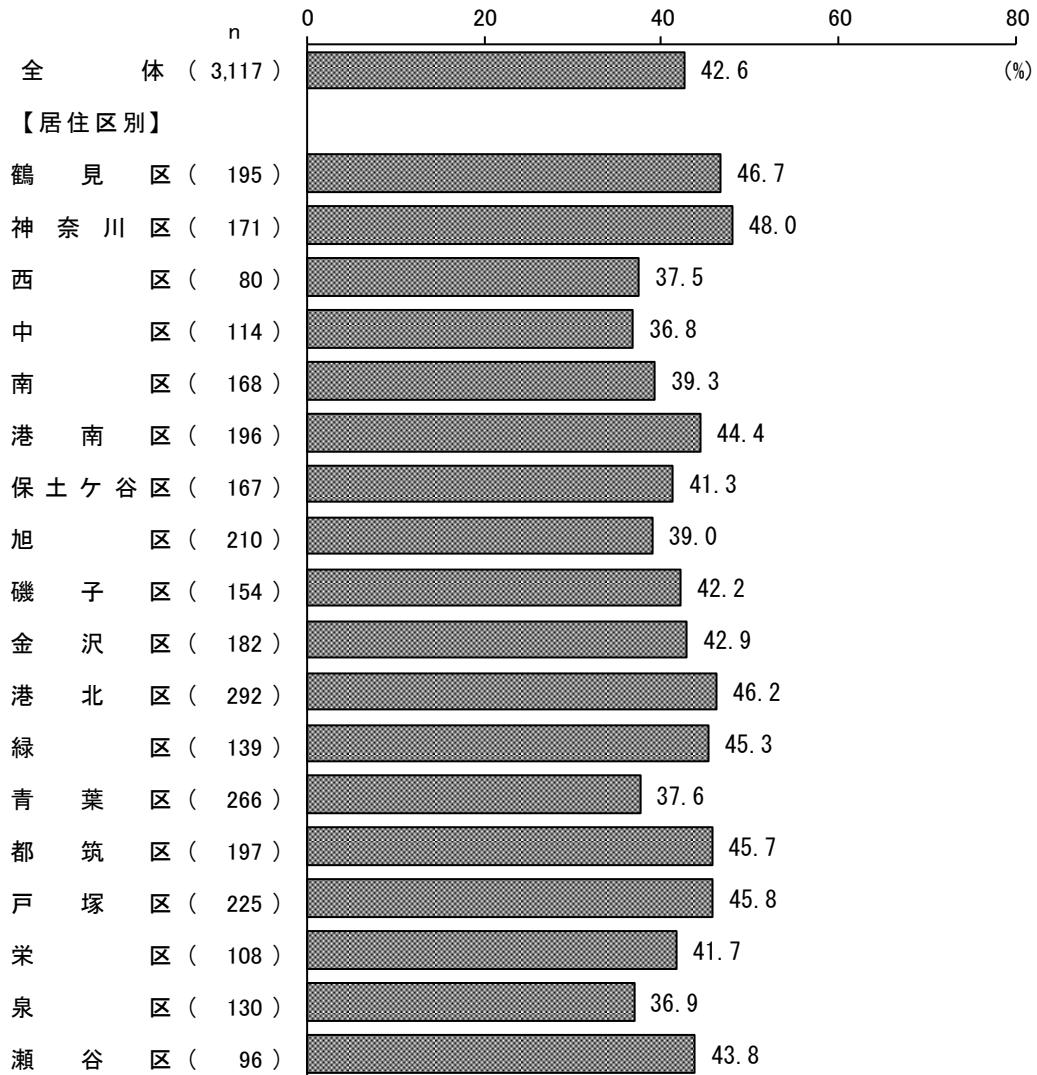


(3-2) すべての子どもたちの未来を創るまちづくり [居住区別]

すべての区で3割半ばから5割弱

「すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」について、居住区別にみると、すべての区で3割半ばから5割弱と、特に大きな違いは見られない。

図4-8 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり [居住区別] (複数回答)

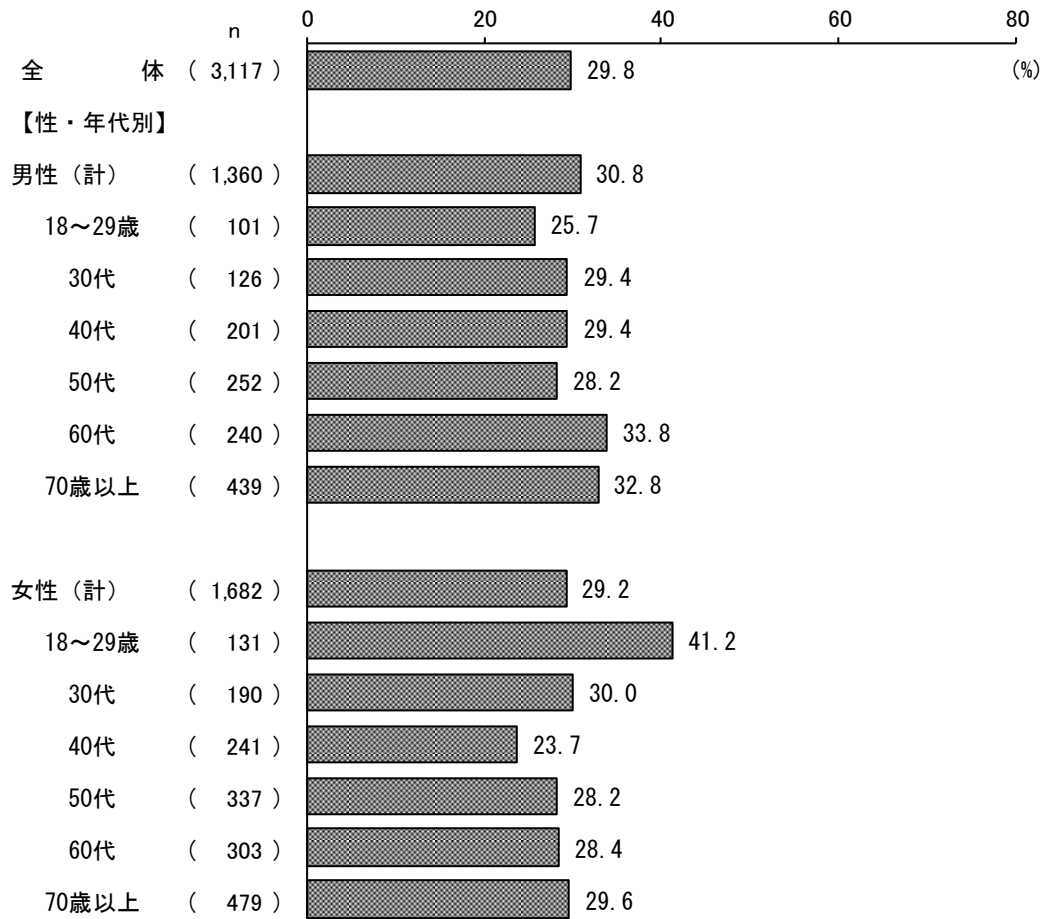


(4-1) 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 [性・年代別]

女性 18～29 歳が 4 割を超えて最も高い

「花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現」について、性・年代別にみると、女性 18～29 歳 (41.2%) が 4 割を超えて最も高くなっている。

図 4-9 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 [性・年代別] (複数回答)

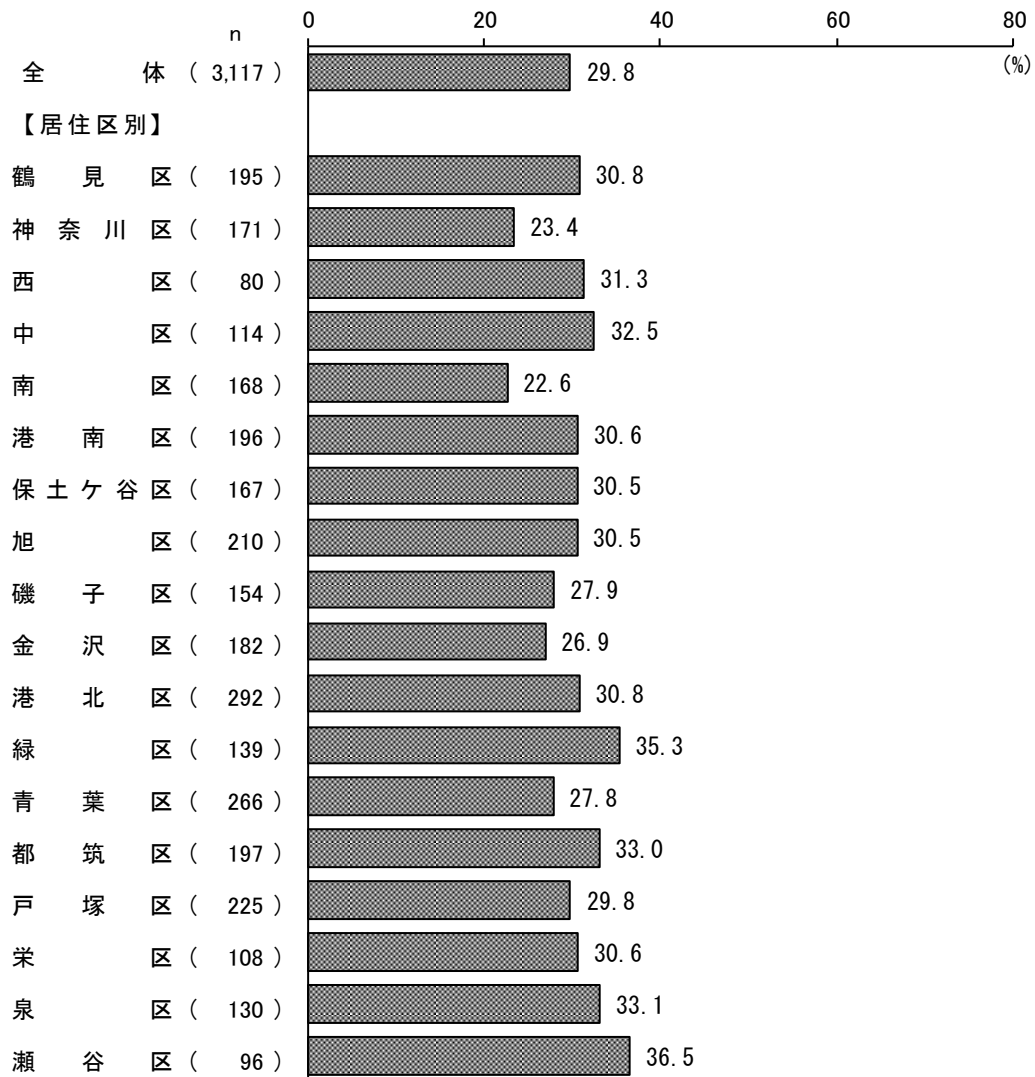


(4-2) 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 [居住区別]

すべての区で2割強から3割半ば

「花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現」について、居住区別にみると、すべての区で2割強から3割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図4-10 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現 [居住区別] (複数回答)

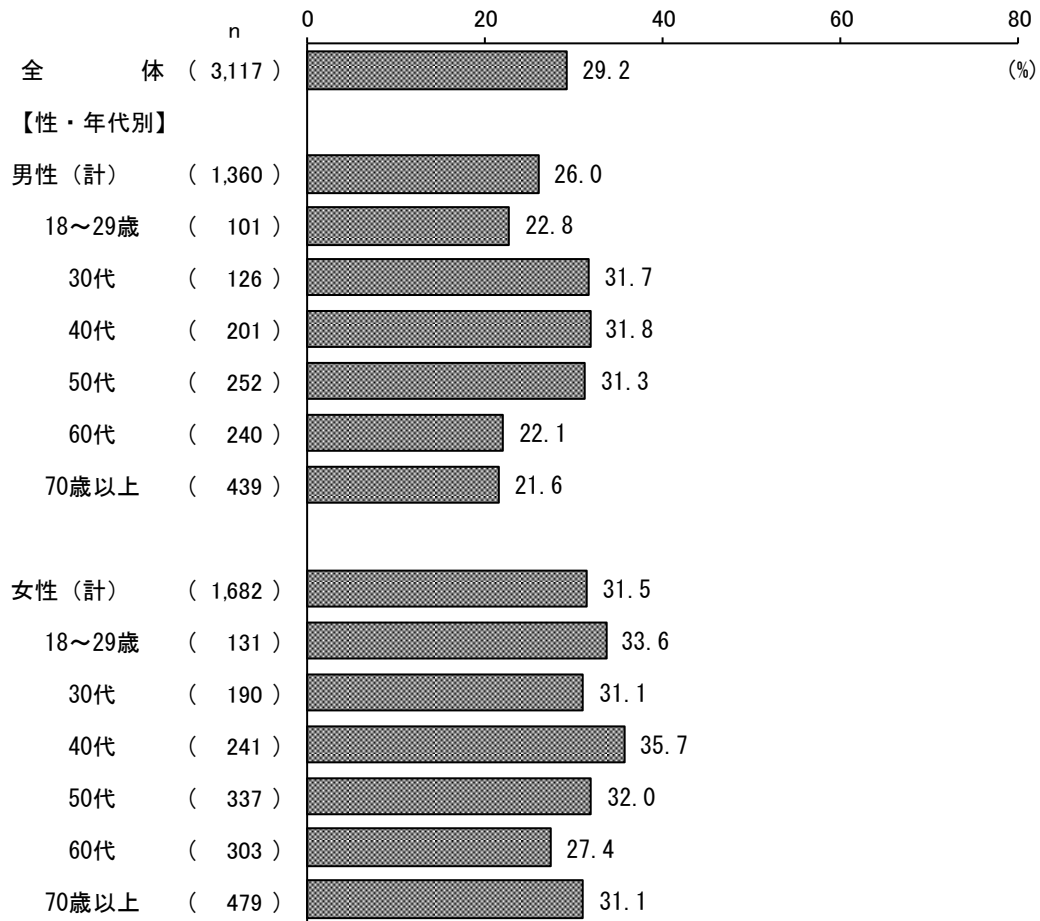


(5-1) 市民生活と経済活動を支える都市づくり [性・年代別]

女性 40代が3割半ばと最も高い

「市民生活と経済活動を支える都市づくり」について、性・年代別にみると、女性 40代 (35.7%) が3割半ばと最も高くなっている。

図4-11 市民生活と経済活動を支える都市づくり [性・年代別] (複数回答)

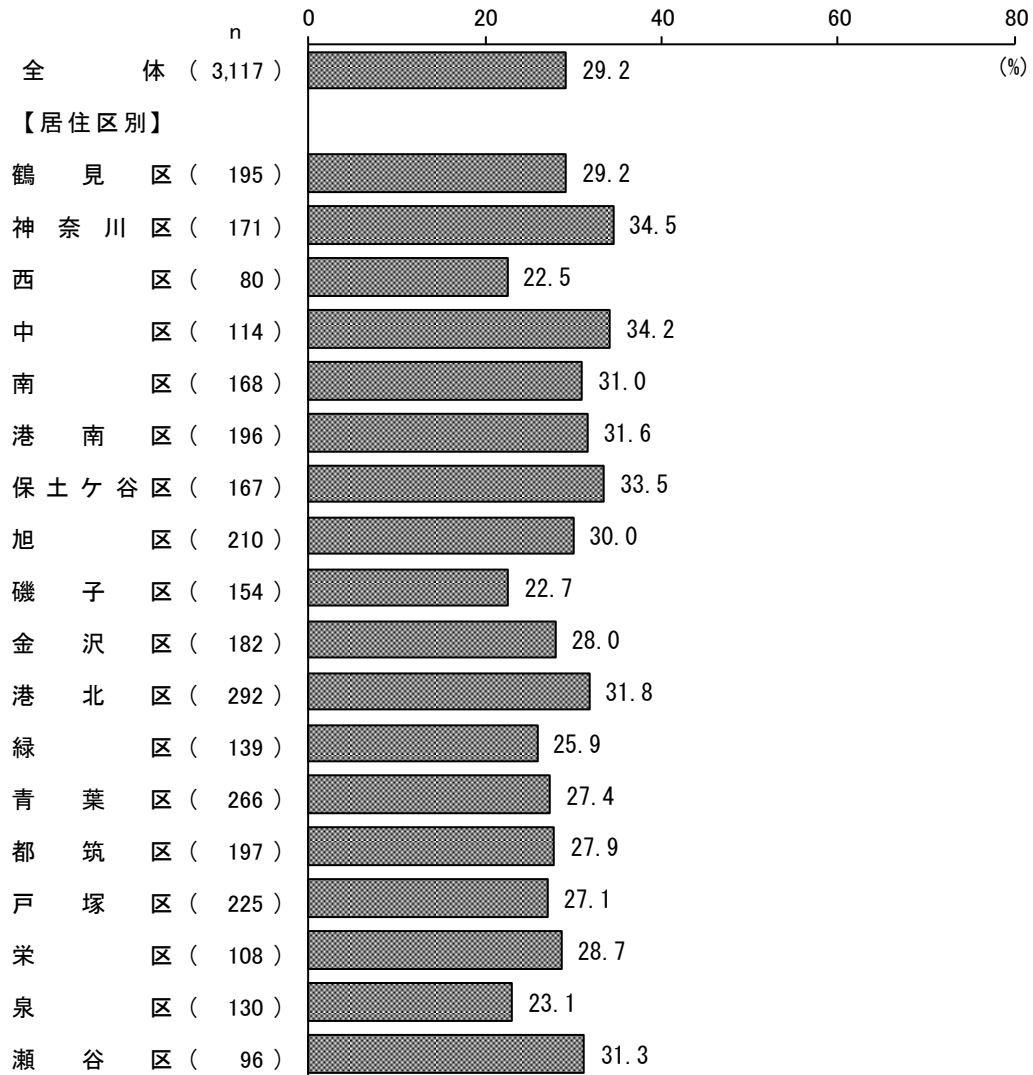


(5-2) 市民生活と経済活動を支える都市づくり [居住区別]

すべての区で2割強から3割半ば

「市民生活と経済活動を支える都市づくり」について、居住区別にみると、すべての区で2割強から3割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図4-12 市民生活と経済活動を支える都市づくり [居住区別] (複数回答)

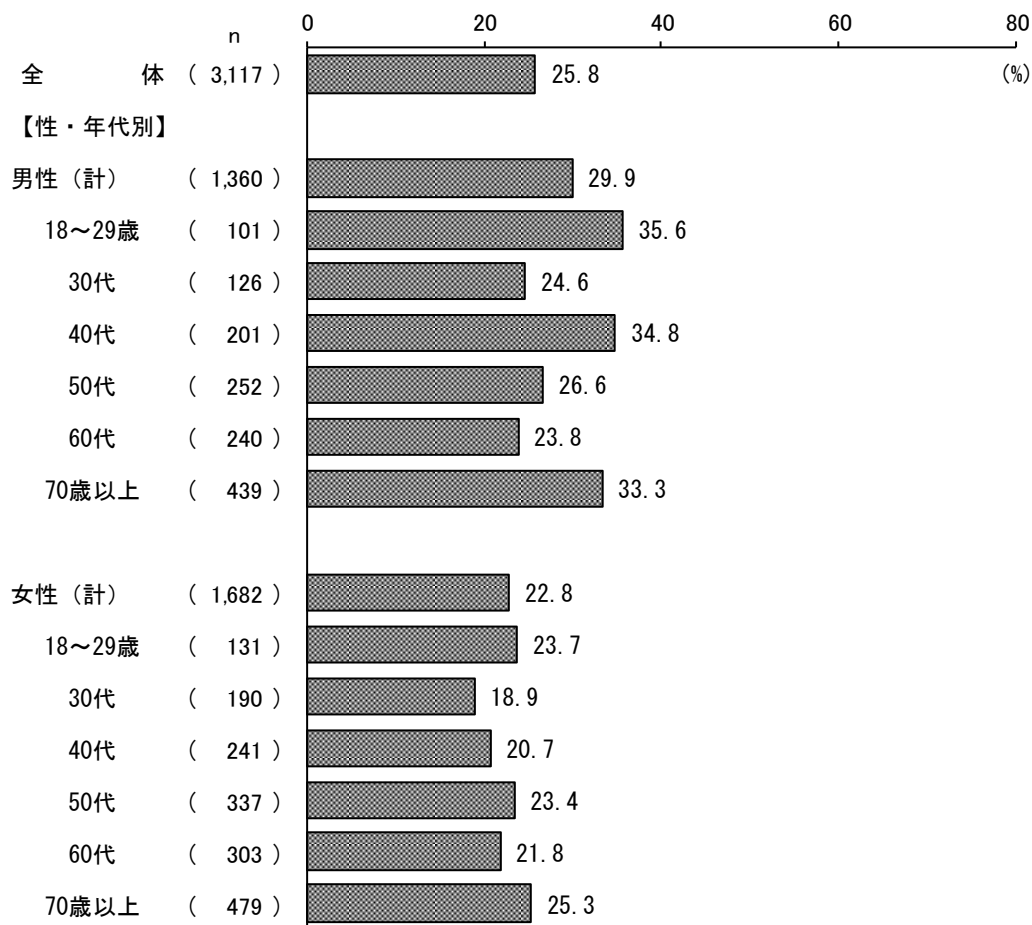


(6-1) 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 [性・年代別]

男性 18～29 歳、男性 40 代、男性 70 歳以上が 3 割半ばと高い

「未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現」について、性・年代別にみると、男性 18～29 歳 (35.6%)、男性 40 代 (34.8%)、男性 70 歳以上 (33.3%) が 3 割半ばと高くなっている。一方、女性 30 代 (18.9%) は 2 割弱と低い。

図 4-13 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 [性・年代別] (複数回答)

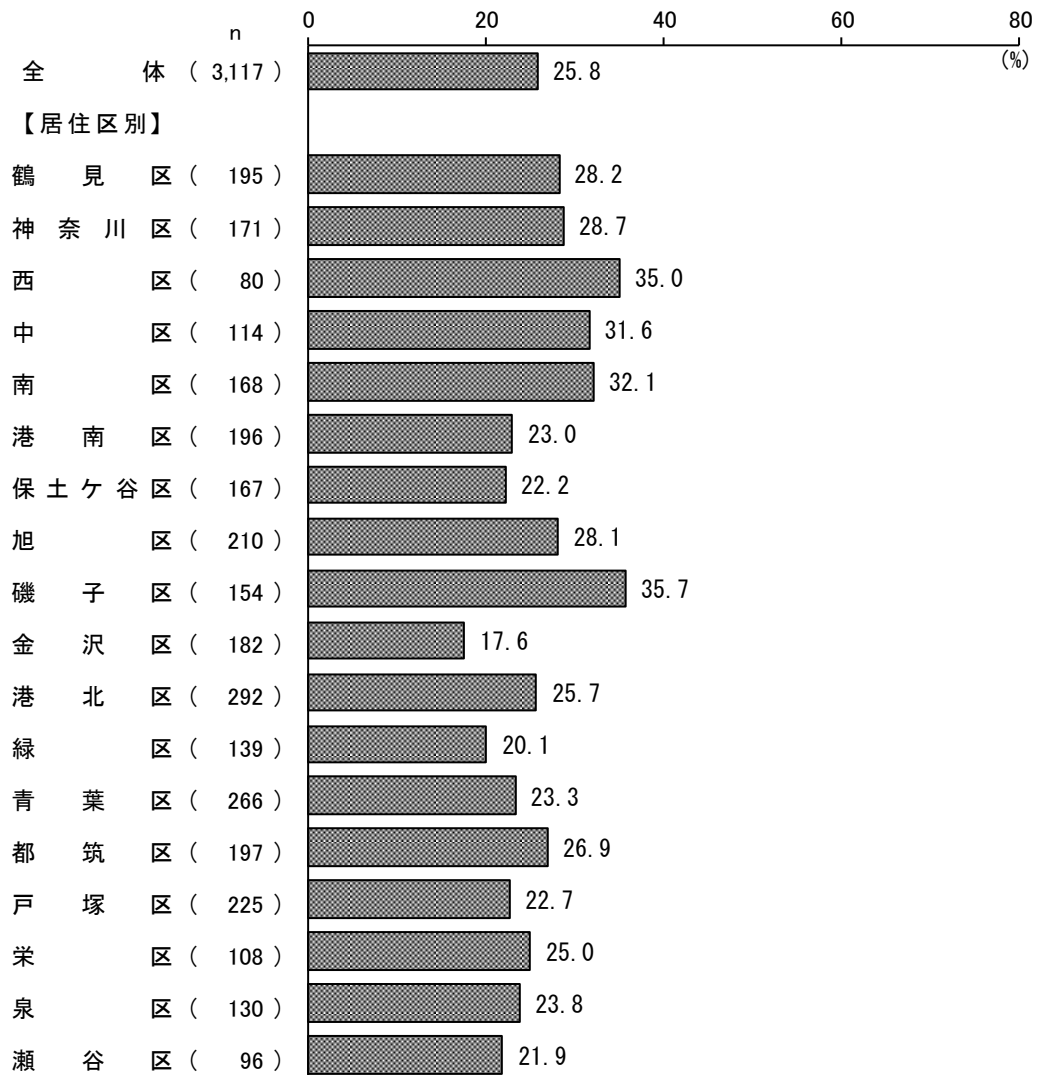


(6-2) 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 [居住区別]

磯子区、西区が3割半ばと高い

「未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現」について、居住区別にみると、磯子区(35.7%)、西区(35.0%)が3割半ばと高くなっている。一方、金沢区(17.6%)は1割半ばと低い。

図4-14 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 [居住区別] (複数回答)

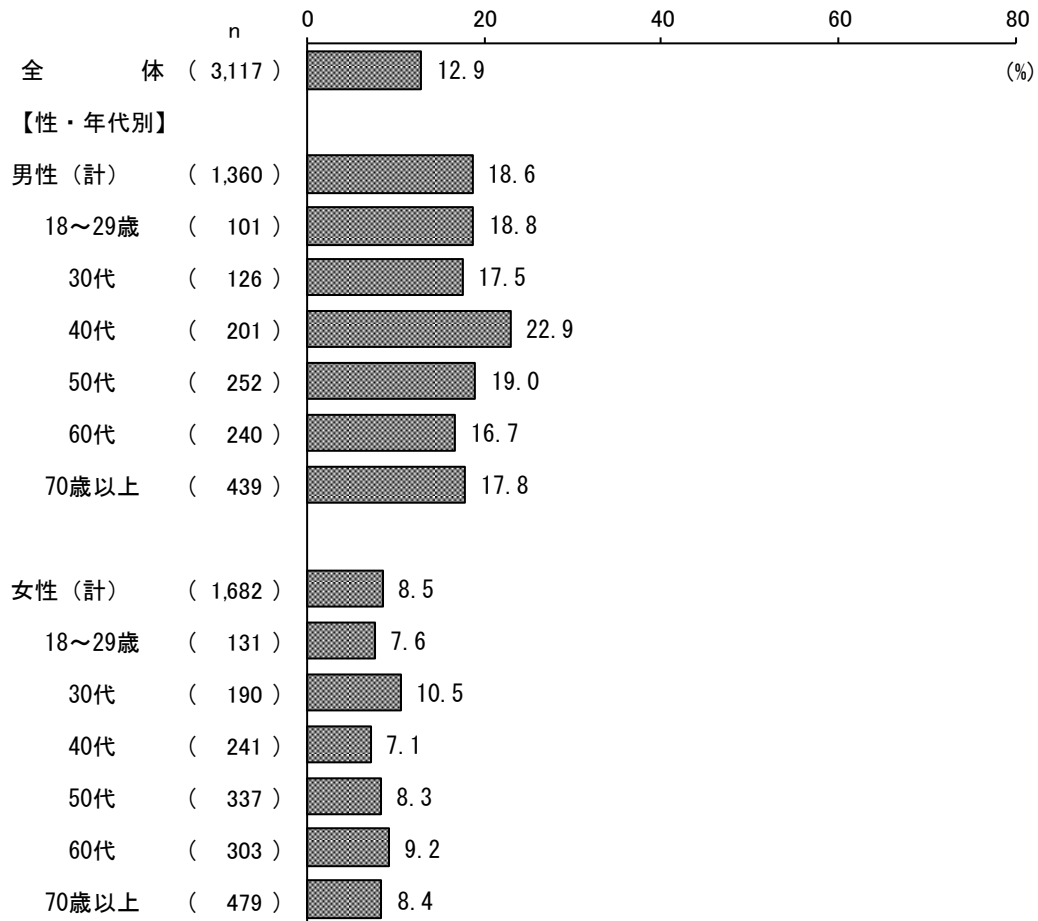


(7-1) 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり [性・年代別]

男性 40代が2割を超えて最も高い

「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」について、性・年代別にみると、男性 40代 (22.9%) が2割を超えて最も高くなっている。

図4-15 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり [性・年代別] (複数回答)

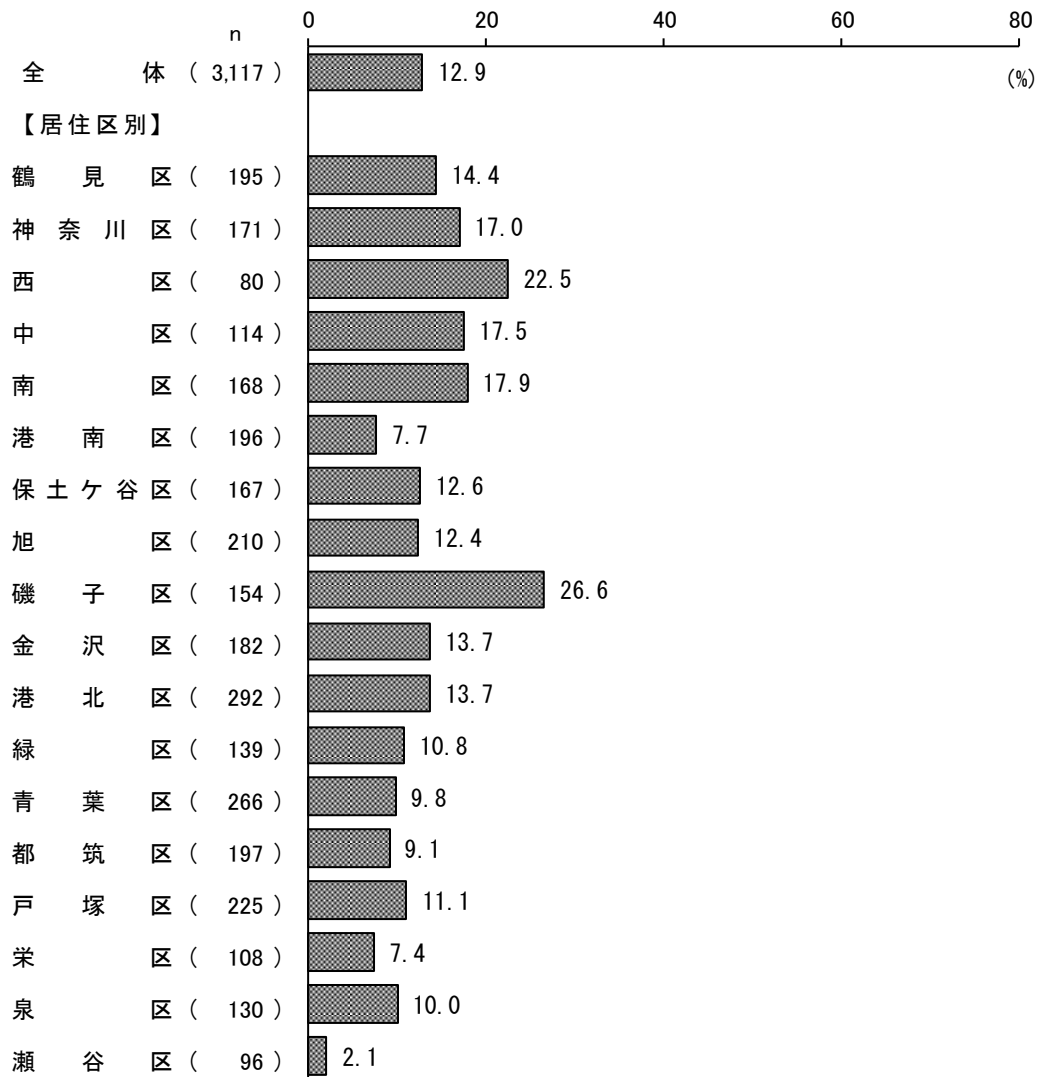


(7-2) 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり [居住区別]

磯子区、西区が2割台と高い

「成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり」について、居住区別にみると、磯子区(26.6%)、西区(22.5%)が2割台と高くなっている。

図4-16 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり [居住区別] (複数回答)

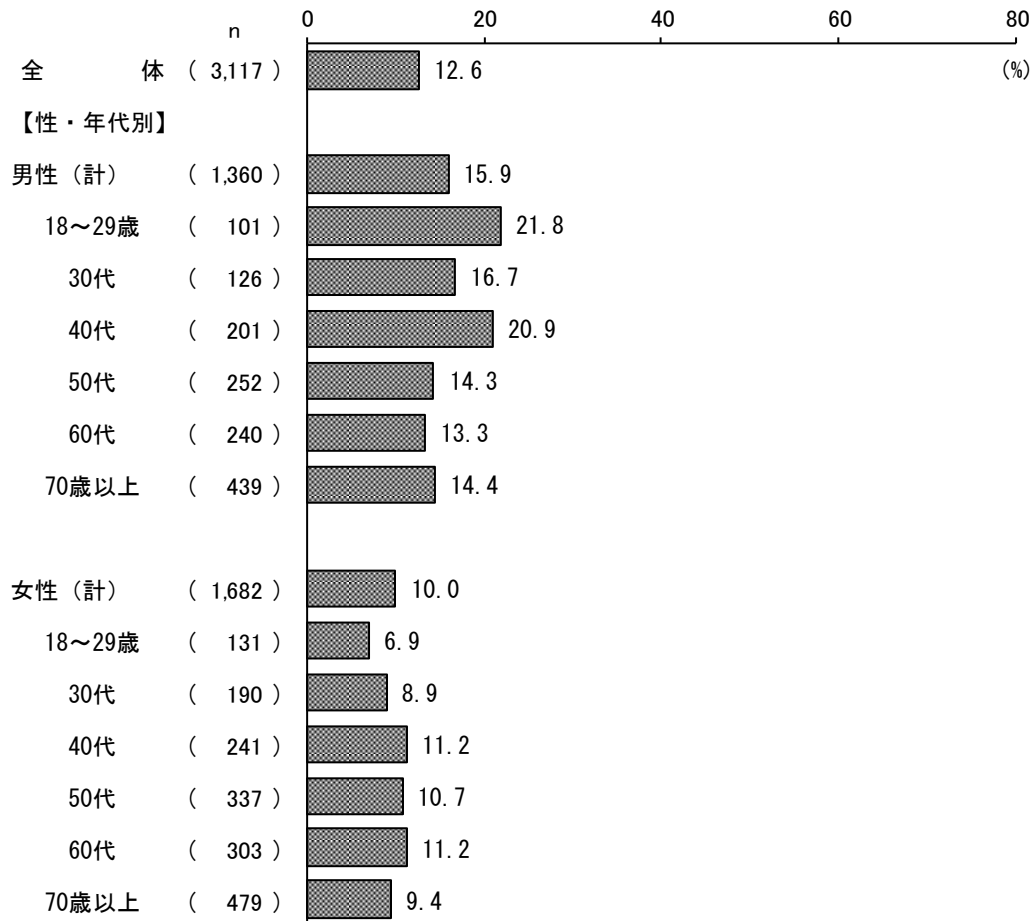


(8-1) 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり [性・年代別]

男性 18～29 歳、男性 40 代が 2 割を超えて高い

「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」について、性・年代別にみると、男性 18～29 歳 (21.8%)、男性 40 代 (20.9%) が 2 割を超えて高くなっている。

図 4-17 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり [性・年代別] (複数回答)

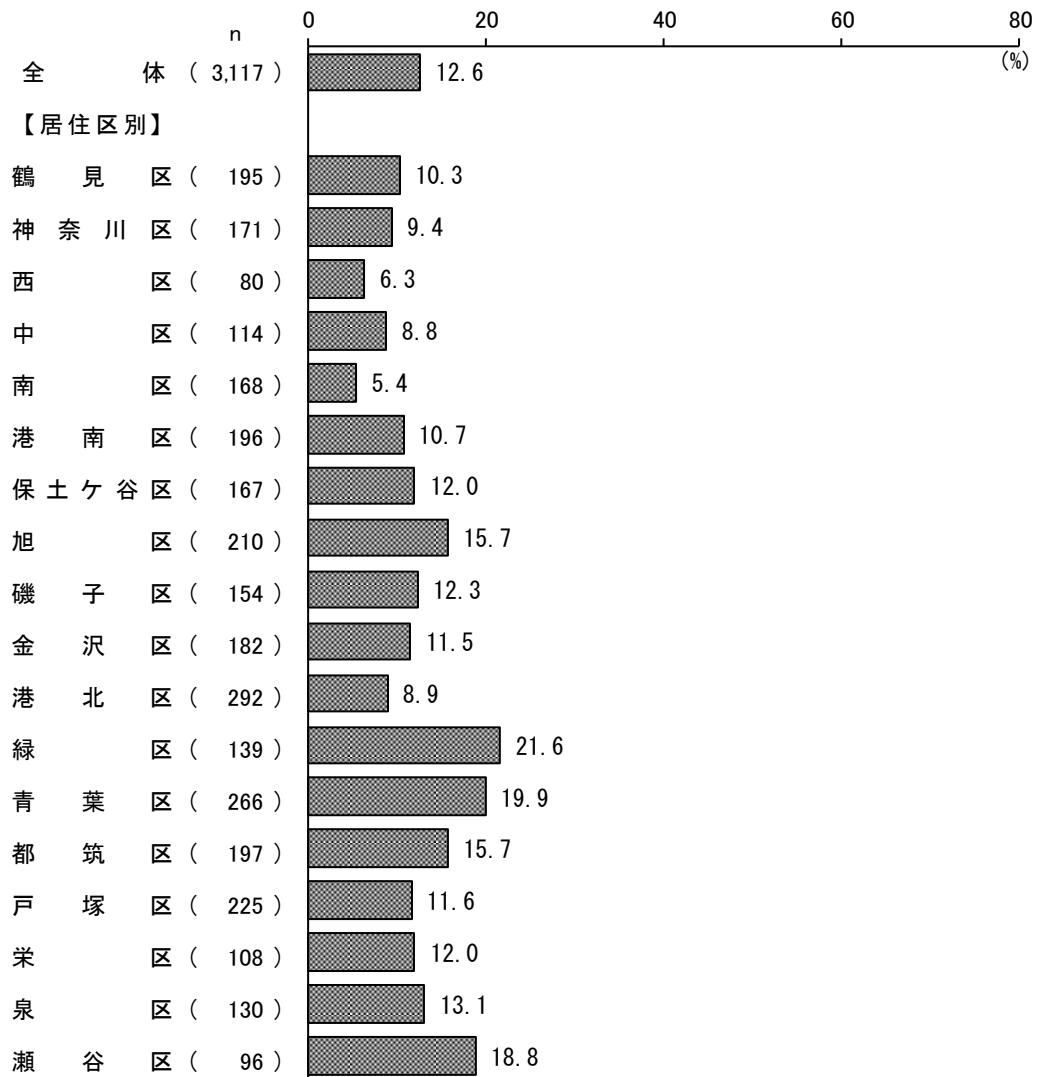


(8-2) 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり [居住区別]

緑区が2割を超えて最も高い

「新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり」について、居住区別にみると、緑区 (21.6%) が2割を超えて最も高くなっている。

図4-18 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり [居住区別] (複数回答)

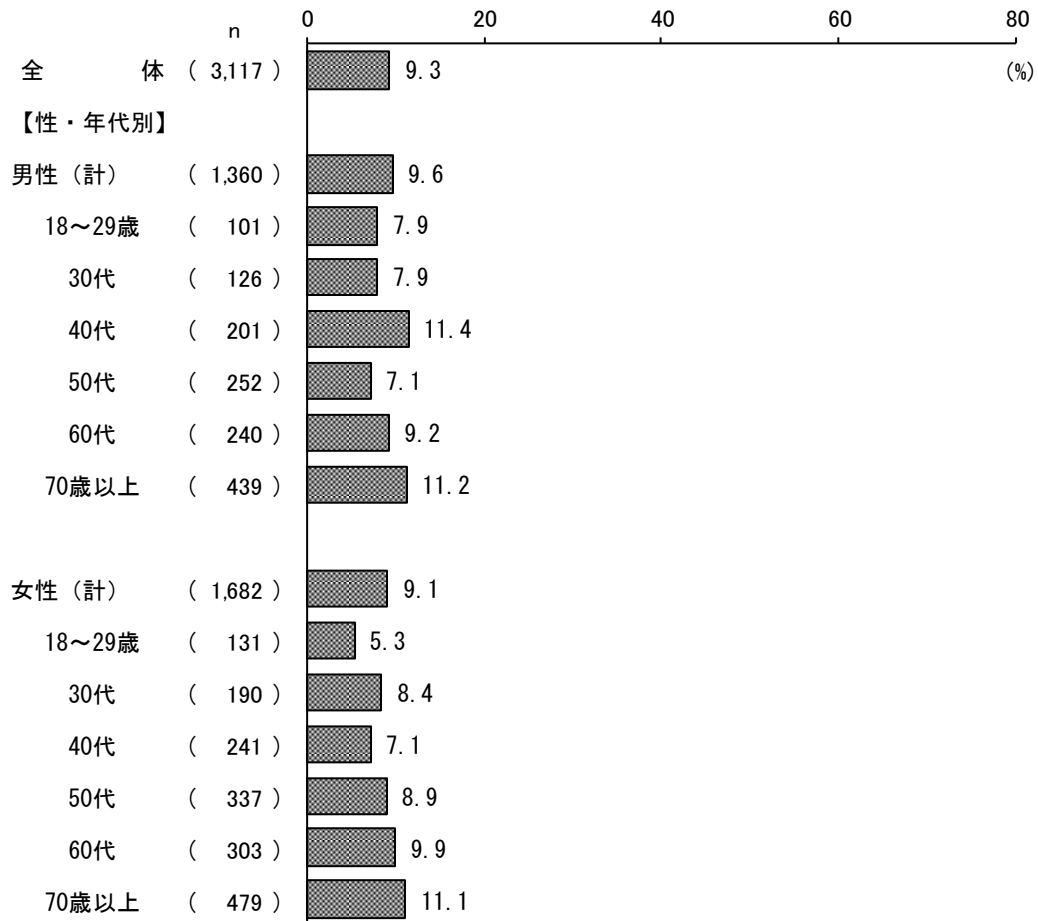


(9-1) Zero Carbon Yokohama の実現 [性・年代別]

男女すべての年代で1割前後

「Zero Carbon Yokohama の実現」について、性・年代別にみると、男女すべての年代で1割前後と、特に大きな違いは見られない。

図4-19 Zero Carbon Yokohama の実現 [性・年代別] (複数回答)

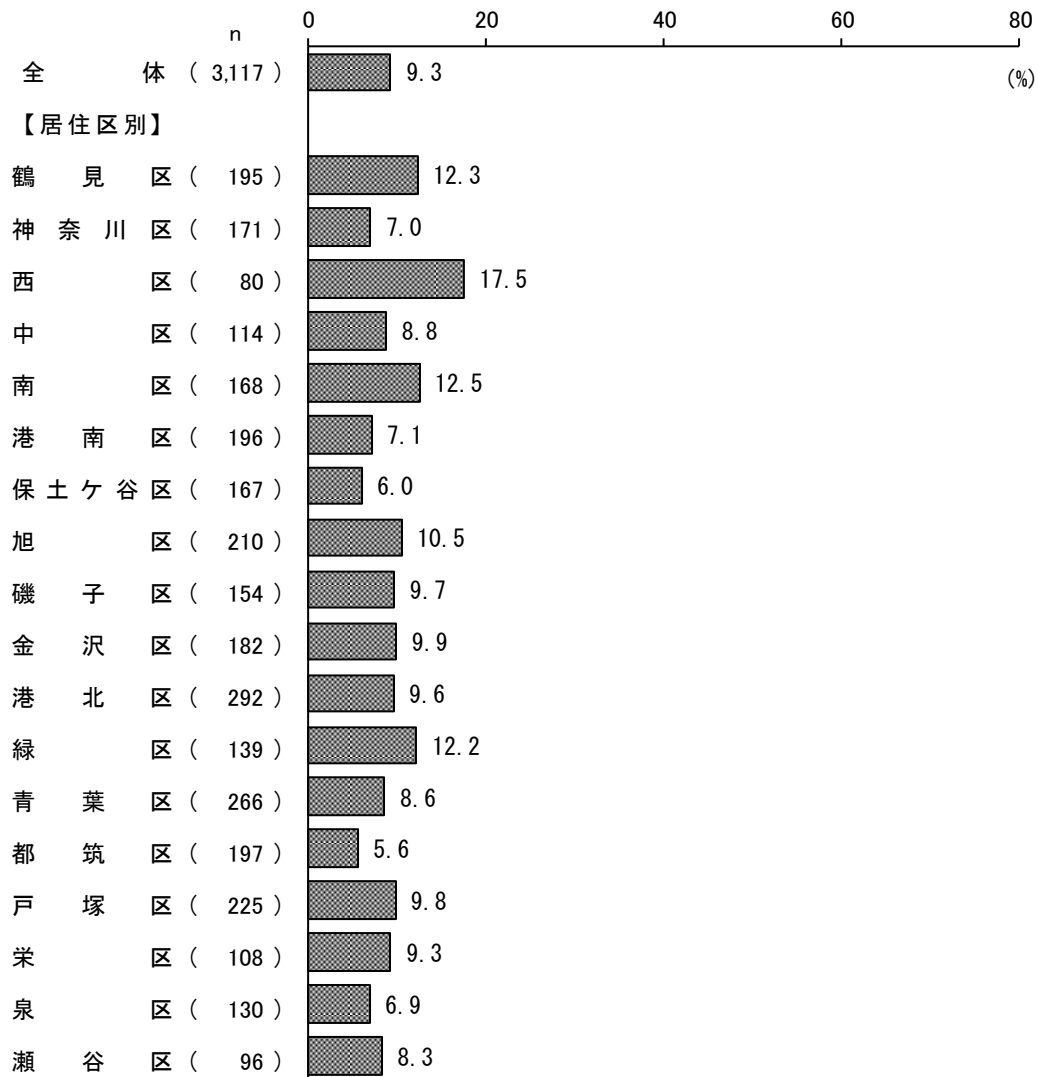


(9-2) Zero Carbon Yokohama の実現 [居住区別]

西区が1割半ばと最も高い

「Zero Carbon Yokohama の実現」について、居住区別にみると、西区（17.5%）が1割半ばと最も高くなっている。

図4-20 Zero Carbon Yokohama の実現 [居住区別] (複数回答)



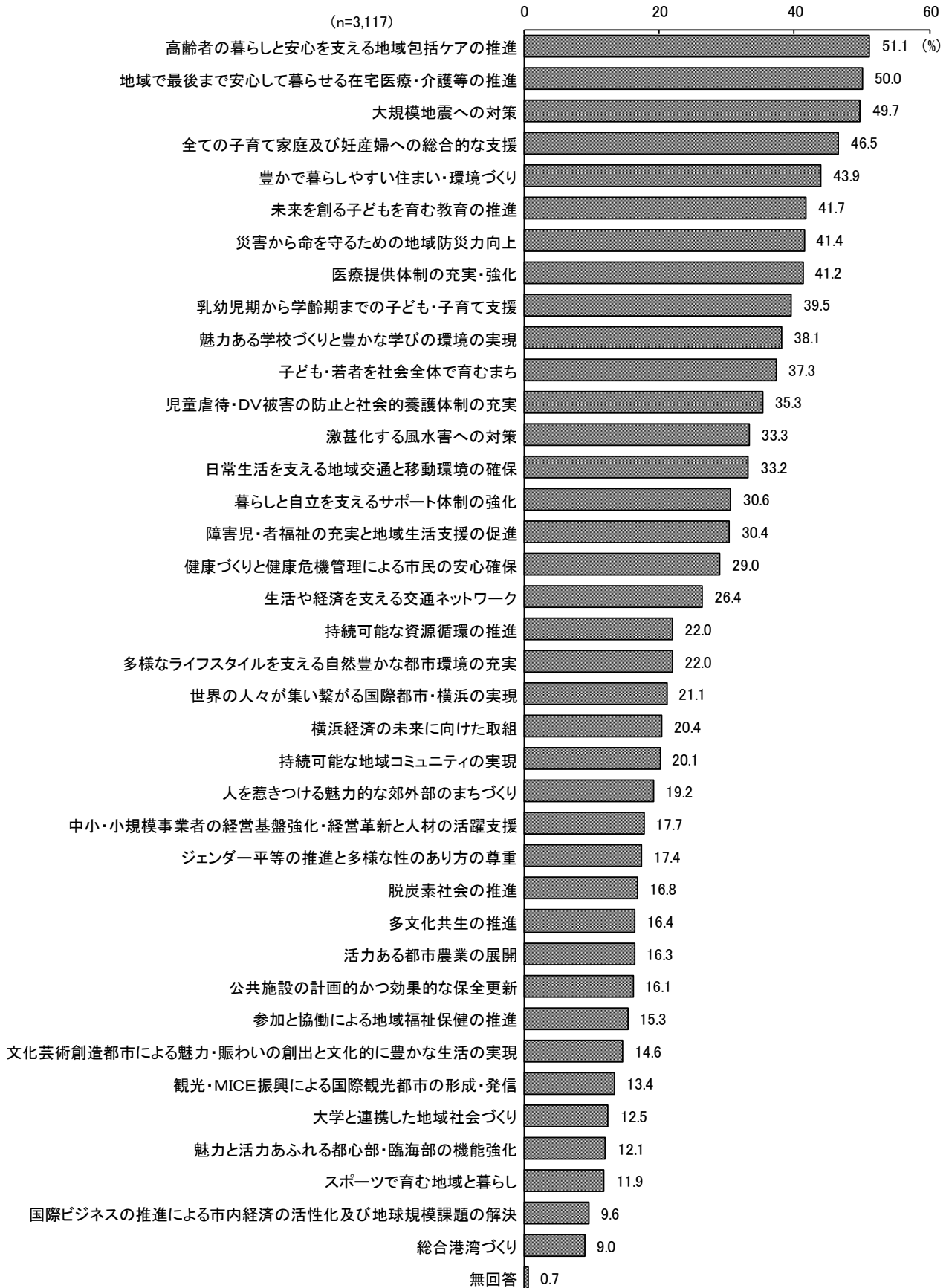
5. 38の政策について

問5 「共にめざす都市像」の実現に向け、4か年で重点的に推進すべき政策として38の取組を示しています。あなたが、横浜市が直近4か年で取り組むべきと考える政策はどれですか。(〇はいくつでも)

「高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進」、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」が5割台と高い

「共にめざす都市像」の実現に向けて取り組むべき政策について聞いたところ、「高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進」(51.1%)、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」(50.0%)が5割台と高く、次いで「大規模地震への対策」(49.7%)、「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」(46.5%)などの順となっている。

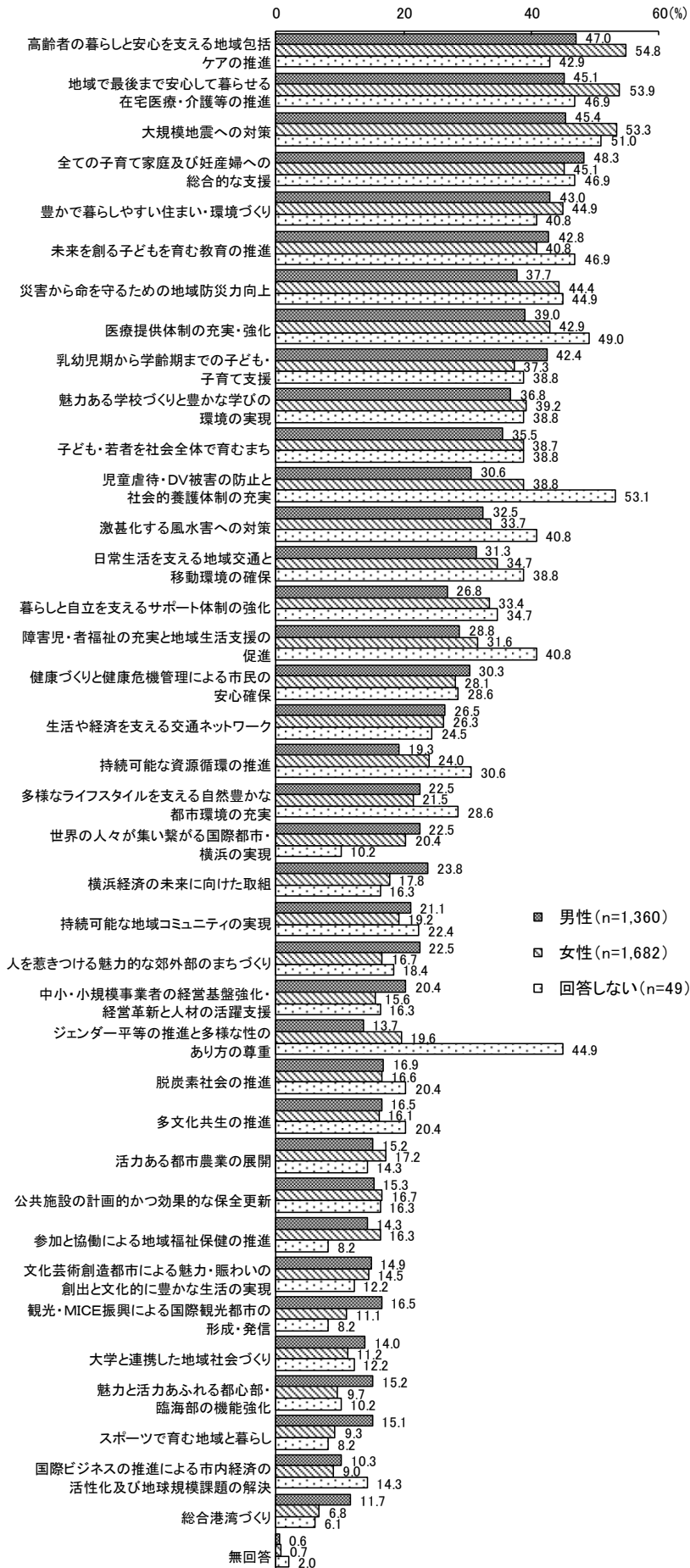
図5-1 38の政策について [全体] (複数回答)



「横浜経済の未来に向けた取組」などは男性の方が高く、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」などは女性の方が高い

男女別にみると、「横浜経済の未来に向けた取組」、「人を惹きつける魅力的な郊外部のまちづくり」、「スポーツで育む地域と暮らし」などは男性の方が高く、「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」、「児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実」、「大規模地震への対策」、「高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進」などは女性の方が高くなっている。

図5-2 38の政策について〔男女別〕（複数回答）



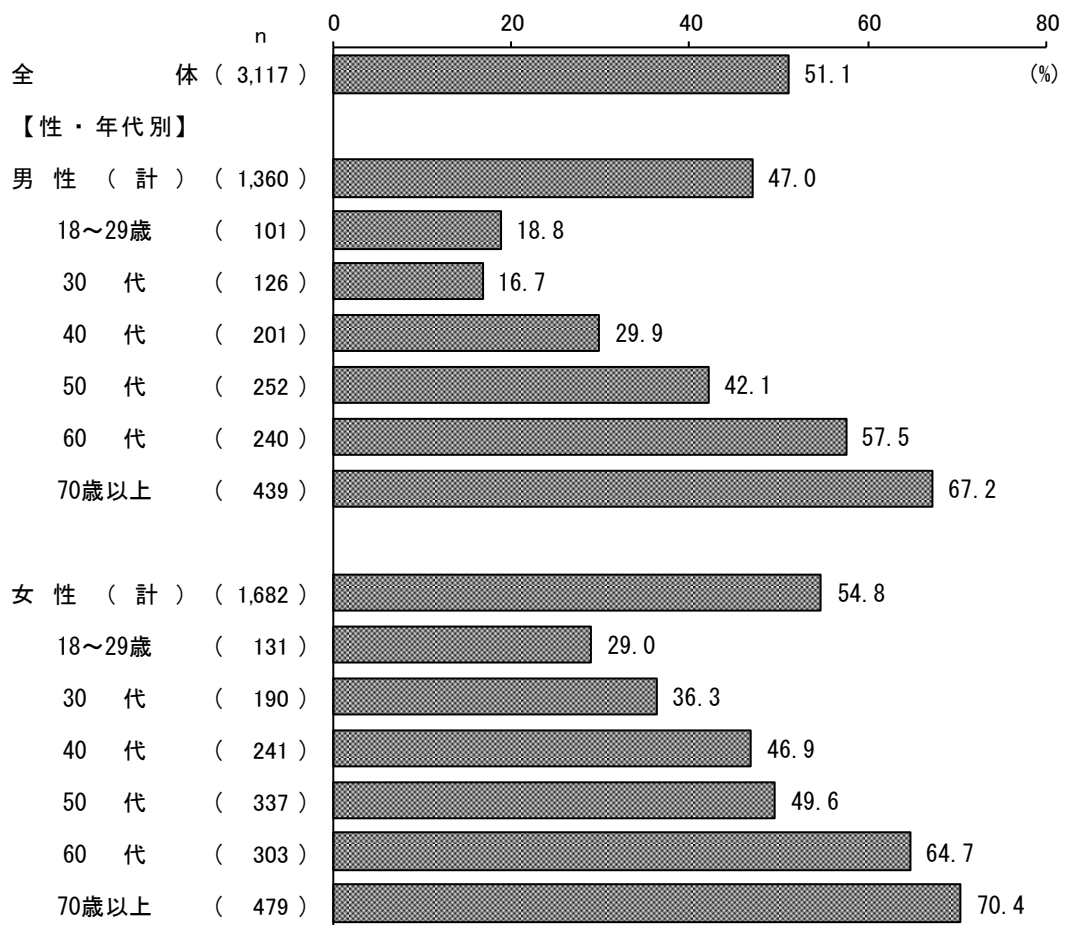
当設問の回答上位5項目について、次ページ以降に性・年代別、居住区別の結果を掲載する。

(1-1) 高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進 [性・年代別]

男女ともにおおむね年代があがるほど割合が高い傾向

「高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進」について、性・年代別にみると、女性70歳以上（70.4%）が7割を超えて最も高く、男女ともにおおむね年代があがるほど割合が高い傾向となっている。

図5-3 高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進 [性・年代別] (複数回答)

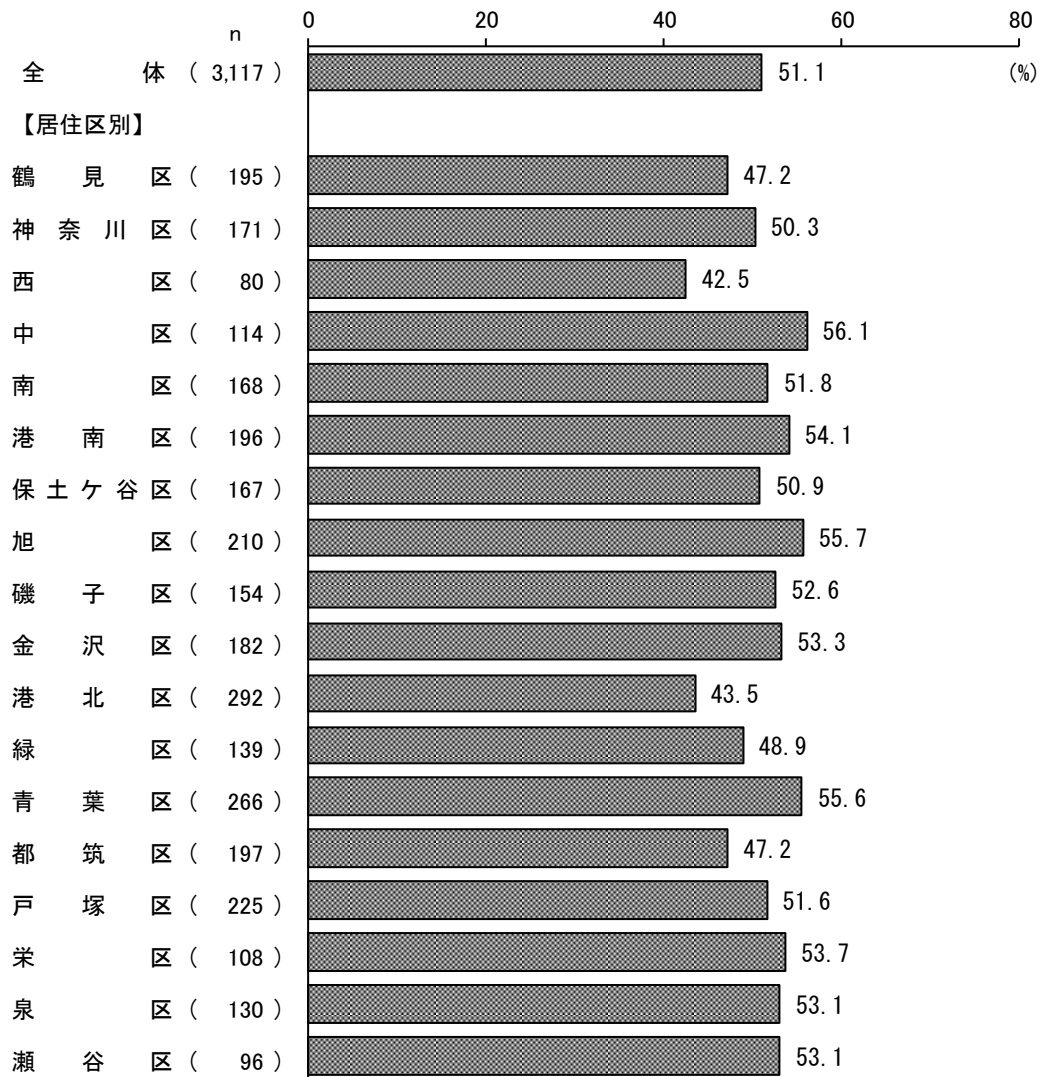


(1-2) 高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進 [居住区別]

すべての区で4割強から5割半ば

「高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進」について、居住区別にみると、すべての区で4割強から5割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図5-4 高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進 [居住区別] (複数回答)

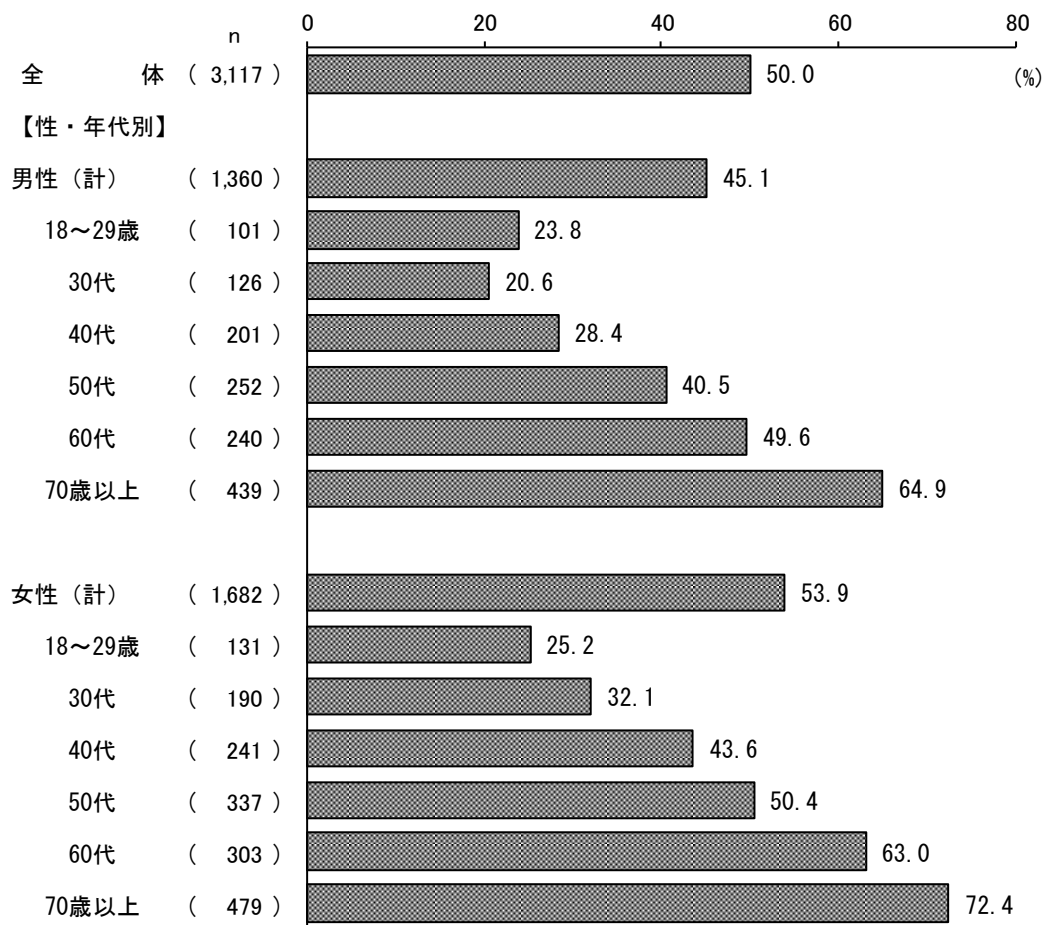


(2-1) 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進 [性・年代別]

男女ともにおおむね年代があがるほど割合が高い傾向

「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」について、性・年代別にみると、女性 70 歳以上 (72.4%) が 7 割を超えて最も高く、男女ともにおおむね年代があがるほど割合が高い傾向となっている。

図 5-5 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進 [性・年代別] (複数回答)

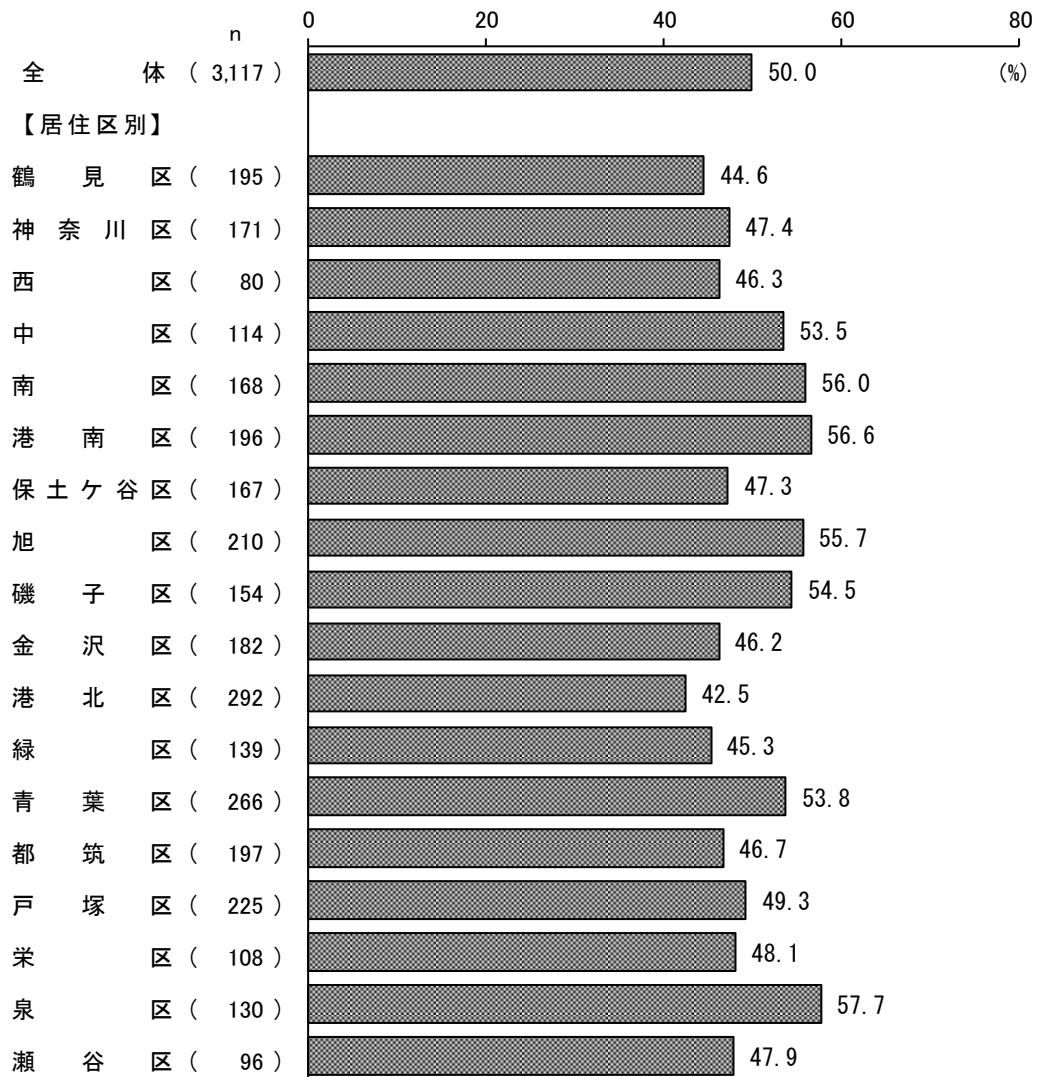


(2-2) 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進 [居住区別]

すべての区で4割強から5割半ば

「地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進」について、居住区別にみると、すべての区で4割強から5割半ばと、特に大きな違いは見られない。

図5-6 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進 [居住区別] (複数回答)

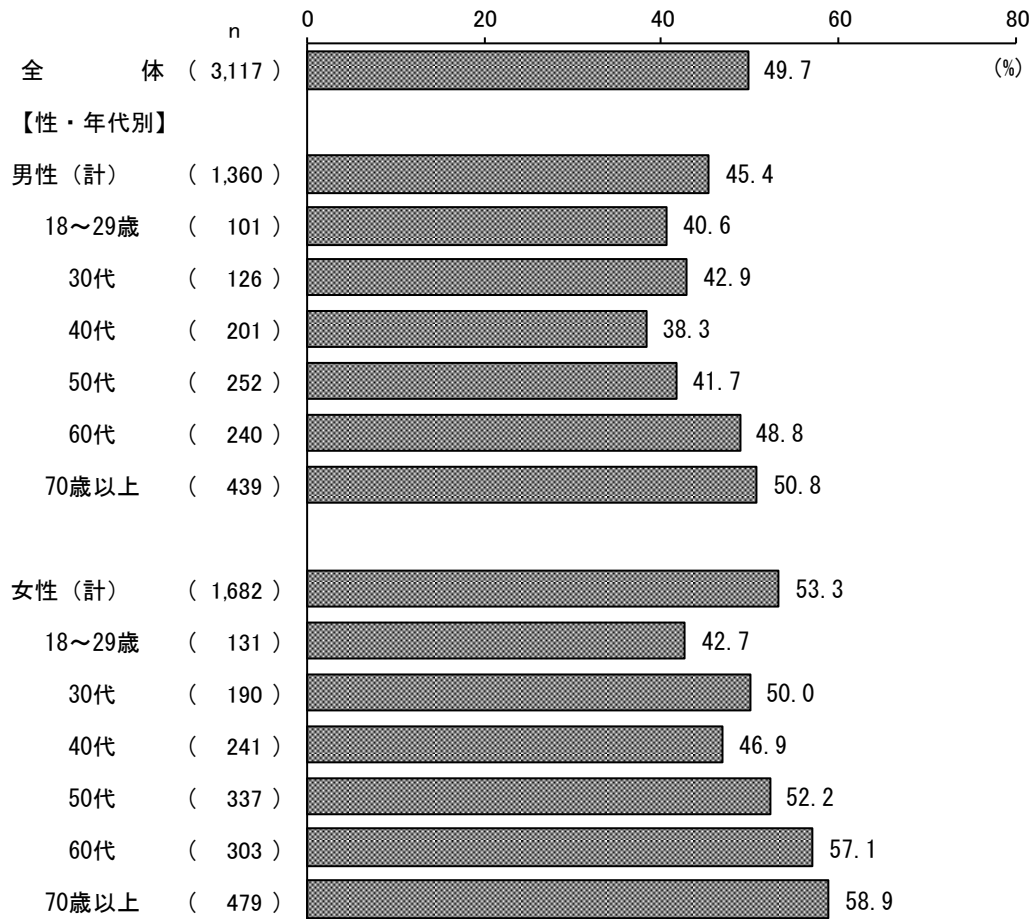


(3-1) 大規模地震への対策 [性・年代別]

女性 70 歳以上、女性 60 代が 5 割半ば以上と高い

「大規模地震への対策」について、性・年代別にみると、女性 70 歳以上 (58.9%)、女性 60 代 (57.1%) が 5 割半ば以上と高くなっている。

図 5-7 大規模地震への対策 [性・年代別] (複数回答)

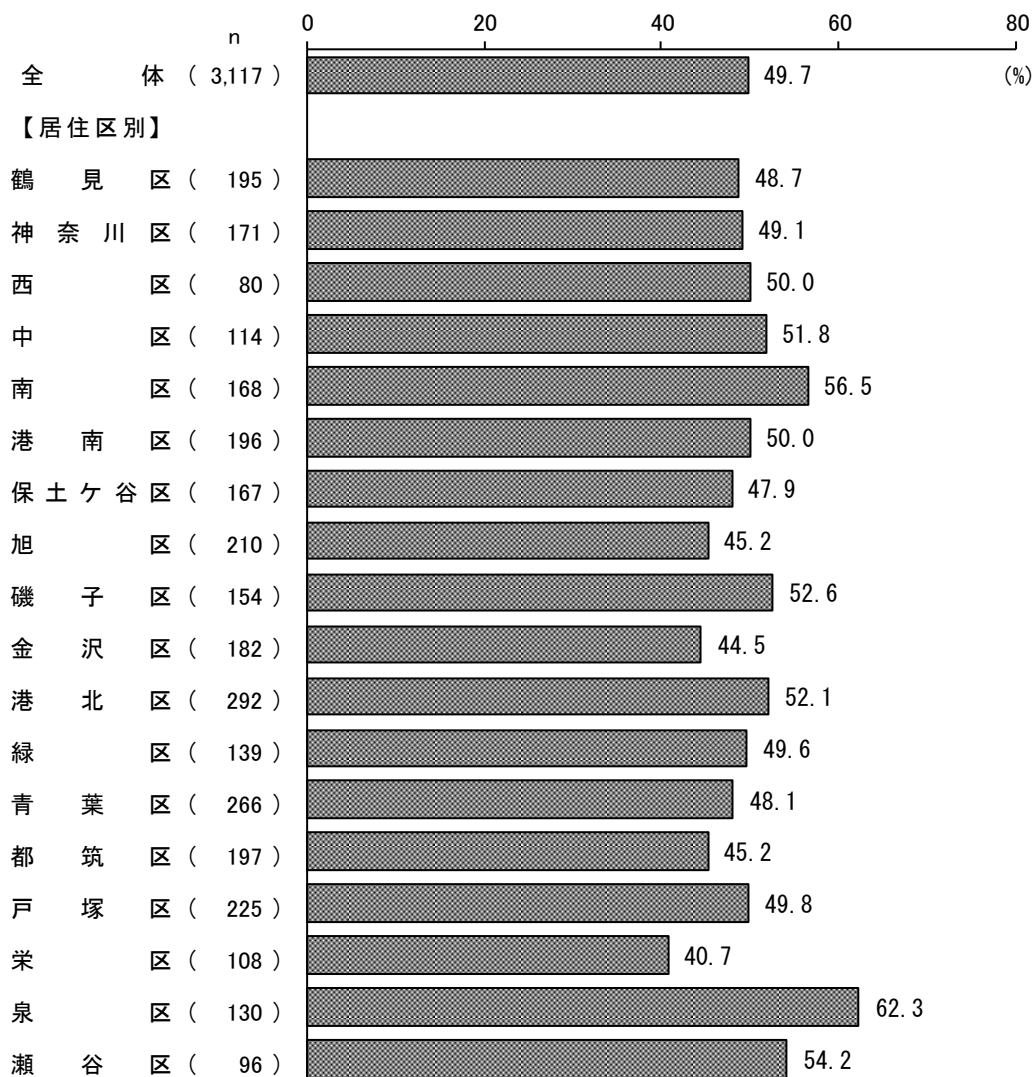


(3-2) 大規模地震への対策 [居住区別]

泉区が6割を超えて最も高い

「大規模地震への対策」について、居住区別にみると、泉区（62.3%）が6割を超えて最も高くなっている。

図5-8 大規模地震への対策 [居住区別] (複数回答)

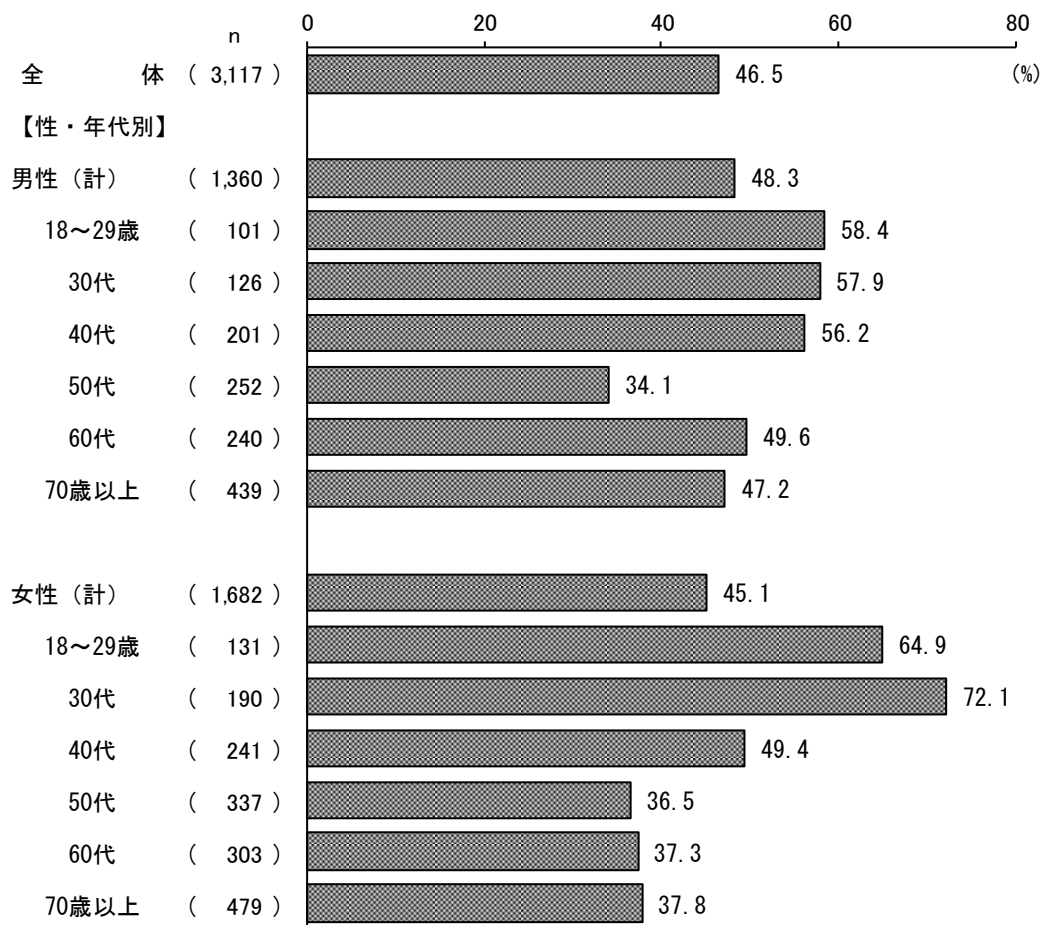


(4-1) 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 [性・年代別]

女性 30代が7割を超えて最も高い

「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」について、性・年代別にみると、女性 30代 (72.1%) が7割を超えて最も高くなっている。また、女性 18~29歳 (64.9%) も6割半ばと高い。

図5-9 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 [性・年代別] (複数回答)

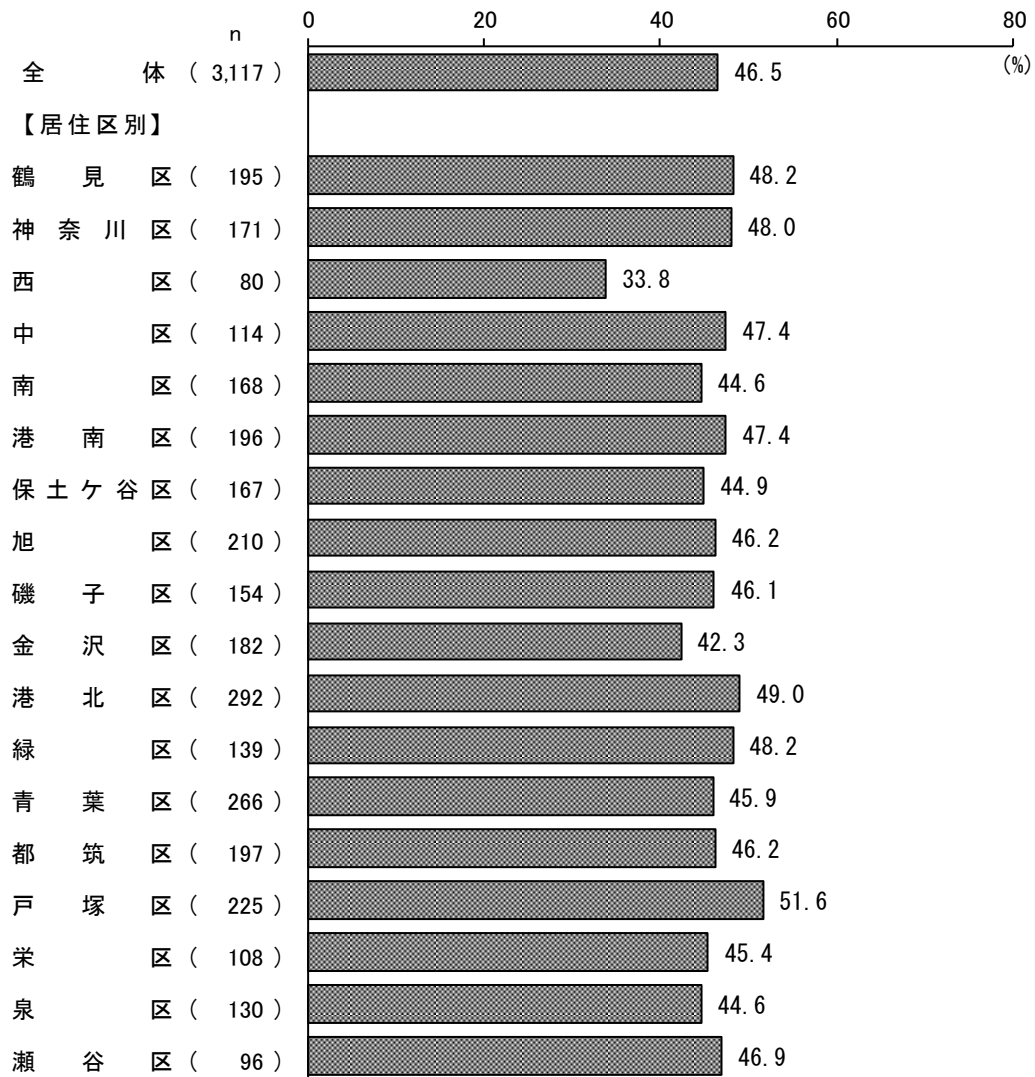


(4-2) 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 [居住区別]

西区が3割半ばと最も低い

「全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援」について、居住区別にみると、西区(33.8%)が3割半ばと最も低くなっている。

図5-10 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 [居住区別] (複数回答)

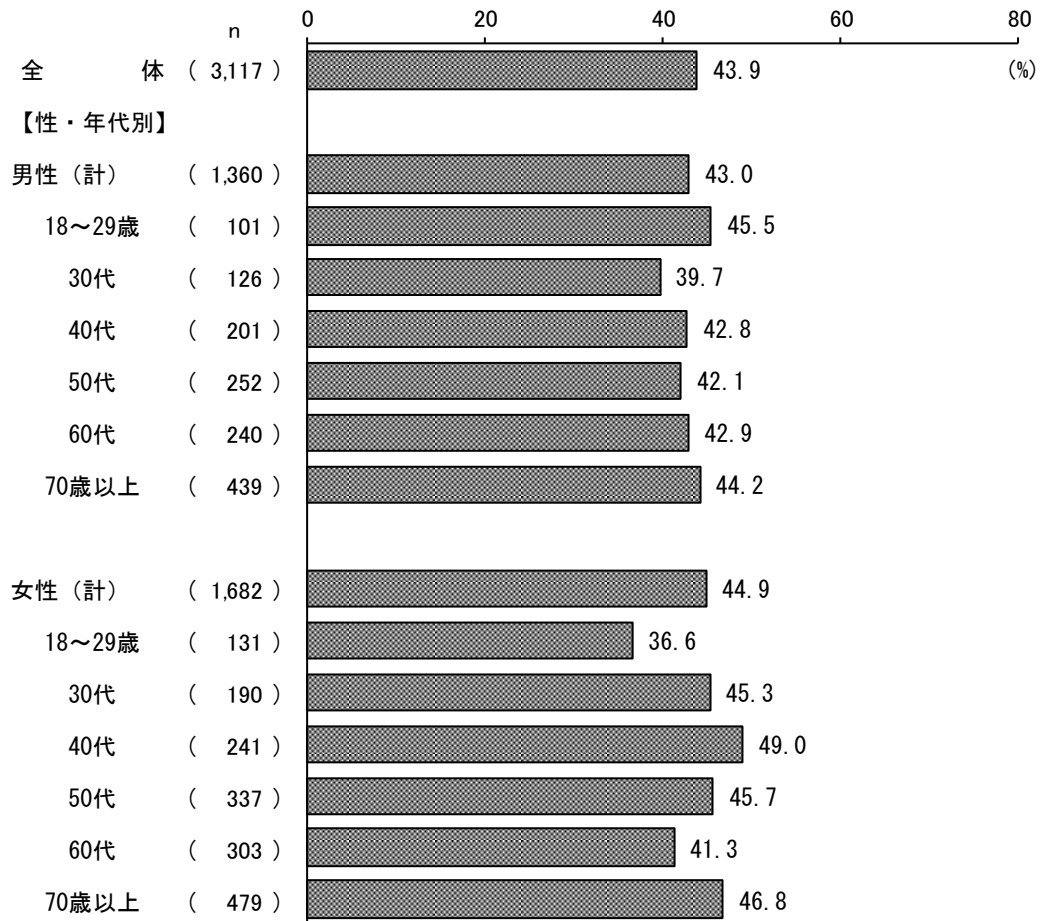


(5-1) 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり [性・年代別]

女性 40代が5割近くと最も高い

「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」について、性・年代別にみると、女性 40代 (49.0%) が5割近くと最も高くなっている。

図5-11 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり [性・年代別] (複数回答)

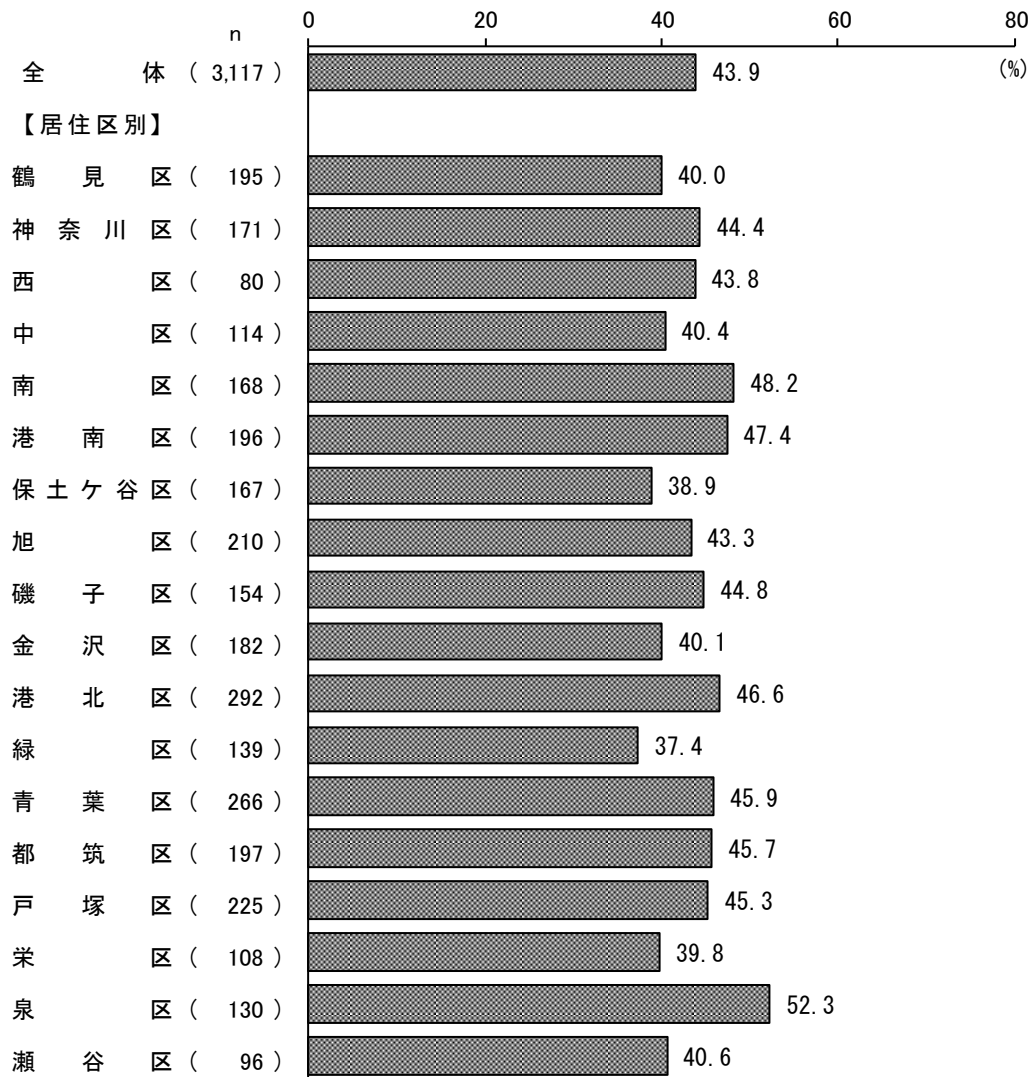


(5-2) 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり [居住区別]

泉区が5割を超えて最も高い

「豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり」について、居住区別にみると、泉区（52.3%）が5割を超えて最も高くなっている。

図5-12 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり [居住区別]（複数回答）



Ⅲ 中学生・高校生調査の結果

Ⅲ. 中学生・高校生調査の結果

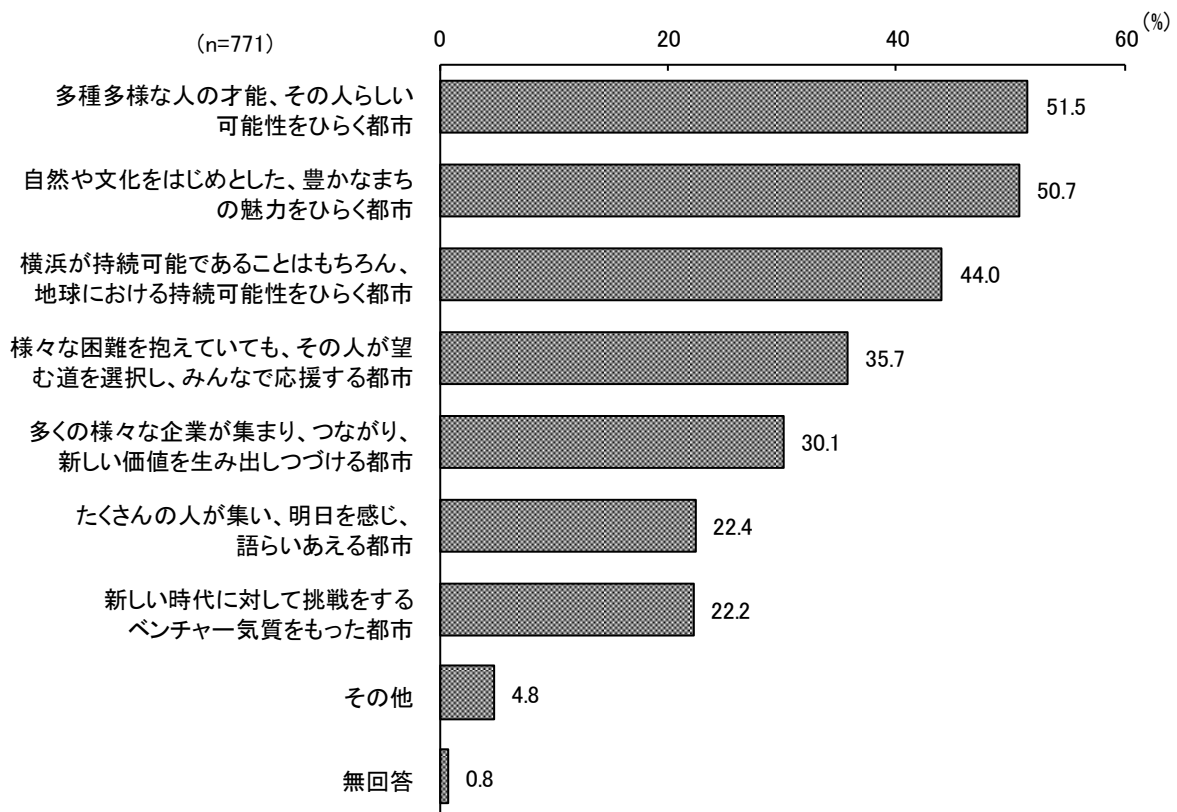
1. 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について

問1 今から約20年後（2040年頃）も、横浜市が魅力あるまちであるためには、どのような状態であることが望ましいでしょうか。ご自身、お子さんやお孫さん世代、更にはその先の世代へ続いていくまちとして、また、他都市や世界に対して魅力をアピールできるまちとして想定した時の、横浜市のありたい姿をお選びください。（〇は3つまで）

「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」、「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をはひらく都市」が5割を超えて高い

今から約20年後（2040年頃）も魅力あるまちであるための横浜市のありたい姿について聞いたところ、「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」（51.5%）、「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をはひらく都市」（50.7%）が5割を超えて高く、次いで「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」（44.0%）、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」（35.7%）などの順となっている。

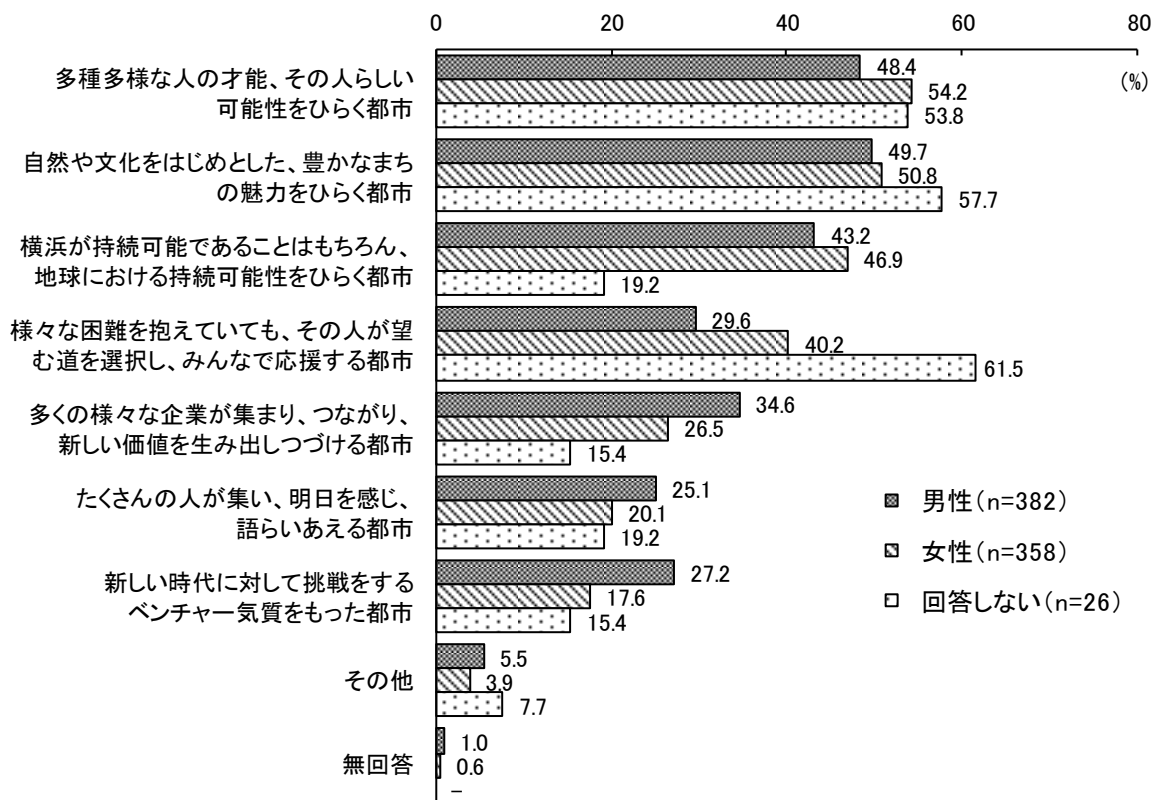
図6-1 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について [全体]（複数回答）



「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」などは男性の方が高く、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」などは女性の方が高い

男女別にみると、「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」、「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」などは男性の方が高く、「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」、「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」などは女性の方が高い。

図6-2 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」について [男女別] (複数回答)



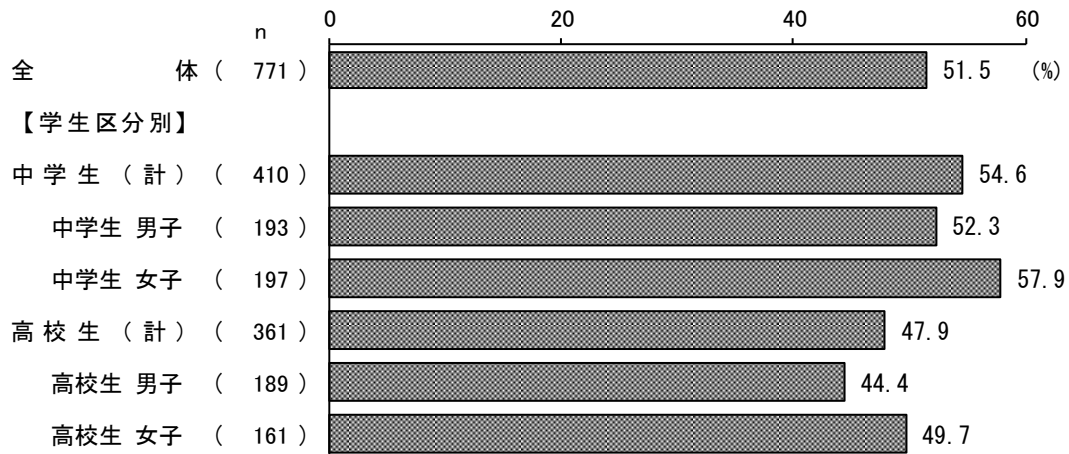
当設問の回答項目について、次ページ以降に学生区分別の結果を掲載する。

(1) 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [学生区分別]

高校生男子が4割半ばと低い

「多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市」について、学生区分別にみると、高校生男子（44.4%）が4割半ばと低くなっている。

図6-3 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市 [学生区分別]（複数回答）

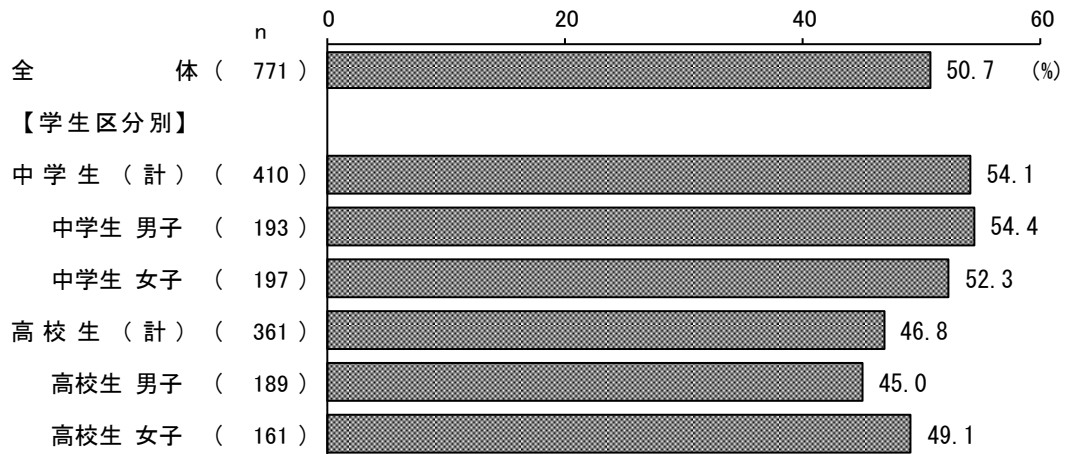


(2) 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [学生区分別]

男女ともに中学生の方が高い

「自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市」について、学生区分別にみると、男女ともに高校生より中学生の方が高くなっている。

図6-4 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市 [学生区分別] (複数回答)

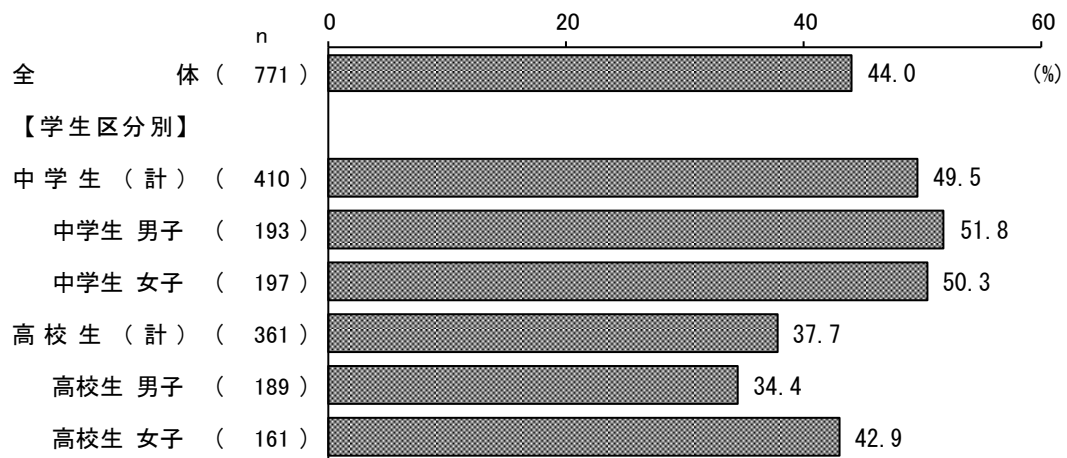


(3) 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [学生区分別]

男女ともに中学生の方が高い

「横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市」について、学生区分別にみると、男女ともに高校生より中学生の方が高く、中学生は男女ともに5割を超えている。

図6-5 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市 [学生区分別] (複数回答)

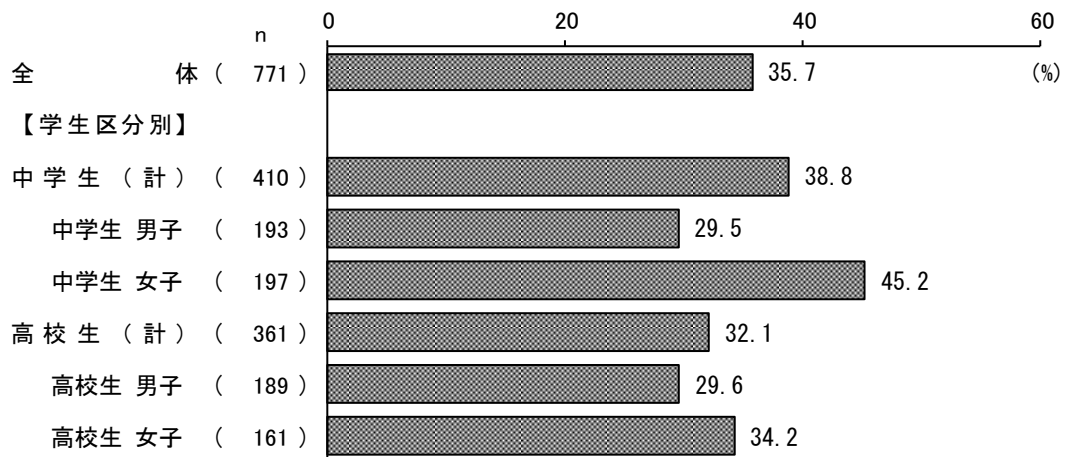


(4) 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [学生区分別]

中学生女子が4割半ばと高い

「様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市」について、学生区分別にみると、中学生女子（45.2%）が4割半ばと高くなっている。

図6-6 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市 [学生区分別]（複数回答）

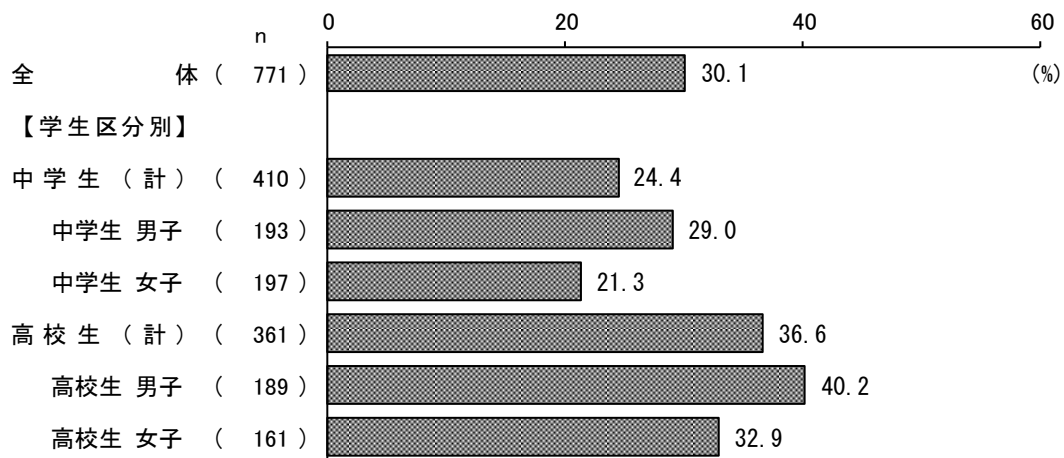


(5) 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市 [学生区分別]

中高生ともに男子の方が高い

「多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市」について、学生区分別にみると、中高生ともに女子より男子の方が高く、高校生男子（40.2%）は4割を超えて高くなっている。

図6-7 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市
[学生区分別]（複数回答）

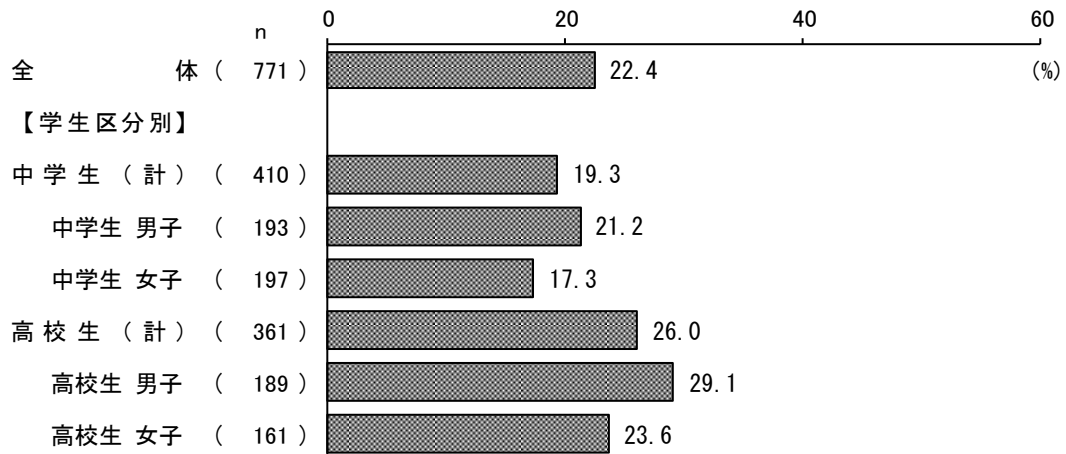


(6) たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市[学生区分別]

高校生男子が3割近くと高い

「たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市」について、学生区分別にみると、高校生男子（29.1%）が3割近くと高くなっている。

図6-8 たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市 [学生区分別]（複数回答）

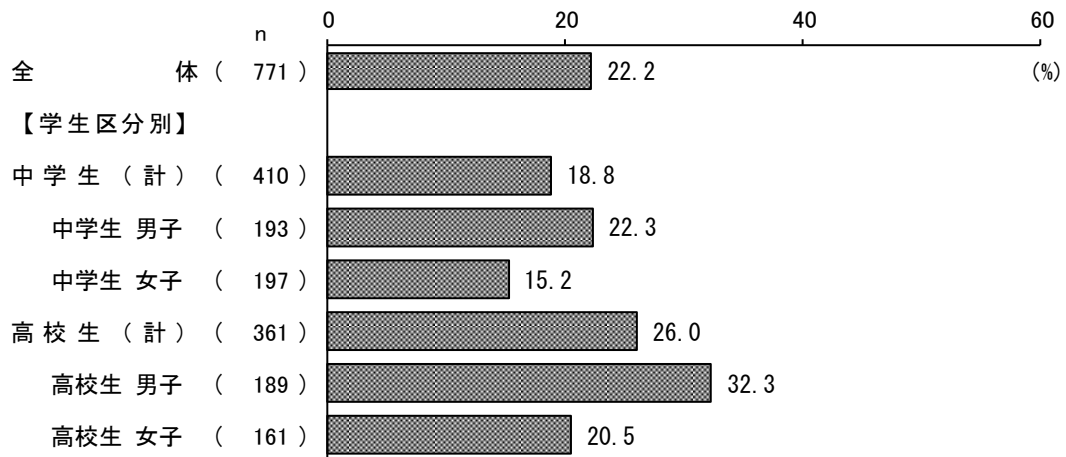


(7) 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市[学生区分別]

中高生ともに男子の方が高い

「新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市」について、学生区分別にみると、中高生ともに女子より男子の方が高く、高校生男子（32.2%）は3割を超えて高くなっている。

図6-9 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市 [学生区分別] (複数回答)



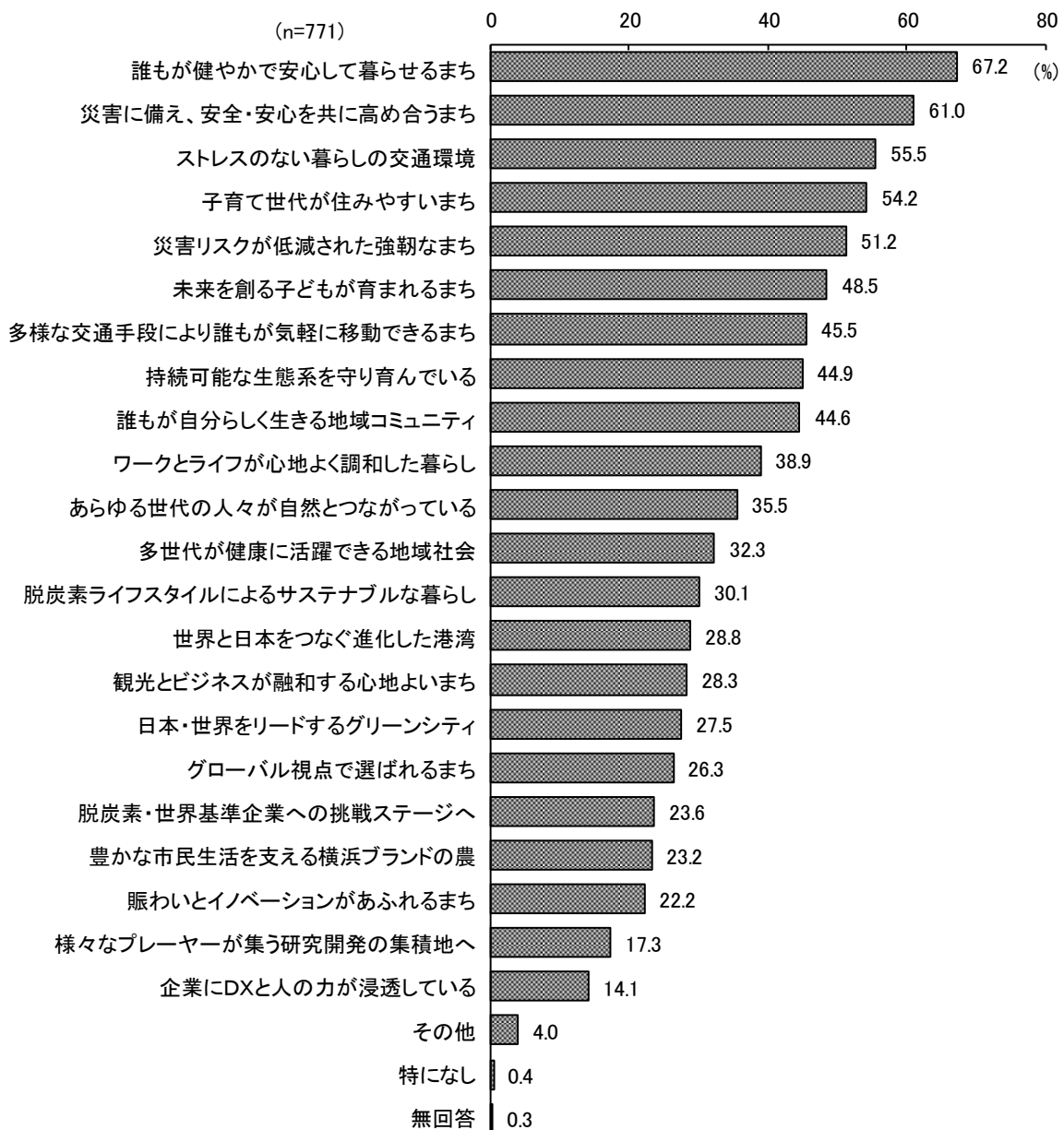
2. めざす未来の具体像について

問2 社会の変化や、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を統計データなどにより把握し、それが解決した姿のイメージを記載した「めざす未来の具体像」のうち、あなたが共感できるもの、望ましいと考えるものをお選びください。（〇はいくつでも）

「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」が1位

「めざす未来の具体像」の中で共感できるもの、望ましいものについて聞いたところ、「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」（67.2%）が6割半ばと最も高く、次いで「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」（61.0%）、「ストレスのない暮らしの交通環境」（55.5%）、「子育て世代が住みやすいまち」（54.2%）、「災害リスクが低減された強靱なまち」（51.2%）などの順となっている。

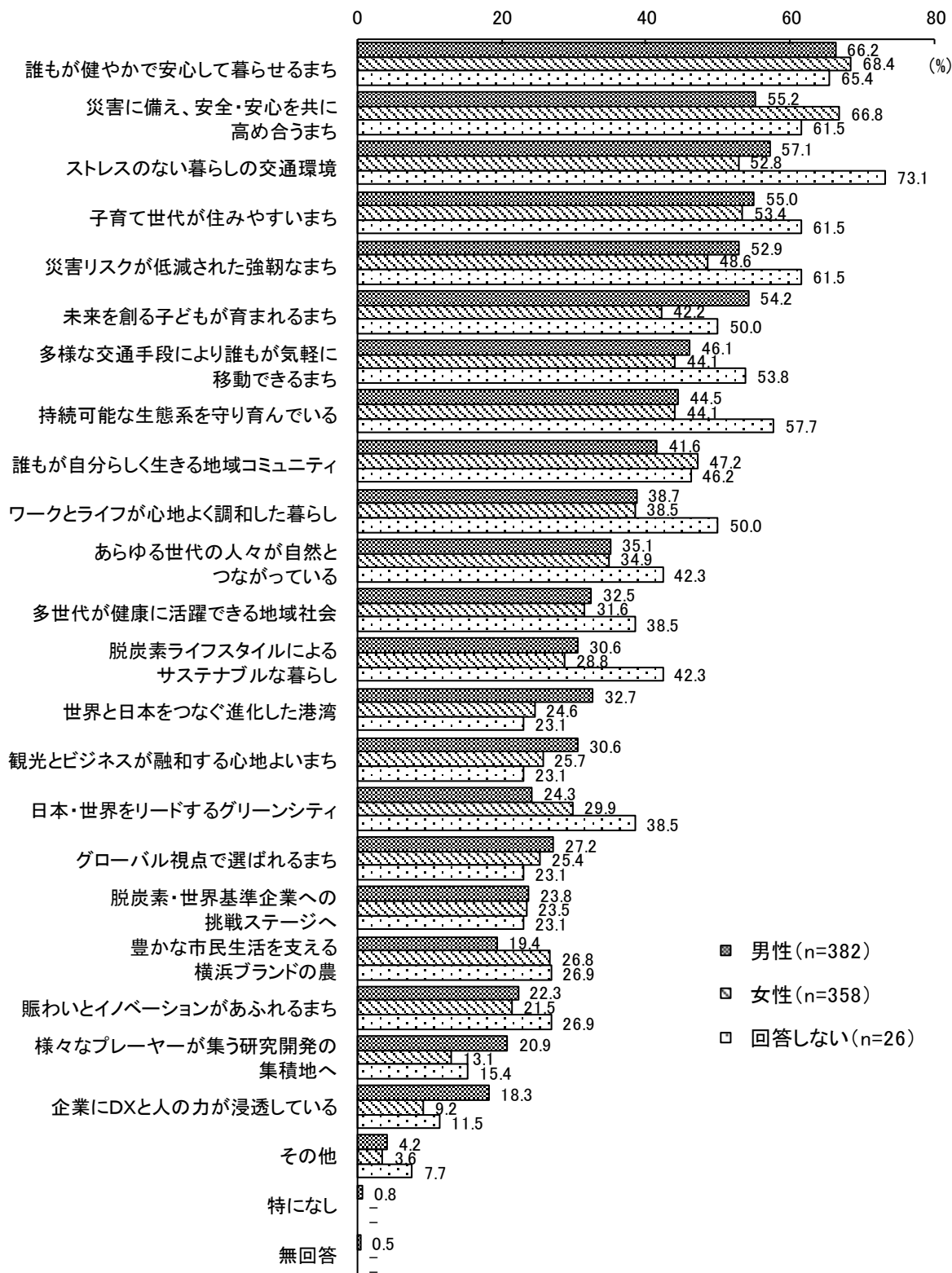
図7-1 めざす未来の具体像について [全体]（複数回答）



「未来を創る子どもが育まれるまち」などは男性の方が高く、「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」などは女性の方が高い

男女別にみると、「未来を創る子どもが育まれるまち」、「企業にDXと人の力が浸透している」などは男性の方が高く、「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」、「豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農」などは女性の方が高い。

図7-2 めざす未来の具体像について〔男女別〕（複数回答）



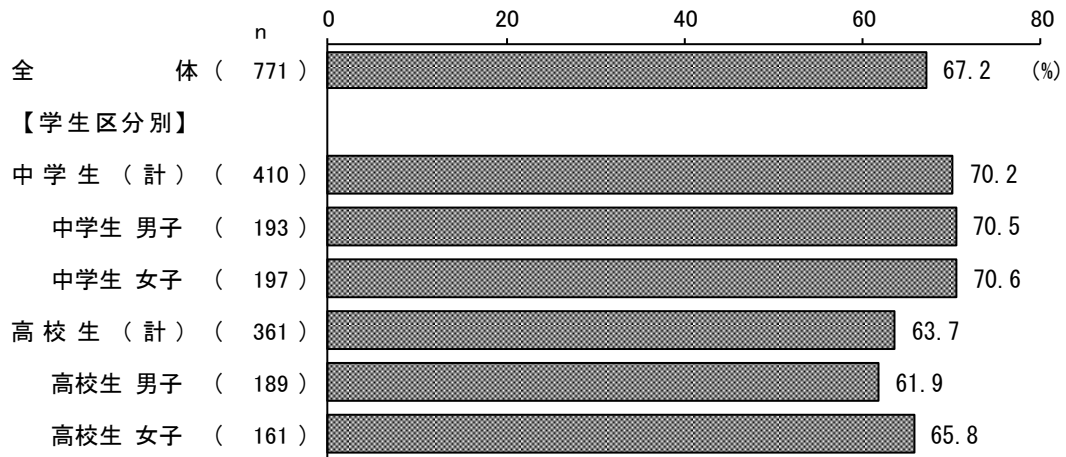
当設問の回答上位5項目について、次ページ以降に学生区分別の結果を掲載する。

(1) 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [学生区分別]

男女ともに中学生の方が高い

「誰もが健やかで安心して暮らせるまち」について、学生区分別にみると、男女ともに高校生より中学生の方が高く、中学生は男女ともに7割を超えている。

図7-3 誰もが健やかで安心して暮らせるまち [学生区分別] (複数回答)

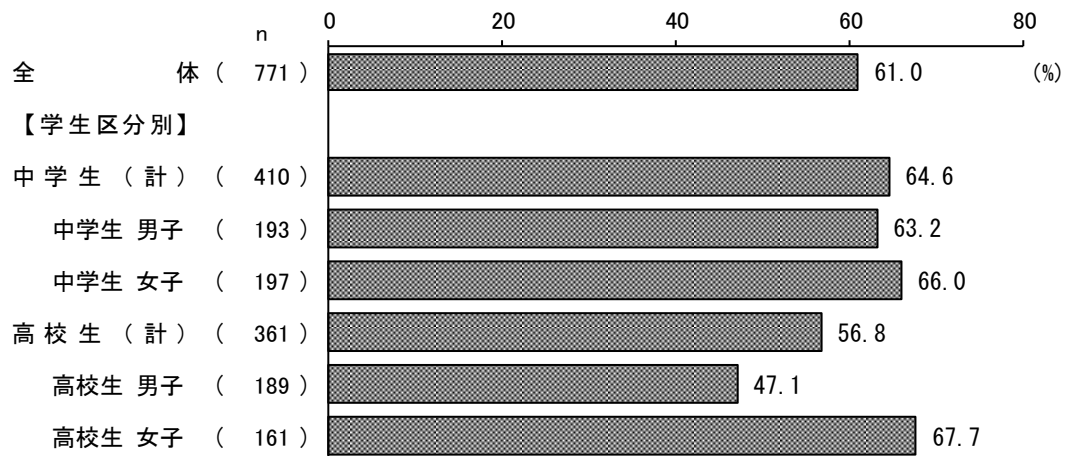


(2) 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [学生区分別]

高校生男子が4割半ばと低い

「災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち」について、学生区分別にみると、高校生男子(47.1%)が4割半ばと低くなっている。

図7-4 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち [学生区分別] (複数回答)

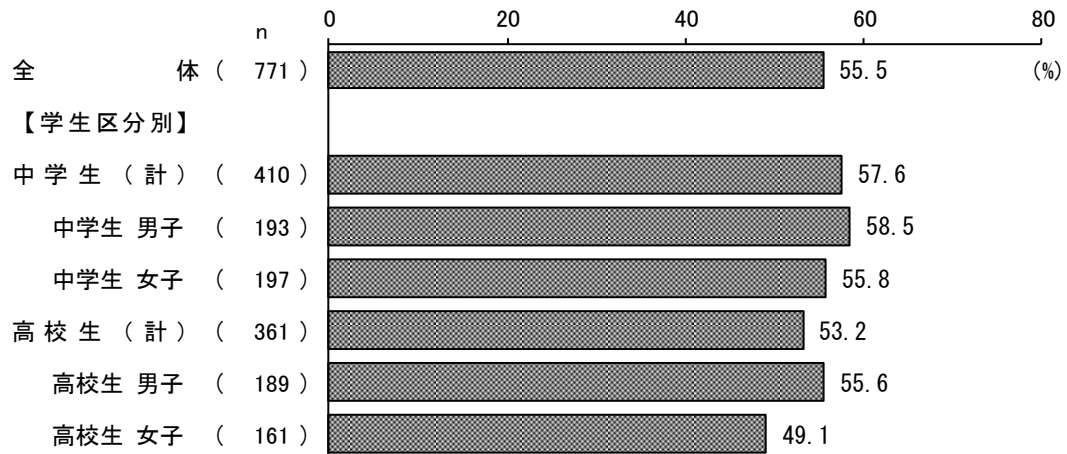


(3) ストレスのない暮らしの交通環境 [学生区分別]

高校生女子が5割弱と低い

「ストレスのない暮らしの交通環境」について、学生区分別にみると、高校生女子（49.1%）が5割弱と低くなっている。

図7-5 ストレスのない暮らしの交通環境 [学生区分別] (複数回答)

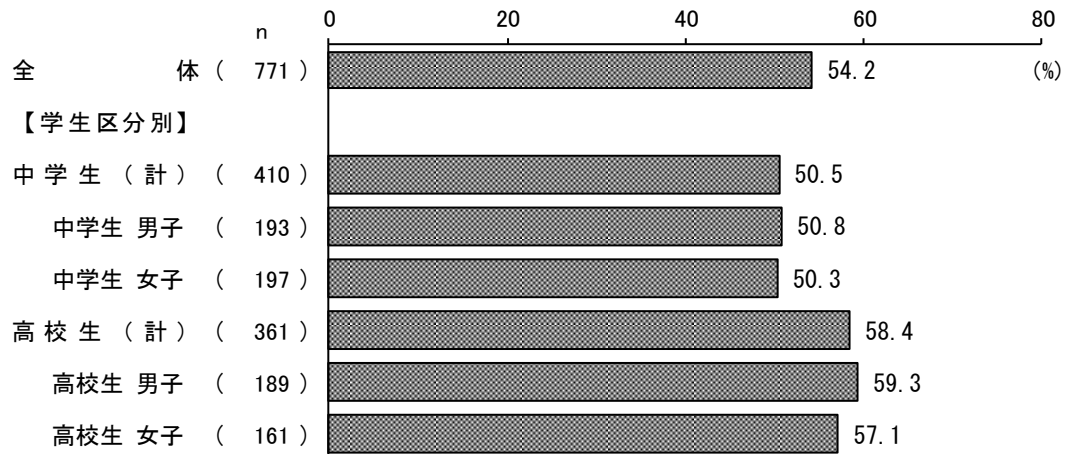


(4) 子育て世代が住みやすいまち [学生区分別]

男女ともに中学生より高校生の方が高い

「子育て世代が住みやすいまち」について、学生区分別にみると、男女ともに中学生より高校生の方が高くなっている。

図 7-6 子育て世代が住みやすいまち [学生区分別] (複数回答)

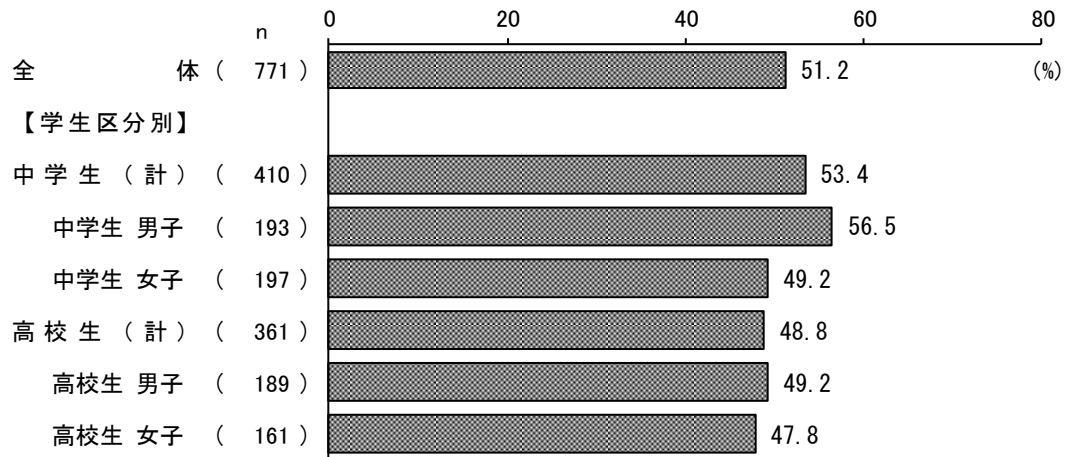


(5) 災害リスクが低減された強靱なまち [学生区分別]

中学生男子が5割半ばと高い

「災害リスクが低減された強靱なまち」について、学生区分別にみると、中学生男子（56.5%）が5割半ばと高くなっている。

図7-7 災害リスクが低減された強靱なまち [学生区分別] (複数回答)



IV 調査票・単純集計結果

IV. 調査票・単純集計結果

(1) 18歳以上調査 [単位：％，基数(N)表記のないものはN=3,117]

「新たな中期計画の基本的方向」について ～ご意見をお聞かせください～

日ごろから、横浜市のご取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

横浜市は、新たな中期計画を2022(令和4)年度に策定します。

この度、策定に向けた議論の出発点となる、「新たな中期計画の基本的方向」をとりまとめました。

基本的方向には、中長期的な視点で横浜の未来を描いていくため、2040年頃の横浜のありたい姿として「共にめざす都市像」を掲げるとともに、その実現に向けた10年程度の「戦略」と、戦略を踏まえて4年間で重点的に取り組む「政策」の柱立てを記載しています。

今回のアンケートでは、この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、「新たな中期計画の基本的方向」についてお伺いし、今後の参考にさせていただきます。

回答は10分程度で終わるものですので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

横浜市政策局

◎本アンケートはインターネットでも回答可能です。以下のアンケートURLをブラウザに直接入力するか、QRコードをスマートフォン等で読み取り、アンケート画面へお進みください。

【アンケートURL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/72d5d8ae-d0a7-4388-9ef2-021ea383c90b/start>



◎アンケートを郵送で提出する場合は、同封の返信用封筒に入れ、令和4年6月24日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

◆調査主体：横浜市 政策局政策部政策課（〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10号）
電 話 671-2010（平日8：45～17：15）

◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目8番6号）
電 話 0120-551-346 [担当：松岡]（平日10：00～17：30）
電子メール matsuoaka@yoron-kagaku.or.jp

<記入にあたってのお願い>

- ① このアンケートは市内にお住まいの18歳以上の方から無作為抽出した1万人の方にお送りしています。
- ② アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ③ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）
- ④ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向（概要版）」や、横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向（本編冊子）」も必要に応じてご覧ください。
(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2022-2025/kihon2022.html>)
- ⑤ 回答の統計的結果や自由回答でご記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑥ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。

I 基本的方向について

問1 横浜市の持つ資源や価値について

横浜市には様々な資源や価値がありますが、その中であなたが特に重要だと考えるものは何ですか。（〇はいくつでも）

57.4 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み

35.9 良質な住環境と豊富な住宅供給量

25.5 市民の自治意識の高さ・豊富なコミュニティ人材

33.8 国際平和や多文化共生の風土

37.0 賑わいや経済活力を生み出すインナーハーバー※

※おおむね横浜ベイブリッジの内側でJR京浜東北・根岸線の海側の地域。横浜駅周辺地区、京浜臨海部、みなとみらい21地区、関内・関外地区等一帯を含む

24.7 研究開発機関や企業の集積

14.6 開放性や進取の気質

40.2 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性

16.3 大学等教育環境の集積

21.5 アジアを代表するグローバルMICE※都市

※企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)などの総称

49.5 緑の計画的保全

23.0 活力ある都市農業

19.5 活発なスポーツ活動

26.4 活発な文化芸術活動

4.2 その他 ()

2.0 無回答

問3 めざす未来の具体像【概要版：P5～P12】について

社会の変化や、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を統計データなどにより把握し、それが解決した姿のイメージを記載した「めざす未来の具体像」のうち、あなたが共感できるもの、望ましいと考えるものをお選びください。（〇はいくつでも）

- 28.9 誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ
- 67.2 誰もが健やかで安心して暮らせるまち
- 52.2 未来を創る子どもが育まれるまち
- 40.5 多世代が健康に活躍できる地域社会
- 32.2 ワークとライフが心地よく調和した暮らし
- 19.6 脱炭素ライフスタイルによるサステナブルな暮らし
- 25.0 あらゆる世代の人々が自然とつながっている

- 18.3 賑わいとイノベーションがあふれるまち
- 52.2 子育て世代が住みやすいまち
- 16.6 グローバル視点で選ばれるまち
- 31.7 観光とビジネスが融和する心地よいまち
- 10.4 企業にDX※と人の力が浸透している
※データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとにビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織などを変革し、競争上の優位性を確立すること
- 15.9 脱炭素・世界基準企業への挑戦ステージへ
- 16.3 様々なプレーヤーが集う研究開発の集積地へ

- 44.6 ストレスのない暮らしの交通環境
- 41.5 多様な交通手段により誰もが気軽に移動できるまち
- 22.9 世界と日本をつなぐ進化した港湾
- 21.9 持続可能な生態系を守り育てている
- 20.3 豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農
- 17.0 日本・世界をリードするグリーンシティ
- 55.2 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち
- 45.6 災害リスクが低減された強靱なまち

- 2.3 その他（)
- 0.1 特になし

- 0.8 無回答

問4 戦略について【概要版：P13～P14】

「共にめざす都市像」の実現に向け、10年程度の取組の方向性を「9つの戦略」として示しています。あなたが特に注力していくべきと考える戦略はどれですか。（○は3つまで）

- 42.6 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
- 47.9 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
- 9.3 Zero Carbon Yokohama の実現
- 25.8 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現
- 12.6 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり
- 12.9 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり
- 29.8 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現
- 63.2 災害に強い安全・安心な都市づくり
- 29.2 市民生活と経済活動を支える都市づくり

- 1.3 無回答

問5 38の政策について【概要版：P15～P18】

「共にめざす都市像」の実現に向け、4か年で重点的に推進すべき政策として38の取組を示しています。あなたが、横浜市が直近4か年で取り組むべきと考える政策はどれですか。（○はいくつでも）

- 46.5 全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援
- 39.5 乳幼児期から学齢期までの子ども・子育て支援
- 37.3 子ども・若者を社会全体で育むまち
- 35.3 児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実
- 41.7 未来を創る子どもを育む教育の推進

- 38.1 魅力ある学校づくりと豊かな学びの環境の実現
- 29.0 健康づくりと健康危機管理による市民の安心確保
- 11.9 スポーツで育む地域と暮らし
- 20.1 持続可能な地域コミュニティの実現
- 15.3 参加と協働による地域福祉保健の推進

- 16.4 多文化共生の推進
- 17.4 ジェンダー平等の推進と多様な性のあり方の尊重
- 30.4 障害児・者福祉の充実と地域生活支援の促進
- 30.6 暮らしと自立を支えるサポート体制の強化
- 51.1 高齢者の暮らしと安心を支える地域包括ケアの推進

- 50.0 地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護等の推進
- 41.2 医療提供体制の充実・強化
- 16.8 脱炭素社会の推進
- 22.0 持続可能な資源循環の推進
- 17.7 中小・小規模事業者の経営基盤強化・経営革新と人材の活躍支援

- 20.4 横浜経済の未来に向けた取組
- 13.4 観光・MICE振興による国際観光都市の形成・発信
- 12.5 大学と連携した地域社会づくり
- 9.6 国際ビジネスの推進による市内経済の活性化及び地球規模課題の解決
- 21.1 世界の人々が集い繋がる国際都市・横浜の実現

- 19.2 人を惹きつける魅力的な郊外部のまちづくり
- 43.9 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり
- 33.2 日常生活を支える地域交通と移動環境の確保
- 12.1 魅力と活力あふれる都心部・臨海部の機能強化
- 14.6 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出と文化的に豊かな生活の実現

- 22.0 多様なライフスタイルを支える自然豊かな都市環境の充実
- 16.3 活力ある都市農業の展開
- 49.7 大規模地震への対策
- 33.3 激甚化する風水害への対策
- 41.4 災害から命を守るための地域防災力向上

- 26.4 生活や経済を支える交通ネットワーク
- 9.0 総合港湾づくり
- 16.1 公共施設の計画的かつ効果的な保全更新

- 0.7 無回答

問6 自由意見

あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿や未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組などがあればご自由にお書きください。

II あなたご自身についてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

43.6	男性	54.0	女性	1.6	回答しない	0.8	無回答
------	----	------	----	-----	-------	-----	-----

F 2 あなたの年代をお答えください。(○は1つ)

0.9	10代	14.5	40代	19.9	70代		
6.6	20代	19.5	50代	8.5	80代		
10.5	30代	17.5	60代	1.2	90歳以上	0.8	無回答

F 3 あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

6.3	鶴見区	5.4	保土ヶ谷区	8.5	青葉区		
5.5	神奈川区	6.7	旭区	6.3	都筑区		
2.6	西区	4.9	磯子区	7.2	戸塚区		
3.7	中区	5.8	金沢区	3.5	栄区		
5.4	南区	9.4	港北区	4.2	泉区		
6.3	港南区	4.5	緑区	3.1	瀬谷区	0.9	無回答

F 4 あなたは横浜に住んで何年ですか。(○は1つ)

1.4	1年未満	13.9	10年以上20年未満
5.6	1年以上5年未満	71.9	20年以上
6.5	5年以上10年未満	0.7	無回答

F 5 あなたが横浜に住んでいる理由として、一番大きな理由は何ですか。

(○は1つ)

25.6	生まれた時からの住まいのため	0.6	親族の介護のため
0.5	進学のため	27.9	住宅の購入
5.3	就職のため	10.0	親や親族との近居・同居のため
9.5	転職や転勤など仕事のため	5.4	その他 ()
13.0	結婚のため	2.1	無回答

F 6 あなたは横浜に住み続けたいと思いますか。理由もあわせてご記入ください。

(○は1つ)

81.9	可能であれば住み続けたい (理由:)
5.1	転居したい (理由:)
11.5	分からない (理由:)
1.6	無回答

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「新たな中期計画の基本的方向」について ～ご意見をお聞かせください～

宛名のご本人様にご回答いただきますよう、お願いします。

保護者の方へ

日ごろから、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

横浜市は、新たな中期計画を2022(令和4)年度に策定します。

この度、策定に向けた議論の出発点となる、「新たな中期計画の基本的方向」をとりまとめました。

基本的方向には、中長期的な視点で横浜の未来を描いていくため、2040年頃の横浜のありたい姿として「共にめざす都市像」を掲げるとともに、その実現に向けた10年程度の「戦略」と、戦略を踏まえて4年間で重点的に取り組む「政策」の柱立てを記載しています。

今回のアンケートでは、この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の3,000名の方を無作為抽出して「新たな中期計画の基本的方向」についてお伺いし、今後の参考にさせていただきます。(18歳以上の方から無作為抽出した1万人の方にも未来の横浜の姿に関するアンケートを実施しています。)

宛名の方にご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ご本人様へ

この度、横浜市では新たな中期計画策定に向けた議論の出発点となる、「新たな中期計画の基本的方向」をとりまとめました。ここで描いている未来の横浜の姿について、近い将来、社会で活躍する皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の3,000名の方にアンケートを実施します。

回答は10分程度で終わるものですので、お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をお願いいたします。

横浜市政策局

◎本アンケートはインターネットでも回答可能です。以下のアンケートURLをブラウザに直接入力するか、QRコードをスマートフォン等で読み取り、アンケート画面へお進みください。

【アンケートURL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/53adaa6f-5cc5-442c-b92a-ecc4c1190588/start>



◎ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、令和4年6月24日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

- ◆調査主体:横浜市 政策局政策部政策課 (〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10号)
電話 671-2010 (平日8:45~17:15)
- ◆調査実施:一般社団法人輿論科学協会 (〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目8番6号)
電話 0120-551-346 [担当:松岡] (平日10:00~17:30)
電子メール matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

<記入にあたってのお願い>

- ① アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
- ② このアンケートは、封筒の宛名のご本人様にご回答ください。(ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。)
- ③ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向」概要版や、横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」も必要に応じてご覧ください。
(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/hoshin/4kanen/2022-2025/kihon2022.html>)
- ④ 回答の統計的結果や自由回答でご記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。
- ⑤ 個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理します。

I 基本的方向について

問1 共にめざす都市像 「明日をひらく都市」【同封の「概要版」：P3～P4】について

今から約20年後(2040年頃)も、横浜市が魅力あるまちであるためには、どのような状態であることが望ましいでしょうか。ご自身、お子さんやお孫さん世代、更にその先の世代へ続いていくまちとして、また、他都市や世界に対して魅力をアピールできるまちとして想定した時の、横浜市のありたい姿をお選びください。(〇は3つまで)

- 22.2 新しい時代に対して挑戦をするベンチャー気質をもった都市
- 35.7 様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市
- 51.5 多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市
- 22.4 たくさんの人が集い、明日を感じ、語りあえる都市
- 30.1 多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市
- 50.7 自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市
- 44.0 横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市
- 4.8 その他 ()
- 0.8 無回答

問2 めざす未来の具体像【概要版：P5～P12】について

社会の変化や、今後さらに顕在化・深刻化しそうな課題を統計データなどにより把握し、それが解決した姿のイメージを記載した「めざす未来の具体像」のうち、あなたが共感できるもの、望ましいと考えるものをお選びください。（○はいくつでも）

- 44.6 誰もが自分らしく生きる地域コミュニティ
- 67.2 誰もが健やかで安心して暮らせるまち
- 48.5 未来を創る子どもが育まれるまち
- 32.3 多世代が健康に活躍できる地域社会
- 38.9 ワークとライフが心地よく調和した暮らし
- 30.1 脱炭素ライフスタイルによるサステナブルな暮らし
- 35.5 あらゆる世代の人々が自然とつながっている

- 22.2 賑わいとイノベーションがあふれるまち
- 54.2 子育て世代が住みやすいまち
- 26.3 グローバル視点で選ばれるまち
- 28.3 観光とビジネスが融和する心地よいまち
- 14.1 企業にDX*と人の力が浸透している

※データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとにビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織などを変革し、競争上の優位性を確立すること

- 23.6 脱炭素・世界基準企業への挑戦ステージへ
- 17.3 様々なプレーヤーが集う研究開発の集積地へ

- 55.5 ストレスのない暮らしの交通環境
- 45.5 多様な交通手段により誰もが気軽に移動できるまち
- 28.8 世界と日本をつなぐ進化した港湾
- 44.9 持続可能な生態系を守り育てている
- 23.2 豊かな市民生活を支える横浜ブランドの農
- 27.5 日本・世界をリードするグリーンシティ
- 61.0 災害に備え、安全・安心を共に高め合うまち
- 51.2 災害リスクが低減された強靱なまち

4.0 その他（)

0.4 特になし

0.3 無回答

問3 自由意見

あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿や未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組などがあればご自由にお書きください。

II あなたご自身についてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

49.5	男性	46.4	女性	3.4	回答しない
				0.6	無回答

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

12.7	12歳	13.9	16歳
14.5	13歳	17.3	17歳
18.8	14歳	4.3	18歳
18.5	15歳	-	無回答

F 2-1 F 2で「4 15歳」とお答えの方にのみおたずねします。

あなたは、中学生ですか。(○は1つ)

[n=143]

38.5	はい	61.5	いいえ	-	無回答
------	----	------	-----	---	-----

F 3 あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。(○は1つ)

6.0	鶴見区	4.3	保土ヶ谷区	8.6	青葉区
6.1	神奈川区	5.7	旭区	7.7	都筑区
1.9	西区	4.2	磯子区	8.9	戸塚区
3.9	中区	6.1	金沢区	2.7	栄区
4.2	南区	9.5	港北区	4.4	泉区
6.0	港南区	4.8	緑区	3.8	瀬谷区
				1.4	無回答

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。